

学修の手引き

第 4 学 年
(Segment 7)

令和 8 (2026) 年度



東京女子医科大学
医 学 部

目 次

| | |
|------------------------|-----|
| 東京女子医科大学設立の精神 | 1 |
| 東京女醫學校設立主意 | 2 |
| 序 言 | 3 |
| 東京女子医科大学の目的 | 4 |
| 東京女子医科大学医学部における4つのポリシー | 5 |
| MDプログラム2011について | 9 |
| 学部教育を通じて達成する医師としての実践力 | 10 |
| 医の実践力_アウトカム・ロードマップ | 12 |
| 慈しむ心の姿勢_アウトカム・ロードマップ | 15 |
| カリキュラムツリー | 17 |
| カリキュラムの構造 | 18 |
| 週間の授業予定 | 18 |
| セグメント7 | |
| I 学修内容 | 20 |
| II 到達目標 | |
| A. 包括的到達目標 | 21 |
| B. 科目別シラバス | |
| ・基幹科目 | |
| 「血液・リンパ系」 | 25 |
| 「感染症系」 | 37 |
| 「免疫・アレルギー疾患・膠原病」 | 44 |
| 「環境と健康・疾病・障害」 | 53 |
| 「社会制度と保健・医療・福祉」 | 61 |
| 「診療の基礎」 | 69 |
| 「基本的治療法」 | 78 |
| 「麻酔・周術期管理」 | 85 |
| 「救命救急医療」 | 90 |
| ・縦断教育科目 | |
| 「『至誠と愛』の実践学修」 | 96 |
| 「健康管理」 | 104 |
| ・基礎研究医養成プログラム | 106 |

| | | |
|-----|---------------------------------|-----|
| III | Team-based-learning(T B L)..... | 108 |
| IV | 試験科目表・試験日程表..... | 117 |
| | ・「総合試験(問題解決能力試験)P-SAT」..... | 119 |
| V | S7, S8 教育委員会・学生アドバイザー・学生委員..... | 121 |
| VI | 選択科目..... | 123 |
| VII | 講義・実習時間割表..... | 126 |

東京女子医科大学設立の精神

I. 建学の精神

東京女子医科大学は、1900年（明治33年）に創立された東京女醫學校を母体として設立された。東京女子医科大学の創立者である吉岡彌生は、1952年（昭和27年）新制大学設立に際し、東京女醫學校創立の主意をもって建学の精神とした。その主旨は、高い知識・技能と病者を癒す心を持った医師の育成を通じて、精神的・経済的に自立し社会に貢献する女性を輩出することであった。新制大学設立時の学則には「医学の蘊奥を究め兼ねて人格を陶冶し社会に貢献する女性医人を育成する。」と記されている。

建学の精神に基づく医療人育成の場として、1998年（平成10年）度より新たに看護学部が新設された。医療を行うものが学ぶ学府として、現在の東京女子医科大学の使命は、最良の医療を実践する知識・技能を修め高い人格を陶冶した医療人および医学・看護学研究者を育成する教育を行うことである。大学建学の精神に基づき、大学教育では社会に貢献する女性の医療人を育成する。

II. 大学の理念

東京女子医科大学の使命を達成するための教育・研究・診療の基盤となる理念は、「至誠と愛」である。至誠は、「常住不断私が患者に接するときの根本的な心構えを短い二つの文字のなかに言い現したもの（吉岡彌生傳）」という創立者吉岡彌生の座右の銘であり、「きわめて誠実であること」「慈しむ心（愛）」は教育・研究・診療の総ての場において求められる。大学およびそこに学び働くものは本学の理念である「至誠と愛」に従って活動しなくてはならない。

東京女醫學校

○設立主意

世界ノ文化ハ一日ト其歩ヲ進メ我日本モ泰西ノ制度文物輸入以來女子ノ教育ハ長足ノ進歩ヲ成シ今ヤ普通教育ニ至リテハ殆ンド間然スル所ナシ豈吾人女子ノ至幸之レニ比スルモノアラシヤ蓋シ一步ヲ進メテ益々其必要ヲ感ズルハ女子ノ専門學ニアリ由來女子ノ専門學ナルモノハ歐米ニ於テハ業ニ既ニ數十年前ヨリ實施サレ其職ヲ或ハ政治界ニ或ハ新聞記者ニ或ハ醫業ニ或ハ教育界ニ或ハ銀行會社ニ奉ジツ、其資格毫モ男子ト軒輊スル處ナシ我邦モ條約實施以來對等ノ地位ヲ以テ列國ト交際スルニ至リタレバ女子ノ品位モ彼我又對等ナラザルヲ得ズ此際ニ當リテ社會ノ人心皆茲ニ意ヲ注クト雖モ其意ヲ滿タスノ設備不完全ナルヲ如何セン思フニ女子ノ専門學校トシテハ女子師範學校、音樂學校、美術學校等ノ設ケアリテ各自其志望ヲ達セシムルト雖モ獨リ女醫學校ニ至リテハ未タ日本全國否日本ノ首府タル東京ニ於テ其設立アルヲ見ズ聞説ク將ニ設立セラレントスル女子大學ニ於テモ文學科家政科等アル而已ト余ノ考フル處ニ依レバ女子ノ本性ニ最モ適シ且ツ女子ノ品位ヲ高尚ナラシムル業務ハ醫學ヲ以テ唯一ノ専門學トス随テ斯學ニ志スノ女子又少シト云フ可ラス然ルニ是等ノ姉妹ニ其志ヲ遂ゲシムル學校ナキハ我邦學校設備ノ缺點ニシテ幾多ノ高尚ナル思想アル姉妹ヲシテ岐路ニ迷ハシム是千歳ノ恨事ニアラズヤ已レ女醫ノ業ニ従事スル茲ニ九年塾ラ々々女醫教育ノ不完全ト女子ノ醫學研究ノ困難トヲ見滿腔ノ同情ハ傍觀座視スルニ忍ビス淺學不才ヲ顧ミズ決然起テ女醫學校ヲ設立スル所以ナリ

明治三十三年十一月

東京女醫學校主 鷺山彌生 識

序 言

学 長

東京女子医科大学は、社会的に自立する女性医療者の育成を建学の精神として、「至誠と愛」を理念に創立され、100年以上に渡り医学生を育ててきた。良い医師を育てるために、質の高い教育を行い、優れた医療を提供し、医学に係わる高い水準の研究を推進してきた。本学は医学生が学ぶために最良の環境と教育プログラムを用意している。学生にはこの環境とプログラムを最も有効に活用して学んでもらいたい。

本学の最新の教育プログラムは2017年度に改訂された『MDプログラム2011改訂版』（2017年度1年生より導入）であるが、その原形は1990年に日本で初めてのテュートリアル教育、インタビュー教育（その後、『ヒューマンリレーションズ』、『人間関係教育』、そして2018年度には『「至誠と愛」の実践学修』に発展）を導入した『MDプログラム90』、そして1994年に関連領域全体を理解して学ぶ統合カリキュラム『MDプログラム94』の導入である。

『MDプログラム2011』では、学生が学ぶ目標、すなわち自分が卒業するときに達成すべき知識・技能・態度の専門的実践力をアウトカム、アウトカムに到る途中の目標をロードマップで示した教育プログラムが2011年に導入された。2017年度の改訂では、医師としての実践力の基本を学部卒業時に達成するための臨床教育の改善が行われた。2018年度には、医師の態度、振る舞い、倫理、コミュニケーション力、女性医師キャリアなどを、創立者が臨床で常に実践した信念である「至誠と愛」の理念のもと、現代の医療を実践するカリキュラムとして、従来の『人間関係教育カリキュラム』を改訂し『「至誠と愛」の実践学修』と改称した。本学の教育は、至誠と愛を実践する良い医師となるための教育であるが、学生は本学で学ぶその意義を認識し、本学の卒業生としてこの理念を継承する自覚を持って学修してもらいたい。

どのように学修するかが示されているのが、この「学修の手引き」である。学生、教員がともに学修の目標、方法、内容、評価を共通に理解することが、良い教育が行われる一つの条件である。この手引きが有効に活用されることを望む。

東京女子医科大学の目的

本学は、教育基本法および学校教育法に基づき、女子に医学の理論と実際を教授し、創造的な知性と豊かな人間性を備え、社会に貢献する医人を育成するとともに、深く学術を研究し、広く文化の発展に寄与することを目的とする。『学則第1条』

医学部の教育目標

将来医師が活躍しうる様々な分野で必要な基本的知識、技能および態度を身に体し、生涯にわたって学修しうる基礎を固める。

すなわち、自主的に課題に取り組み、問題点を把握しかつ追求する姿勢を養い、医学のみならず広く関連する諸科学を照覧して理論を構築し、問題を解決できる能力および継続的に自己学修する態度を開発する。さらに、医学・医療・健康に関する諸問題に取り組むにあたっては、自然科学にとどまらず、心理的、社会的、論理的問題等も含め、包括的にかつ創造的に論理を展開でき、様々な人々と対応できる全人的医人としての素養を涵養する。

東京女子医科大学医学部における 人材の養成に関する目的・その他の教育上の目的

(趣旨)

第1条 本内規は、東京女子医科大学学則第1条第2項及び東京女子医科大学大学院学則第1条に基づき、人材の養成に関する目的、その他の教育研究上の目的に関して必要な事項を定める。

(医学部の目的)

第2条 医学部における人材の養成に関する目的は次のとおりとする。

- (1) 「至誠と愛」を実践する女性医師および女性研究者を育成すること。
 - (2) 社会を先導する医療人、そして多様なキャリア形成とライフサイクルの中で、自分を磨き続けることのできる女性医師あるいは女性研究者を育成すること。
- 2 医学部におけるその他教育研究上の目的は次のとおりとする。
- (1) 将来医師として自らの能力を磨き、医学の知識・技能を修得し、生涯にわたって学習を継続しうる基礎的能力を獲得すること。
 - (2) 患者一人ひとりに向き合い、それぞれの悩みを解決でき、かつ医療を実践する過程で、様々な人々と協働できる素地を獲得すること。

東京女子医科大学医学部における4つのポリシー

ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）

卒業時には定められた授業科目を修了し、学修成果（アウトカム）に示す「医の実践力」と「慈しむ心の姿勢」を修得して以下の能力を備えることが求められます。

1. 医師としての基本的診療能力を持ち、考え、行動することができる。
2. 自ら問題を発見し解決する能力を持つ。
3. 医学の発展、変化する地域や国際的な医療に適応する科学のおよび臨床的思考力を持つ。
4. 安全な医療を行える能力を有する。
5. 生涯にわたり女性医師として「至誠と愛」の理念を持ち、振る舞い、自立して社会に貢献する意思を持つ。

要件を満たした者には卒業を認め、学士（医学）を授与します。

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

卒業時に達成すべき医師として必要な基本知識、技能および態度を「医の実践力」および「慈しむ心の姿勢」として示した学修成果（アウトカム）を達成し、建学の精神に沿って自立して社会に貢献する医療者となる基礎を体得し、大学の理念である「至誠と愛」を生涯に亘り実践するカリキュラムが構築されています。アウトカムを達成するための段階的な目標はロードマップとして示され、様々なカリキュラム、学修法によりロードマップとアウトカムを達成します。

「医の実践力」の学修は、1年次から6年次まで関連した専門領域が統合（水平的統合）されたセグメントとして10に区分されたカリキュラム、および縦断的カリキュラムとして「AI・データサイエンスと医療」、「国際コミュニケーション」および「基本的・医学的表現技術」を6学年通して統合（垂直的統合）し学修します。「医の実践力」に含まれる、自主的に課題に取り組み、問題点を把握しかつ追求する姿勢を養い、医学のみならず広く関連する諸科学を照覧して理論を構築し、問題を解決できる能力および継続的に自己学修する力を、テュートリアル、チーム基盤型学修、研究プロジェクト等の能動学修プログラムおよび各セグメントにおける実習を通じて学びます。

「慈しむ心の姿勢」の学修は、専門職としての使命感、倫理感、態度、女性医師としての特徴、キャリア、リーダーシップとパートナーシップ、コミュニケーション、医療安全、チーム医療等を体得する「『至誠と愛』の実践学修」が水平的ならびに垂直的に統合され6年間を通して学びます。一部は、セグメント科目やテュートリアルでも学びます。

医師となる訓練として、1年次から段階的に患者さんと接する実践の場やシミュレーション

等で学ぶ機会が設けられ、4年次修了までに「医の実践力」および「慈しむ心の姿勢」の学修を含め、医師としての基本的知識、技能、態度の修得が求められ、さらに5年次から6年次では指導者の下で診療に参加して学修する診療参加型臨床実習を行い、卒業までに医師としての基本的診療能力を持ち、考え、行動できるように学修します。

医師としての素養、国際的医療実践、組織・社会の先導力を涵養するために、選択科目、国外での臨床実習、リーダーシップ学修の機会が提供され、学生が自分の個性を伸ばすため、医療者の新しい役割を認識するために活用できます。

セグメント、縦断的カリキュラム、テュートリアル、チーム基盤型学修、「『至誠と愛』の実践学修」の学修成果は、それぞれの学修目標に照らして、筆記試験、レポート、技能試験、態度・姿勢の観察評価により総合的に評価され、学年毎に定められた科目・単位の修了により、次学年に進級します。また、各科目の評価をGPA (Grade Point Average)として評価し進級の要件とします。さらに、共用試験として行われる4年次のCBT (Computer Based Testing)、OSCE (Objective Structured Clinical Examination)、P-SAT (Problem-solving Ability Test)、ならびに6年次のPost-CC (Clinical Clerkship) OSCEは、進級の要件となります。進級の認定が得られなかった場合は、翌年に限り同一学年の全必修科目を再履修し、再度評価を受けます。

アウトカム・ロードマップの評価は、それぞれの科目試験、「『至誠と愛』の実践学修」評価、テュートリアル・チーム基盤型学修および実習の評価、臨床実習のポートフォリオ評価等から、関係する評価を統合して学修成果（アウトカム）に沿って評価を行います。

アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

自らの能力を磨き、医学の知識・技能を修得して自立し、「至誠と愛」を実践する女性医師および女性研究者となるために、学修者自身が問題意識をもち、自らの力で知識と技能を発展させていく教育を行います。医師を生涯続ける意志を持ち、幅広い視野を身につけ、自ら能力を高め、問題を解決していこうとする意欲に燃えた向学者で、以下のような人材を求めます。

医学部が求める入学者像

1. きわめて誠実で慈しむ心を持つ人
2. 礼節をわきまえ、情操豊かな人
3. 独立心に富み、自ら医師となる堅い決意を持つ人
4. 医師として活動するために適した能力を有する人

本学で学修しようとする者には、本学の建学の精神と大学の理念を理解して学ぶことを求めます。その上で、本学のカリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）に沿って学修して、学修成果（アウトカム）を達成し、ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）を満たし、生涯に亘り医師として、女性医療者として自立して多方面で活躍する人材を、多様な方法により選抜します。

一般選抜においては、高等学校等における学修成果の評価を筆記試験で、また医師となる適性、使命感、将来継続して女性医師として社会に貢献する心構え、そして「至誠と愛」の理念の下に本学で学びディプロマ・ポリシーを達成する意思を面接、小論文、適性試験により評価します。

学校推薦型選抜（一般推薦）では、高等学校等における知識・技能・態度の学修成果や医師となる適性を高等学校の推薦書等に基づき評価し、さらに医師としての使命感、将来継続して女性医師として社会に貢献する心構え、そして問題を発見し、学修し、解決する自ら学ぶ力、「至誠と愛」の理念とカリキュラム・ポリシーを理解して学びディプロマ・ポリシーを達成する意思を面接、小グループ討論、小論文、思考力試験により評価します。

入学までに期待する学修項目は、社会、医療を先導する女性医療者となる確固たる意思の醸成、専門職に求められる自らの学修を振り返りながら新たな課題を発見し問題解決する学び方、考え方の学修、ひと、特に病めるひとに相対する医療者が持つべき態度、心配り、倫理観を学ぶ基盤となる、人と交わる力の醸成です。

アセスメントポリシー

入学時にはアドミッション・ポリシーを満たす人材か、在学中はカリキュラム・ポリシーに則って学修が進められているか、卒業時はディプロマ・ポリシーを満たす人材となったかを以下の基準で評価します。

| | 入学時 | 在学中 | 卒業時 |
|----------------|----------------|---|---|
| 大学 (機関レベル) | 入学者選抜 入学時調査 | 休学率・退学率・学生調査・課外活動状況 | 学士授与(卒業)率・国家試験合格率・大学院進学率・就職率・学生調査・アンケート調査 |
| 医学部 (課程レベル) | 入学者選抜 入学時調査 | 進級率・休学率 退学率・試験結果 GPA・ポートフォリオ・共用試験 CBT・共用試験 OSCE・Mini-CEX・実習評価・学生調査・課外活動状況 | 卒業試験・Post CC-OSCE・学士授与(卒業)率・国家試験合格率・ストレート卒業率・大学院進学率・就職率・アンケート調査 |
| 学部科目レベル | 入学者選抜 | 単位認定・定期試験・レポート評価・実習評価・小テスト出席率・至誠と愛の体得度・ポートフォリオ・授業評価アンケート | |

| | | | |
|---------------------|----------------|---|------------------------------------|
| 大学院医学研究科 (課程レベル) | 入学者選抜 入学時調査 | 進級率・休学率・退学率・単位認定・レポート評価・研究計画書・研究指導状況報告書・中間発表会評価 | 学位授与率・修了率・学位論文のIF・就職率・学生調査・アンケート調査 |
| 大学院科目レベル | 入学者選抜 | 単位認定・レポート評価・研究計画書・研究指導状況報告書・中間発表会評価 | |

学部学生では、科目等では合格基準として詳細は学修の手引きに示し、進級については、及落判定基準として学生便覧に示します。大学院生に関しては大学院便覧に示します。継続的に形成的評価を行い、学生への指導に使用します。また、その結果の学修成果（達成度）を評価するために、決まった時期と数の総括的評価を実施します。これらの評価は、統合教育学修センターでの解析等によって評価そのものの事後評価を行い、信頼性と妥当性を最大化します。

MD プログラム 2011 改訂版について

東京女子医科大学医学部で医学を学ぶことは、大学の理念を受け継ぎ、社会に貢献する力を持った医師を目指して学修することである。医学部は 110 年を超える歴史の中で女性医師を育てるための教育に力を入れてきたが、平成 29 年度新入生から新たなカリキュラムを導入した。新カリキュラムは、それまでのカリキュラム MD プログラム 2011 の良い点を踏襲しつつ、現代社会のニーズあるいは日本と世界で求められる、医師像を「至誠と愛」の理念のもとに達成することを目指す。

MD プログラム 2011 改訂版は 4 個の包括的目標を持つ。

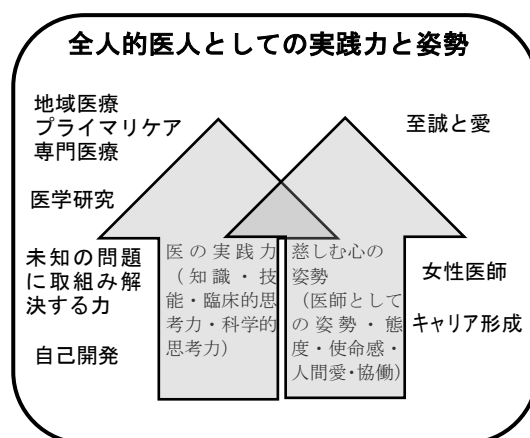
- 1) 卒業時に基本的知識を持ち、医師として考え行動し、振る舞うことができる実践力を持つこと。
- 2) 学生が自分の目標を知り、自ら実践力を高められる教育となること。
- 3) 科学的思考力と臨床的思考力を持つこと。
- 4) 女性医師としての特徴をもち、基本的診療能力を備え、地域や国際を含めた現代の医療および医療ニーズに即した実践力を獲得すること。

MD プログラム 2011 改訂版は、以下の特徴を持つ。

- 1) 知識だけでなく技能と態度を備えた実践力の最終目標をアウトカム、途中の目標をロードマップとして具体的に示し、学生が入学時から最終目標に向けてどのように自己開発をしたらよいかを明示し、またその達成度を評価する事により学生が長い学修期間の中で目標と動機を失わないようにする。
- 2) 臨床的能力を高めるため、高学年の臨床実習開始前に臨床的思考力、技能、態度の学修を充実させ、実践的臨床実習を行う。
- 3) 基礎と臨床、知識と技能を統合して学ぶ統合カリキュラムを前カリキュラムから引き継ぎ、自ら問題を見つけ、科学的・医学的に且つ人間性を持ち、問題解決のための思考力を講義・実習・チュートリアル・TBL 教育を通じて学ぶ。
- 4) 医師としての人間性・倫理・使命感・態度を育成する「至誠と愛」の実践学修を行う。
- 5) 医の実践力の一部となる基本的・医学的表現技術、情報処理・統計、国際コミュニケーションを 4 ないし 6 年間継続して積み上げる縦断教育を行う。
- 6) 医療を支える科学に自ら触れる機会を通じて、研究の面白さを知るとともに医師が持つべき研究的視点を学ぶ。
- 7) 女性の特性を意識した医療者となるための学修を行う。

学部教育を通じて達成する医師としての実践力

医学部の学修を通じて修得する実践力は、**医の実践力と慈しむ心の姿勢**に分かれる。医の実践力は主として知識・技術とその応用に関する6個の中項目、慈しむ心の姿勢は医人としての態度・情報と意志を疎通する能力・使命感・倫理感・専門職意識などに関する5個の中項目に分かれ、それぞれに数個のアウトカムが定められている。アウトカムは卒業時まで達成すべき目標の包括的目標であるが、低学年（1/2年）、中学年（3/4年）、高学年（5/6年）で達成すべき具体的な目標をロードマップとして表している。



アウトカム・ロードマップは各教科の目標ではなく、学修の積み重ねにより修得すべき実際に自分でできる力、実践力、を示したものである。学生は、最終目標を見据えて学修段階に応じた目標を持ち、教員はそれぞれ担当する教育の中で、全体像のどの段階を学生が学ぶべきかを理解して教育にあたるために全体が示されている。学生の評価も、科目として受ける試験などによる評価と共に、様々な評価情報を組み合わせたロードマップ評価を行い、学生の到達度を認識できるようになる。

以下にアウトカムを示す。

I 医の実践力

1. 知識と技能を正しく使う力
 - A. 医学的知識を医療に活用できる。
 - B. 診断・治療・予防を実践できる。
 - C. 基本的技能を実践できる。
2. 問題を見つけ追求する力
 - A. 解決すべき問題を発見できる。
 - B. 問題を深く追求できる。
 - C. 未知の問題に取り組むことができる。
3. 問題解決に向け考え実行する力
 - A. 適切な情報を集め有効に活用できる。
 - B. 解決方法を選び実行できる。
 - C. 結果を評価できる。
4. 情報を伝える力
 - A. 患者に情報を伝えることができる。
 - B. 医療情報を記録できる。
 - C. 医療者と情報交換ができる。

5. 根拠に基づいた判断を行う力
 - A. 臨床・基礎医学の根拠を発見できる。
 - B. 根拠に基づいて診療を行える。
6. 法と倫理に基づいて医療を行う力
 - A. 医療者としての法的義務を理解し守れる。
 - B. 医療倫理を理解し実践できる。
 - C. 研究倫理を理解し実践できる。
 - D. 社会の制度に沿った診療を行える。

II 慈しむ心の姿勢

1. 患者を理解し支持する姿勢
 - A. 患者の意志と尊厳に配慮できる。
 - B. 家族・患者周囲に配慮できる。
 - C. 社会の患者支援機構を活用できる。
2. 生涯を通じて研鑽する姿勢
 - A. 目標を設定し達成するために行動できる。
 - B. 社会のニーズに応じて研鑽できる。
 - C. 自分のライフサイクルのなかでキャリアを構築できる。
 - D. 自分の特性を活かした医療を行うために研鑽する。
 - E. 専門職として目標を持つ
3. 社会に奉仕する姿勢
 - A. 社会・地域で求められる医療を実践できる。
 - B. 医学研究を通じた社会貢献ができる。
4. 先導と協働する姿勢
 - A. 自分の判断を説明できる。
 - B. グループを先導できる。
 - C. 医療チームのなかで協働できる。
5. ひとの人生へ貢献する姿勢
 - A. 患者に希望を与えられる。
 - B. 後輩を育てることができる。

次にそれぞれのアウトカムを達成するためのロードマップ（中間目標）を示す。

I 医の実践力—アウトカム/ロードマップ

| | | 2. 問題を見つけて追求する力 | | | | |
|-------------------------|---|--|---|---|--|---|
| 1. 知識と技能を正しく使う力 | | A. 解決すべき問題を発見できる。 | B. 問題を深く追求できる。 | C. 未知の問題に取り組むことができる。 | | |
| アウトカム 1,2年 ロードマップ | <p>A. 医学的知識を医療に活用できる。</p> <p>① 人体の正常な構造と機能を説明できる。 I-1-A-(1-2)-①</p> <p>② 人体の構造と機能に異常が起こる原因と過程を概説できる。 I-1-A-(1-2)-②</p> <p>③ 受精から出生の正常と異常を説明できる。 I-1-A-(1-2)-③</p> <p>④ 世界の保険・医療問題、国際保健に関わる組織・計画・リソースについて概説できる。 I-1-A-(1-2)-④</p> | <p>B. 診断・治療・予防を実践できる。</p> <p>① データを読み解き実践できる。 I-1-B-(1-2)-①</p> | <p>C. 基本的技能を実践できる。</p> <p>① 実習に必要な技術を実践できる。 I-1-C-(1-2)-①</p> <p>② 安全に配慮して実習・研修を行える。 I-1-C-(1-2)-②</p> | <p>A. 現象・事例から学ぶべきことを発見できる。</p> <p>I-2-A-(1-2)-①</p> | <p>B. 問題を深く追求できる。</p> <p>① 仮説を導くことができる。 I-2-B-(1-2)-①</p> <p>② 事象、現象、観察などからその原因について考えられる。 I-2-B-(1-2)-②</p> | <p>C. 未知の問題に取り組むことができる。</p> <p>① 既知と未知の問題を明らかにできる。 I-2-C-(1-2)-①</p> <p>② 医学の発展に寄与した科学的発見を述べられる。 I-2-C-(1-2)-②</p> |
| 3,4年 ロードマップ | <p>① 人体の臓器・器官系の機能と構造、正常と異常を説明できる。 I-1-A-(3-4)-①</p> <p>② 全身的疾患、外的要因による異常を説明できる。 I-1-A-(3-4)-②</p> <p>③ 受精から出生、成長と発育、成熟と加齢の正常と異常を説明できる。 I-1-A-(3-4)-③</p> <p>④ 疾患、症候の病態を説明できる。 I-1-A-(3-4)-④</p> | <p>① 診断の過程を説明し実践できる。 I-1-B-(3-4)-①</p> <p>② 適切な治療法とその根拠を説明できる。 I-1-B-(3-4)-②</p> <p>③ 疾病予防・健康維持・公衆衛生の方法を説明できる。 I-1-B-(3-4)-③</p> | <p>① 基本的医療技能を示すことができる。 I-1-C-(3-4)-①</p> <p>② 医療安全に必要な配慮を示すことができる。 I-1-C-(3-4)-②</p> | <p>① 問題の優先度および重要度を判断できる。 I-2-A-(3-4)-①</p> <p>② 事例で診療上の心理的・社会的問題を明らかにできる。 I-2-A-(3-4)-②</p> | <p>① 問題の科学的重要性を評価できる。 I-2-B-(3-4)-①</p> <p>② 基礎・病態・臨床を結びつけて考えられる。 I-2-B-(3-4)-②</p> | <p>① 事例から自分の知らないことを発見できる。 I-2-C-(3-4)-①</p> <p>② 未知の問題を解決する方法を見つけることができる。 I-2-C-(3-4)-②</p> |
| 5,6年 ロードマップ | <p>① 患者の抱える異常とその病態を説明できる。 I-1-A-(5-6)-①</p> | <p>① 臨床推論を実践できる。 I-1-B-(5-6)-①</p> <p>② 患者にあわせた診断・治療の判断ができる。 I-1-B-(5-6)-②</p> <p>③ 患者に合わせた診療計画・経過観察計画を立てられる。 I-1-B-(5-6)-③</p> | <p>① 基本的医療技能を実践できる。 I-1-C-(5-6)-①</p> <p>② 安全に配慮して、医療を実践できる。 I-1-C-(5-6)-②</p> | <p>① 患者・家族が抱える心理的・社会的問題・不安を明らかにできる。 I-2-A-(5-6)-①</p> <p>② 患者の診療上の問題を明らかにできる。 I-2-A-(5-6)-②</p> | <p>① 患者の病態の原因を検索できる。 I-2-B-(5-6)-①</p> <p>② 患者の苦痛の原因を人体の構造と機能、および「ところ」から説明できる。 I-2-B-(5-6)-②</p> | <p>① 患者から新しいことを学べる。 I-2-C-(5-6)-①</p> <p>② 患者から自分の知らないことを発見できる。 I-2-C-(5-6)-②</p> <p>③ 自分の能力では解決できない問題を判断できる。 I-2-C-(5-6)-③</p> |

| | | 4. 情報を伝える力 | | | |
|-------------------|--|--|--|--|--|
| 3. 問題解決に向け考え実行する力 | | A. 患者に情報を伝えることができる。 | B. 医療情報を記録できる。 | C. 医療者と情報交換ができる。 | |
| アウトカム | A. 適切な情報を集め有効に活用できる。 | B. 解決方法を選び実行できる。 | C. 結果を評価できる。 | | |
| 1、2年 ロードマップ | ① 問題解決のための情報収集ができる。 I-3-A-(1-2)-① ② 仮説を証明する手順を説明できる。 I-3-A-(1-2)-② | ① 情報に即して適切な解決方法を導くことができる。 I-3-B-(1-2)-① ② 複数の問題解決法を考へることができる。 I-3-B-(1-2)-② | ① 問題解決結果の妥当性を評価できる。 I-3-C-(1-2)-① ② 結果に予想される誤差を考へられる。 I-3-C-(1-2)-② | ① 結論とその根拠が明確な文書を作成できる。 I-4-B-(1-2)-① ② 研究・実習の報告書が作成できる。 I-4-B-(1-2)-② ③ 文書の要約を作成できる。 I-4-B-(1-2)-③ | |
| 3、4年 ロードマップ | ① 事例に即した問題解決のための情報検索ができる。 I-3-A-(3-4)-① ② 適切な診療ガイドラインを選択できる。 I-3-A-(3-4)-② | ① 病態を明らかにする方法を挙げることができる。 I-3-B-(3-4)-① ② 事例で診療上の問題を解決する方法・手段を明らかにできる。 I-3-B-(3-4)-② | ① 適切な問題解決を行ったか検証できる。 I-3-C-(3-4)-① ② 結果の客観的評価ができる。 I-3-C-(3-4)-② ③ 結果の解釈の限界を明らかにできる。 I-3-C-(3-4)-③ | ① 研究・実習・症例などの背景、目的、方法、結果、考察を適切に発表できる。 I-4-C-(3-4)-① ② 医療チームでの情報共有について説明できる。 I-4-C-(3-4)-② | |
| 5、6年 ロードマップ | ① 適切な診療ガイドラインを選択できる。 I-3-A-(5-6)-① ② 診療上の問題解決のために分析すべきことを明らかにできる。 I-3-A-(5-6)-② ③ 診療上の問題解決のための情報検索ができる。 I-3-A-(5-6)-③ ④ 異なる問題解決の方法を提示し、比較できる。 I-3-A-(5-6)-④ | ① 診療上の問題を解決する方法・手段を明らかにできる。 I-3-B-(5-6)-① ② 情報を活用し適切な解決方法を判断できる。 I-3-B-(5-6)-② | ① 診療で得られた情報の信頼性を評価できる。 I-3-C-(5-6)-① ② 診療過程で予測される問題点を示せる。 I-3-C-(5-6)-② ③ 予想と異なる結果について原因を考察できる。 I-3-C-(5-6)-③ | ① 口頭で症例提示ができる。 I-4-C-(5-6)-① ② 患者の問題点を指導医に報告できる。 I-4-C-(5-6)-② ③ 必要な患者情報を要約して説明できる。 I-4-C-(5-6)-③ ④ 専門の異なる医療者に対して適切な情報交換を行える。 I-4-C-(5-6)-④ | |

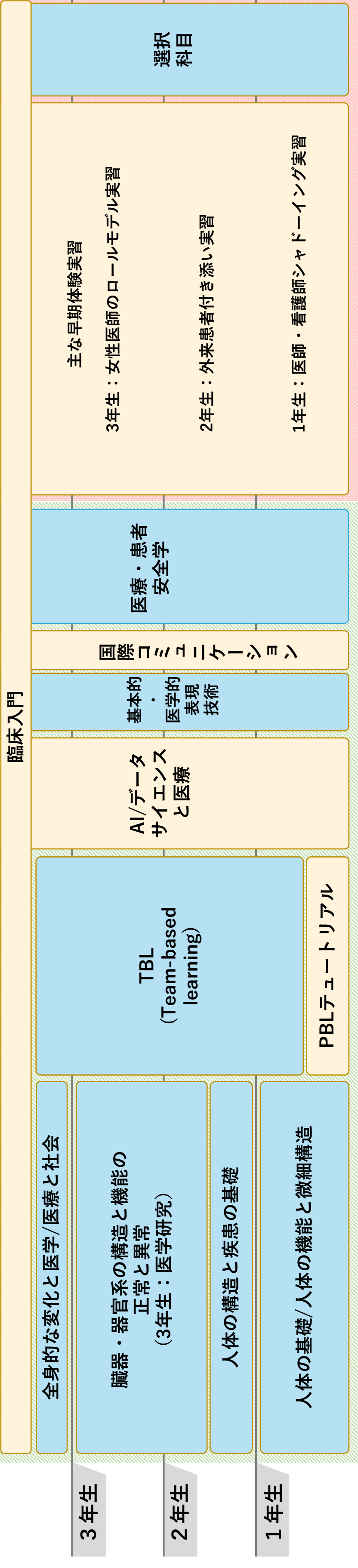
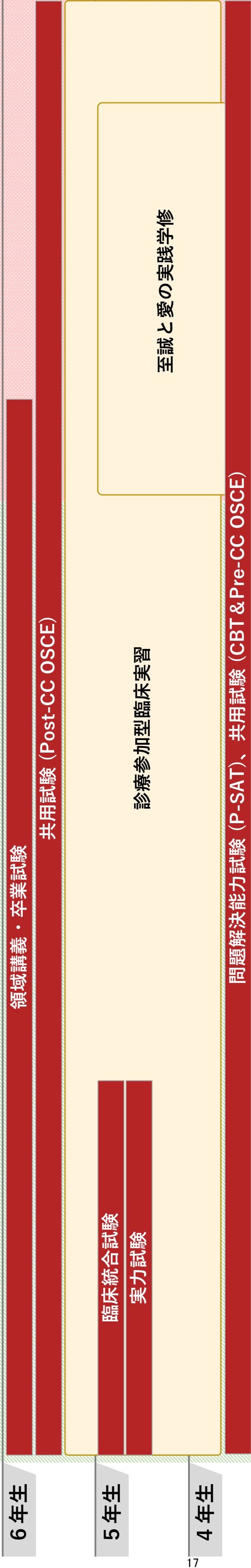
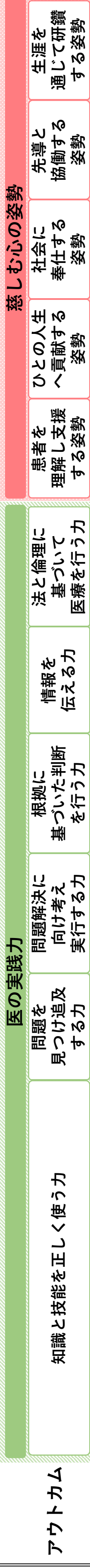
| | | 6. 法と倫理に基づいて医療を行う力 | | | |
|----------------|--|---|---|---|---|
| | | 5. 根拠に基づいた判断を行う力 | | C. 研究倫理を理解し実践できる。 | |
| | | A. 臨床・基礎医学の根拠を発見できる。 | | D. 社会の制度に沿った診療を行える。 | |
| | | B. 根拠に基づいて診療を行える。 | | | |
| | | A. 医療者としての法的義務を理解し守れる。 | | | |
| アウトカム | | | | | |
| 1,2年 ロードマップ | <p>A. 臨床・基礎医学の根拠を発見できる。</p> <p>① 現象の原因・機序を検索できる。 I-5-A-(1-2)-①</p> <p>② 実験・実習などで得られた結果を評価し予想との相違を明確にできる。 I-5-A-(1-2)-②</p> <p>③ 情報の信頼度を評価できる。 I-5-A-(1-2)-③</p> | <p>B. 根拠に基づいて診療を行える。</p> <p>① 根拠に基づいて解決法を判断できる。 I-5-B-(1-2)-①</p> <p>② 問題解決の適切性を評価できる。 I-5-B-(1-2)-②</p> | <p>B. 医療倫理を理解し実践できる。</p> <p>① 個人情報保護について説明できる。 I-6-B-(1-2)-①</p> <p>② 倫理の概念について説明することができる。 I-6-B-(1-2)-②</p> | <p>C. 研究倫理を理解し実践できる。</p> <p>① 研究倫理の概念について述べることができる。 I-6-C-(1-2)-①</p> <p>② 研究倫理に配慮して実験・実習の結果報告書を作成できる。 I-6-C-(1-2)-②</p> | |
| 3,4年 ロードマップ | <p>① データ・結果の根拠を批判的に説明できる。 I-5-A-(3-4)-①</p> <p>② 結果・情報をもとに新たな仮説を立てられる。 I-5-A-(3-4)-②</p> <p>③ 根拠となる文献を検索できる。 I-5-A-(3-4)-③</p> | <p>① 医学生の医行為水準を説明できる。 I-6-A-(3-4)-①</p> <p>② 医師法・医療法の概要を説明できる。 I-6-A-(3-4)-②</p> | <p>① 医学における倫理の概念を説明できる。 I-6-B-(3-4)-①</p> <p>② 倫理的問題を明らかにできる。 I-6-B-(3-4)-②</p> <p>③ 患者情報が含まれる文書・電子媒体を適切に使用できる。 I-6-B-(3-4)-③</p> | <p>① 基礎研究における倫理指針を概説できる。 I-6-C-(3-4)-①</p> <p>② 利益相反(Conflict of interest)について説明できる。 I-6-C-(3-4)-②</p> | <p>① 社会保障を概説できる。 I-6-D-(3-4)-①</p> <p>② 医療に関する保証制度を概説できる。 I-6-D-(3-4)-②</p> |
| 5,6年 ロードマップ | <p>① 基礎的・臨床的観察を通じて新たな発見ができる。 I-5-A-(5-6)-①</p> <p>② 問題点に関わる臨床医学文献を検索できる。 I-5-A-(5-6)-②</p> <p>③ 検索した医学的情報の確かさを評価できる。 I-5-A-(5-6)-③</p> | <p>① 病院の規則に従って診療に関われる。 I-6-A-(5-6)-①</p> | <p>① 患者情報の守秘を励行して医療を行える。 I-6-B-(5-6)-①</p> <p>② 臨床倫理を実践できる。 I-6-B-(5-6)-②</p> <p>③ 立場の違いによる倫理観の違いを理解しながら倫理判断ができる。 I-6-B-(5-6)-③</p> | <p>① 臨床研究の倫理指針を概説できる。 I-6-C-(5-6)-①</p> | <p>① 患者に合わせて医療保険、医療補助制度を説明できる。 I-6-D-(5-6)-①</p> |

II 慈しむ心の姿勢—アウトカム/ロードマップ

| | | 2. 生涯を通じて研鑽する姿勢 | | | | |
|-----------------|--|---|---|--|---|--|
| 1. 患者を理解し支持する姿勢 | | B. 社会のニーズに応えて研鑽できる。 | | | C. 自分のライフサイクルのなかでキャリアを構築できる。 | |
| アウトカム | A. 患者の意思と尊厳に配慮できる。 | B. 家族・患者周囲に配慮できる。 | C. 社会の患者支援機構を活用できる。 | D. 自分の特性を生かした医療を行うために研鑽する。 | E. 専門職として目標を持つ。 | |
| 1、2年 ロードマップ | ① 他者の意思を聞き出すことができる。 II-1-A-(1-2)-① ② 他者を尊重して対話ができる。 II-1-A-(1-2)-② ③ 他者の自己決定を理解できる。 II-1-A-(1-2)-③ | ① 様々な年齢の他者と意思を交わすことができる。 II-1-B-(1-2)-① | ① 社会支援制度を説明できる。 II-1-C-(1-2)-① | ① 自分が学び方を知り、効果的な学び方に発展させられる。 II-2-D-(1-2)-① ② 真摯に学びを励行できる。 II-2-D-(1-2)-② | ① 自分の目標となる人物像を説明できる。 II-2-E-(1-2)-① | |
| 3、4年 ロードマップ | ① 傾聴できる。 II-1-A-(3-4)-① ② 患者の人権・尊厳を説明できる。 II-1-A-(3-4)-② | ① 他者の気持ちに配慮して意志を交わすことができる。 II-1-B-(3-4)-① ② 患者・家族の心理を説明できる。 II-1-B-(3-4)-② | ① 社会の支援制度を利用する方法を明らかにできる。 II-1-C-(3-4)-① | ① 自分の特性を活かして学習できる。 II-2-D-(3-4)-① ② 学習の中で興味を持ったことを自ら学習する。 II-2-D-(3-4)-② | ① 自分のモデルとなる先輩を示すことができる。 II-2-E-(3-4)-① | |
| 5、6年 ロードマップ | ① 患者の自己決定を支援し、必要な情報が提供できる。 II-1-A-(5-6)-① ② 患者の意思を聞き出すことができる。 II-1-A-(5-6)-② ③ 患者の尊厳に配慮した診察が行える。 II-1-A-(5-6)-③ | ① 患者・家族の解釈を理解し、対応できる。 II-1-B-(5-6)-① ② 患者・家族の信頼を得る振る舞いができる。 II-1-B-(5-6)-② ③ 患者・家族への説明の場に配慮できる。 II-1-B-(5-6)-③ | ① ライフサイクルを理解し、その中でキャリア継続のための計画を立てられる。 II-2-C-(5-6)-① | ① 自分の目指す医師像を達成するための計画を示せる。 II-2-D-(5-6)-① | ① 自分の特性を活かしてどのような医師を目指すかを述べることができる。 II-2-E-(5-6)-① | |

| アウトカム | 3. 社会に奉仕する姿勢 | | | 4. 先導と協働する姿勢 | | | 5. ひとの人生へ貢献する姿勢 | | |
|----------------|--|--|--|---|--|--|--|--|--|
| | A. 社会・地域で求められる医療を実践できる。 | B. 医学研究を通じた社会貢献ができる。 | A. 自分の判断を説明できる。 | B. グループを先導できる。 | C. 医療チームのなかで協働できる。 | A. 患者に希望を与えられる。 | B. 後輩を育てることができる。 | | |
| 1,2年 ロードマップ | ① 社会・地域に奉仕する姿勢を持つ。 II-3-A-(1-2)-① | ① 医学研究の重要性について概説できる。 II-3-B-(1-2)-① | ① 自分の考えの根拠を説明できる。 II-4-A-(1-2)-① | ① 共通の目標を設定できる。 II-4-B-(1-2)-① ② 活動向上のための評価ができる。 II-4-B-(1-2)-② ③ 意見の異なる他者の意見を尊重し対処できる。 II-4-B-(1-2)-③ | ① 他者の話を聴くことができる。 II-4-C-(1-2)-① ② 対話の中で相手の述べたことを要約できる。 II-4-C-(1-2)-② ③ 役割分担を確実に実践できる。 II-4-C-(1-2)-③ | ① 医学の進歩が人に希望を与えらる。 II-5-A-(1-2)-① ② 困難な状況にあっても、希望を見いだすことができる。 II-5-A-(1-2)-② | ① 学生として適切な振る舞いで行動できる。 II-5-B-(1-2)-① ② 学んだことを他者に説明できる。 II-5-B-(1-2)-② | | |
| 3,4年 ロードマップ | ① 医療を通じた社会・地域への貢献を説明できる。 II-3-A-(3-4)-① | ① 基礎医学研究の意義と現在の動向を概説できる。 II-3-B-(3-4)-① ② 医学研究成果の意義と応用・将来性を説明できる。 II-3-B-(3-4)-② ③ 臨床や医学研究の動向に目を向け概説できる。 II-3-B-(3-4)-③ | ① 自分の選択・判断の根拠を説明できる。 II-4-A-(3-4)-① ② 他者の考えを聞いて自分の選択を判断し説明できる。 II-4-A-(3-4)-② | ① 討論・話し合いを促せる。 II-4-B-(3-4)-① ② 自分の方針を説明し同意を得ることができ る。 II-4-B-(3-4)-② ③ 活動向上のための評価に基づく行動をグループに導入できる。 II-4-B-(3-4)-③ | ① グループ目標達成のため に行動できる。 II-4-C-(3-4)-① ② 講成員の役割と考えを尊重してグループの目標を立てられる。 II-4-C-(3-4)-② | ① 学習する事例について医学の貢献を説明できる。 II-5-A-(3-4)-① ② 問題を解決できたとときの状況を考え説明できる。 II-5-A-(3-4)-② | ① 自分が目標をどのように達成したかを他者に説明できる。 II-5-B-(3-4)-① ② 相手の知識・技能に合わせて質問に答えることができる。 II-5-B-(3-4)-② | | |
| 5,6年 ロードマップ | ① 臨床実習の中で医療に参加し社会・地域に貢献する。 II-3-A-(5-6)-① | ① 診療のなかで医学研究の課題を見つけることができる。 II-3-B-(5-6)-① | ① 講成員の特性に合わせて個人と全体の活動を統括できる。 II-4-B-(5-6)-① | ① 自分が所属する医療チーム構成員の役割を説明できる。 II-4-C-(5-6)-① ② 与えられた医療の役割について責任を持ち確実に実施できる。 II-4-C-(5-6)-① | ① 医療の限界のなかで可能なことを説明できる。 II-5-A-(5-6)-① ② 患者に医療が行うことのできる望ましい結果を説明できる。 II-5-A-(5-6)-② | ① 適切な振る舞いで診療に参加できる。 II-5-B-(5-6)-① ② 他者の疑問を共に解決することができる。 II-5-B-(5-6)-② ③ 医療の中で他者に教えることを実践できる。 II-5-B-(5-6)-③ | | | |

| | | |
|-----|------------|--|
| 卒業時 | ディプロマ・ポリシー | DP5 生涯にわたり女性医師として「至誠と愛」の理念を持ち、振る舞い、自立して社会に貢献する意思を持つ。 |
| | | DP4 安全な医療を行える能力を有する。 |
| | | DP3 医学の発展、変化する地域や国際的な医療に適応する科学のおよび臨床的思考力を持つ。 |
| | | DP2 自ら問題を発見し解決する能力を持つ |
| | | DP1 医師としての基本的診療能力を持ち、考え、行動することができる。 |



□：形成的評価 □：総括的評価

カリキュラムの構造

カリキュラム（教育計画）は、学生が実践力を持つ医師になるために限られた時間のなかで最大の学修を得られるように構築されている。学生には、全てのカリキュラムに参加して最終目標を達成することが求められる。

医学部カリキュラムの全体構造は、初めに人体の基本構造と機能を2年前期までに学び、次に医療を行うために必要な臓器・器官系の正常と異常、臓器系をまたいでおこる全身的異常、人の発生・出産・出生・成長・発育・成熟・加齢の正常と異常を3年後期までに学ぶ。4年前期は、全身的な変化と、社会・法律・衛生・公衆衛生と医学の関わり、臨床推論の進め方などの臨床的思考力、麻酔・救急などの全身管理に係わる医学を学び、医療を取り巻く環境を理解する。そして4年後期は、臨床実習に備えた臨床入門を学ぶ。臨床入門は、基本的臨床技能を学ぶだけでなく、画像・検査などの臨床的理解を学び、4年後半から医療の中に入って臨床実習を行えるようになるための仕上げとなる。臨床実習への準備は、総合試験（共用試験 CBT および問題解決能力試験）、共用試験 OSCE などで評価される。4年後半から6年前半の臨床実習では、見学するのではなく参加する意識で実習を行って欲しい。臨床実習では、地域医療・プライマリケアなど現代の日本の医療に求められる領域、国外留学など国際的医療に係わる機会、基礎医学を学ぶ機会などが設けられ、且つ学生が自分のキャリアを考えて学修の場を選べるようになっている。6年後期は、6年間の学修の総括と卒業認定のための評価に充てられる。

学年毎に進むカリキュラムとは別に縦断的カリキュラムがある。これは、学生が4もしくは6年間で継続して自己開発する必要のある科目で、縦断教育科目と呼ぶ。

6年間のカリキュラム全体図

| | | | | | | | | | | | | |
|----|---------------|---------|----------------------------------|---|-------------|-------------|----------|-------------|-------------|------------------|------|----------|
| 1年 | 前期 (4月～7月) | セグメント1 | 人体の基礎 | 人体の基本的構造と機能/ 人体の防御機構 | テュートリアル・TBL | 「至誠と愛」の実践学修 | 医療・患者安全学 | 基本的・医学的表現技術 | 国際コミュニケーション | AI・データサイエンスと医療教育 | 選択科目 | 研究プロジェクト |
| | 後期 (9月～3月) | セグメント2 | 人体の機能と 微細構造 | | | | | | | | | |
| 2年 | 前期 | セグメント3 | 人体の構造と 疾患の基礎 | 人体の発生と全体構造 | | | | | | | | |
| | 後期 | セグメント4 | 臓器・器官系の構造と 機能の正常と異常1 | | | | | | | | | |
| 3年 | 前期 | セグメント5 | 臓器・器官系の構造と 機能の正常と異常2/ 人の一生 | 消化器系/内分泌系/栄養・代謝系 新生児・小児・思春期/加齢と老化、臨終 | | | | | | | | |
| | 後期 | セグメント6 | 臓器・器官系の構造と 機能の正常と異常3/ 医学研究 | | | | | | | | | |
| 4年 | 前期 | セグメント7 | 全身的な変化と医学/ 医療と社会 | 全身的な変化/医学と社会 | | | | | | | | |
| | 後期 | セグメント8 | 臨床入門 | | | | | | | | | |
| 5年 | 前期 | セグメント9 | 医療と医学の 実践 | 診療参加型臨床実習(研究実習) | | | | | | | | |
| | 後期 | | | | | | | | | | | |
| 6年 | 前期 | セグメント10 | 全体統合・ 総合達成度評価 | 卒業試験 | | | | | | | | |
| | 後期 | | | | | | | | | | | |

週間の授業予定

学生は全ての授業に出席し能動的に学ぶ事が求められる。

医学部の時間割の特徴は、テュートリアル・TBL を中心に十分な自己学修の時間が確保されていることである。自ら目標を定め能動的に学ぶことで医師となっても使い続けることのできる知識の活用を修得するように、授業・実習のない学修時間が確保されている。

セグメント7

全身的な変化/医学と社会

2026年4月6日～2026年7月31日

I 学 修 内 容

セグメント7は「臓器・器官系の構造と機能の正常と異常」の最終段階に当たり、臓器系をまたいで起こる「全身的な変化」と「医学と社会」を基本テーマとし、基幹科目としては「血液・リンパ系」「感染症系」「免疫・アレルギー疾患・膠原病」「環境と健康・疾病・障害」「社会制度と保健・医療・福祉」「麻酔・周術期管理」「救命救急医療」「基本的治療法」「診療の基礎」「臨床推論 TBL」の10教科よりなっています。

4年前期で臓器別講義は終了し、後期以降は医療を取り巻く環境や4年生1月からの本格的な臨床実習に向けた臨床入門を学ぶこととなります。医学的知識の習得はもとより基本的臨床技能や臨床的考察力を養っていくことが重要です。

2020年度からセグメント7ではテュートリアルに代わり、TBL(Team Based Learning)を行っています。

4年生1月から始まる臨床実習に向け、自己学修・自己開発の能力を高め、臨床推論や画像の理解など医学知識以外の能力も一層磨く必要があります。

約3ヵ月という短い期間ではありますが、学修の手引きに沿って計画的な自己学修・自己開発を進め、チーム医療を行う臨床実習に向け準備を怠らないように日々努力してください。

Ⅱ 到達目標

A. 包括的到達目標

1. 血液・造血器の正常構造と機能について説明することができる。
 - 1) 骨髄、胸腺、リンパ節、脾臓、およびその他のリンパ組織の構造と機能
 - 2) 血球の産生・崩壊、形態と機能
 - 3) 止血機能
 - 4) 血漿とその成分
 - 5) 血液型と個人識別

2. 血液・造血器の異常についてその主要症候、病態生理、病因、診断、検査および治療について述べる
ことができる。
 - 1) 赤血球、白血球、血小板の異常
 - 2) リンパ球、組織球の異常
 - 3) 血漿蛋白異常
 - 4) 出血傾向
 - 5) 輸血副作用

3. 感染症の現状、動向そして予防対策について説明することができる。
 - 1) 主な感染症の疫学
 - 2) 感染対策と予防接種
 - 3) 感染症サーベイランス

4. 主たる感染症についてその主要症候、病態生理、病因、診断、検査および治療について述べる
ことができる。
 - 1) 炎症、免疫
 - 2) 微生物学的検査
 - 3) ウイルス感染症
 - 4) クラミジア、マイコプラズマ、リケッチア感染症
 - 5) 細菌感染症
 - 6) 真菌感染症
 - 7) 寄生虫感染症
 - 8) 熱帯感染症

5. 免疫系組織の正常構造と機能について説明することができる。
 - 1) 免疫系の一般特性
 - 2) 自己と非自己の識別
 - 3) 免疫反応の調節機構
 - 4) 疾患と免疫

6. 免疫系に関連した疾患についてその主要症候、病態生理、病因、診断、検査および治療について述べることができる。
 - 1) 膠原病および膠原病類縁疾患
 - 2) アレルギー性疾患
 - 3) 免疫不全症

7. 生活習慣や生活環境あるいは職業的因子による健康障害について病因、病態、症候、診断、検査および治療を説明することができる。また社会医学的観点から健康の維持、増進について考えることができる。
 - 1) 環境と健康
 - 2) 産業保健
 - 3) 異状死、突然死、事故死

8. 社会制度と保健、医療・福祉および医療経済の現状について述べることができ、これからのあり方について考えることができる。
 - 1) 保健と予防
 - 2) 医師と法規
 - 3) 保健と医療
 - 4) 社会保障、福祉、医療経済
 - 5) 医療・病院管理
 - 6) 医療の質・リスクマネジメント

9. 麻酔につき基本的知識を述べることができる。麻酔の諸手技法と周術期管理等につき論じることができる。
 - 1) 全身麻酔（吸入、静脈）
 - 2) 神経筋遮断（筋弛緩）
 - 3) 局所麻酔（脊髄くも膜下、硬膜外、神経ブロック）
 - 4) 周術期管理（呼吸循環系を中心とした合併症管理）

10. 救命救急医療についてその概念および主たる治療・処置について説明することができる。
 - 1) 患者の現場処置と移送
 - 2) 心肺蘇生その他の救急処置

- 3) 集中治療医学
 - 4) 外傷、臓器不全、ショック状態、中毒等の患者管理
 - 5) 災害医療
 - 6) 救急医療に関わる法的問題
-
11. 基本的な治療法である手術療法、化学療法、放射線、支持・緩和療法について、腫瘍を対象として説明することができる。併せて、腫瘍についてその病理・病態、発生病因・疫学・予防、主要症候、診断・治療と診療の基本事項を説明することができる。
 - 1) 腫瘍の病理・病態、発生要因、疫学
 - 2) 腫瘍患者の症候と関連する検査
 - 3) 腫瘍の組織・細胞診断、画像診断、遺伝子診断、病期。予後因子
 - 4) 腫瘍と関連する基本的治療：手術療法、化学療法、放射線療法、支持・緩和療法、集学的治療
 - 5) 腫瘍の診療におけるチーム医療
 - 6) 腫瘍の診療における生命倫理

 12. 根拠に基づいた医療<EBM>の5つのステップ、診療ガイドラインの使用上の注意を列挙できる。診療ガイドラインの推奨の強さの違いを説明することができ、臨床における診療ガイドラインの使用法を概説できる。
いくつかの疾患について具体的に学ぶことにより、診療ガイドラインを用いることができる。

 13. 病院実習に出る前の準備状態を完成するため、基本的臨床技能（医療面接法、身体診察法）の手技および態度を身につけ、診断に必要な情報を収集することができ、問題志向型システムに基づいた診療録に記載することができる。また、これまで臓器系・疾患別に学修してきた内容を、症候から患者情報、身体診察、鑑別のための検査などを経て診断にいたるプロセスを習得できるようにする。Evidence-based Medicine (EBM)を理解し、診療ガイドラインなどによりエビデンスを探して吟味したうえで正しく利用できるようにする。さらに、病院内のチーム医療のあり方、リスクマネジメントについても理解し、適切に行動できるようにする。
 - 1) 症候と病態・疾患
 - 2) 問題志向型システム (POS) とそれに基づいた診療録 (POMR)
 - 3) 医療面接
 - 4) 身体診察法
 - 5) Evidence-based Medicine (EBM)
 - 6) チーム医療
 - 7) リスクマネジメント

B. 科目別シラバス

(★＝「至誠と愛」の実践学修)

| | | | | | |
|---------------------------|--|--|-----------------|---------------------------------------|-------------------|
| 科目名 | 血液・リンパ系 | | | | |
| 科目責任者(所属) | 瀬尾 幸子 | | | | |
| 到達目標 | 骨髄、胸腺、リンパ節、脾臓の形態と機能について学修する。また赤血球、白血球、血小板などの産生と崩壊とその調節について学修し、それらと病的状態についてどのように把握するかを学ぶ。さらに血液学的検査などの各種検査法を学ぶと共に、血液疾患の病態、診断、化学療法、輸血療法、免疫療法、放射線療法について学修し、血液疾患の病態把握とその治療についての知識を学修する。 | | | | |
| アウトカム・ロードマップに係わる到達目標/項目番号 | 人体の臓器・器官系の機能と構造、正常と異常を説明できる。 疾患、症候の病態を説明できる。 診断の過程を説明し実践できる。 適切な治療法とその根拠を説明できる。 基礎・病態・臨床を結びつけて考えられる。 病態を明らかにする方法を挙げることができる。 研究・実習・症例などの要約が作成できる。 データ・結果の根拠を批判的に説明できる。 討論・話し合いを促せる。 グループ目標達成のために行動できる。 | I -1-A-(3-4)-① I -1-A-(3-4)-④ I -1-B-(3-4)-① I -1-B-(3-4)-② I -2-B-(3-4)-② I -3-B-(3-4)-① I -4-B-(3-4)-① I -5-A-(3-4)-① II -4-B-(3-4)-① II -4-C-(3-4)-① | | | |
| 学修（教育）方法 | 講義・実習 | | | | |
| 評価方法 (1)総括的評価の対象 | 「実習参加の実績」、「レポート等の提出物」、「定期試験」によって評価する。 | | | | |
| 評価方法 (2)評価項目 | 血液・造血器の正常構造と機能について説明することができる。 血液・造血器の異常についてその主要症候について説明することができる。 血液・造血器の異常についてその病態生理、病因について説明することができる。 血液・造血器の異常についてその診断について説明することができる。 血液・造血器の異常についてその治療について説明することができる。 | D-1-1)2) D-1-3)4) G-2-1) F-2-13)G-2-26)27) E-3-5) F-1-26)27) D-1-3)4) | | | |
| 評価方法 (2)評価項目続き | | | | | |
| 評価方法 (3)評価基準 | 定期試験の結果を70%、実習評価を30%として100点満点にて点数化を行い、S.極めて良く理解している(90点以上)、A.良く理解している(80点以上90点未満)、B.理解している(70点以上80点未満)、C.ある程度は理解しているが、十分ではない(60点以上70点未満)、D.あまり理解できていない(60点未満)のいずれかとして判定し、C以上を合格とする。 | | | | |
| 事前・事後学修 | 講義前にアップロードされている資料で事前学修し、講義後の講義復習テストもしくは講義者からの課題で事後学修する。 | | | | |
| 伝達事項 | なし | | | | |
| 実務経験 | ○ <input type="checkbox"/> 大学院の血液内科の医師としての実務経験を以て、医療現場で生かせるような教育を行う | | | | |
| | No | 書籍名 | 著者名 | 上段：出版社 下段：出版年 | ISBN |
| | 1. | 『骨髄疾患診断アトラス 血球形態と骨髄病理』 | 宮内潤、泉二登志子 | 中外医学社 2020 | 9784498125 636 |
| | 2. | 『造血器腫瘍治療ガイドライン』 | 日本血液学会 | 金原出版 2023 | 9784307102 247 |
| | 3. | 『Williams Hematology』 | Kaushansky, K 他 | McGraw-Hill 2021 | 9781260464 122 |
| | 4. | 『臨床に直結する血栓止血学（改訂2版）』 | 浅倉英策 | 中外医学社 2018 | 9784498125 797 |
| | 5. | 『標準生理学』 | 小澤澗司 | 医学書院 2014 | 9784260017 817 |
| | 6. | 『人体の正常構造と機能（第3版）』 | 坂井建雄 | 日本医事新報社 2017 | 9784784931 804 |
| | 7. | 『標準組織学 総論 第5版』 | 藤田尚男 | 医学書院 2015 | 9784260015 318 |
| | 8. | 『標準組織学 各論 第5版』 | 藤田尚男 | 医学書院 2017 | 9784260024 044 |
| | 9. | 『最新カラー組織学』 | Gartner, LP | 西村書店 2003 | 9784890133 086 |
| | 10. | 『Histology : a text and atlas : with correlated cell and molecular biology』 | Ross, MH | Lippincott Williams & Wilkins 2016 | 9781469889 313 |
| | 11. | 『ジュンケイラ組織学 第5版（原著第14版）』 | Mescher AL | 丸善 2018 | 9784621303 399 |

教科書・参考図書

| | | | | |
|-----|--|----------------|---------------------------------------|-------------------|
| 12. | 『Robbins and Cotran Pathologic Basis of Disease』 | Vinay Kumar | ELSEVER 2015 | 9781455726 134 |
| 13. | 『WHO classification of tumours of haematopoietic and lymphoid tissues』 | Swerdlow, SH | IARC 2017 | 9789283244 943 |
| 14. | 『Atlas of lymphoid hyperplasia and lymphoma』 | Ferry, JA | Saunders 1997 | 072165907 1 |
| 15. | 『Ioachim's lymph node pathology』 | Ioachim, HL | Lippincott Williams & Wilkins 2009 | 9780781775 960 |
| 16. | 『リンパ腫アトラス(第5版)』 | 中村直哉 他 | 文光堂 2018 | 9784830604 799 |
| 17. | 『リンパ腫up date I, II (病理と臨床37巻3号、4号)』 | | 文光堂 2019 | |
| 18. | 『学生のための法医学』 | 田中宣幸 | 南山堂 2006 | 452519026 4 |
| 19. | 『輸血ハンドブック』 | 霜山竜志 | 医学書院 2002 | 426024409 4 |
| 20. | 『実践医事法学』 | 金川琢雄 | 金原出版 2008 | 9784307771 603 |
| 21. | 『Goodman & Gillmans pharmacological basis of therapeutics』 | Brunton, LL | McGraw-Hill 2010 | 9780071624 428 |
| 22. | 『癌のシグナル伝達わかる：癌研究の基礎から分子標的治療まで(わかる実験医学シリーズ)』 | 山本雅 | 羊土社 2005 | 489706967 X |
| 23. | 『タンパク質科学イラストレイテッド』 | 竹縄忠臣 | 羊土社 2005 | 489706492 9 |
| 24. | 『医系薬理学』 | 遠藤仁 | 中外医学社 2005 | 449800319 5 |
| 25. | 『医科薬理学』 | 遠藤政夫 | 南山堂 2005 | 452514044 5 |
| 26. | 『Mollison's blood transfusion in clinical medicine』 | Klein, HG | Blackwell 2013 | 9781405199 407 |
| 27. | 『輸血学(改訂第4版)』 | 前田平生 他 | 中外医学社 2018 | 9784498019 133 |
| 28. | 『小児輸血学』 | 大戸斉 | 中外医学社 2006 | 449814500 3 |
| 29. | 『Principles and Practice of Radiation Oncology』 | Halperin E | Lippincott Williams & Wilkins 2013 | 9781451116 489 |
| 30. | 『がん放射線療法2023』 | 唐澤久美子、大西洋ほか | 学研 2023 | |
| 31. | 『やさしくわかる放射線治療学』 | 日本放射線腫瘍学会 | 学研メディカル秀潤社 2018 | 9784780909 753 |
| 32. | 『最新臨床核医学』 | 利波紀久 | 金原出版 1999 | 430707055 0 |
| 33. | 『画像診断・放射線治療ビジュアルナーシング』 | 坂井修二、唐澤久美子 | 学研メディカル秀潤社 2019 | 9784780912 210 |
| 34. | 『がんをどう考えるか：放射線治療医からの提言(新潮新書)』 | 三橋紀夫 | 新潮社 2009 | 9784106102 950 |
| 35. | 『新 核医学テキスト』 | 絹谷 清剛、若林 大志 編著 | 中外医学社 2023 | 9784498065 307 |
| 36. | 『わかりやすい核医学 第2版』 | 玉木長良 編 | 文光堂 2022 | 9784830637 643 |
| 37. | 『放射線治療計画ガイドライン2020年版』 | 日本放射線腫瘍学会 | 金原出版 2020 | 9784307071 161 |
| 38. | 『標準免疫学』 | 谷口克 | 医学書院 2013 | 9784260009 324 |
| 39. | 『標準小児科学』 | 内山聖 | 医学書院 2013 | 9784260017 480 |
| 40. | 『小児科学』 | 大関武彦 | 医学書院 2008 | 9784260005 128 |
| 41. | 『原発性免疫不全症候群診療の手引き』 | 日本免疫不全症候群研究会 | 診断と治療社 2017 | 9784787822 956 |

| | | | | |
|-----|--------------------------------------|-----------------|------------------|-------------------|
| 42. | 『Textbook of pediatric rheumatology』 | Ross E Petty | Saunders 2016 | 9780323241 458 |
| 43. | 『小児がん診療ガイドライン』 | 日本小児血液・がん 学会 | 金原出版 2016 | 9784307170 703 |
| 44. | 『小児白血病・リンパ腫診療ガイドライン』 | 日本小児血液・がん 学会 | 金原出版 2016 | 9784307170 697 |
| 45. | 『添付ファイル参照』 | | | |

| | |
|---|--|
| 関連リンク | |
| 添付ファイル ※3つまで、1 ファイルにつき5MBまで、圧縮 ファイルOK | |

| 回数 | 年月日 | 時限 | 授業形式 | 教室 | 開始終了時間 |
|----|------------------------|------------------------|------|---------|-------------|
| 1. | 2026/04/06(月) | 2時限 | 講義 | 講義室 203 | 10:25-11:35 |
| | タイトル | 造血組織、血球形態、血球の産生 | | | |
| | 担当者(所属) | 篠原 明仁 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | D-1-1)①②③,F-2-3)⑨ | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 1 |
| 2. | 2026/04/06(月) | 3時限 | 講義 | 講義室 203 | 12:30-13:40 |
| | タイトル | 造血系・リンパ系組織の微細構造(1) | | | |
| | 担当者(所属) | 石津 綾子 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | C-2-2)-(1)②③,D-1-1)①-④ | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 2 |
| 3. | 2026/04/06(月) | 4時限 | 講義 | 講義室 203 | 13:55-15:05 |
| | タイトル | 造血系・リンパ系組織の微細構造(2) | | | |
| | 担当者(所属) | 石津 綾子 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | C-2-2)-(1)②③,D-1-1)①-④ | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 3 |
| 4. | 2026/04/06(月) | 5時限 | 講義 | 講義室 203 | 15:15-16:25 |
| | タイトル | 血液の機能 | | | |
| | 担当者(所属) | 宮田 麻理子 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | D-1-1)①-⑧,D-1-2)③ | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 4 |
| 5. | 2026/04/07(火) | 3時限 | 実習 | 大実習室 3 | 12:30-13:40 |
| | タイトル | Aグループ：造血組織・血球 | | | |

| | | | | | |
|----|------------------------|--|----|--------|-------------|
| | 担当者（所属） | 吉永 健太郎 石山 みどり 田中 紀奈 篠原 明仁 糸井 寛 森元 梓 瀬尾 幸子 岡村 隆光 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | F-3-6)-(2)②,G-3-2)② | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 28 |
| 6. | 2026/04/07(火) | 3 時限 | 実習 | 大実習室 1 | 12:30-13:40 |
| | タイトル | Bグループ：血液型検査、直接抗グロブリン試験 | | | |
| | 担当者（所属） | 岡本 好雄 中林 恭子 小林 博人 菅野 仁 山本 圭子 長内 聡子 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | F-2-13)② | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 31 |
| 7. | 2026/04/07(火) | 4 時限 | 実習 | 大実習室 3 | 13:55-15:05 |
| | タイトル | Aグループ：造血組織・血球 | | | |
| | 担当者（所属） | 吉永 健太郎 石山 みどり 田中 紀奈 篠原 明仁 糸井 寛 森元 梓 瀬尾 幸子 岡村 隆光 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | F-3-6)-(2)②,G-3-2)② | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 29 |
| 8. | 2026/04/07(火) | 4 時限 | 実習 | 大実習室 1 | 13:55-15:05 |
| | タイトル | Bグループ：血液型検査、直接抗グロブリン試験 | | | |
| | 担当者（所属） | 岡本 好雄 中林 恭子 小林 博人 菅野 仁 山本 圭子 長内 聡子 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | F-2-13)② | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 32 |
| 9. | 2026/04/07(火) | 5 時限 | 実習 | 大実習室 3 | 15:15-16:25 |
| | タイトル | Aグループ：造血組織・血球 | | | |

| | | | | | |
|---------|------------------------|--|----|---------|-------------|
| | 担当者（所属） | 吉永 健太郎 石山 みどり 田中 紀奈 篠原 明仁 糸井 寛 森元 梓 瀬尾 幸子 岡村 隆光 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | F-3-6)-(2)②,G-3-2)② | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 30 |
| 1 0. | 2026/04/07(火) | 5 時限 | 実習 | 大実習室 1 | 15:15-16:25 |
| | タイトル | Bグループ：血液型検査、直接抗グロブリン試験 | | | |
| | 担当者（所属） | 岡本 好雄 中林 恭子 小林 博人 菅野 仁 山本 圭子 長内 聡子 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | F-2-13)② | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 33 |
| 1 1. | 2026/04/07(火) | 6 時限 | 講義 | 講義室 203 | 16:35-17:45 |
| | タイトル | 血液の病理（1） | | | |
| | 担当者（所属） | 長嶋 洋治 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | D-1-4)-(1)①-⑤,D-1-4)-(3) | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 5 |
| 1 2. | 2026/04/08(水) | 1 時限 | 実習 | 大実習室 3 | 09:00-10:10 |
| | タイトル | 造血・リンパ組織の構造 | | | |
| | 担当者（所属） | 浦瀬 香子 菊田 幸子 石井 泰雄 石津 綾子 望月 牧子 横溝 智雅 矢作 綾野 駒井 恭子 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | C-2-2)-(1)②③,D-1-1)①-④ | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 34 |
| 1 3. | 2026/04/08(水) | 2 時限 | 実習 | 大実習室 3 | 10:25-11:35 |
| | タイトル | 造血・リンパ組織の構造 | | | |
| | 担当者（所属） | 浦瀬 香子 菊田 幸子 石井 泰雄 石津 綾子 望月 牧子 | | | |

| | | | | | |
|---------|------------------------|---------------------------------|----|---------|-------------|
| | | 横溝 智雅 矢作 綾野 駒井 恭子 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | C-2-2)-(1)②③,D-1-1)①-④ | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 35 |
| 1 4. | 2026/04/08(水) | 3 時限 | 講義 | 講義室 203 | 12:30-13:40 |
| | タイトル | 血液の病理 (2) | | | |
| | 担当者 (所属) | 長嶋 洋治 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | D-1-4)-(4)①-⑨ | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 6 |
| 1 5. | 2026/04/08(水) | 4 時限 | 講義 | 講義室 203 | 13:55-15:05 |
| | タイトル | 貧血総論、鉄欠乏性貧血、二次性貧血 | | | |
| | 担当者 (所属) | 瀬尾 幸子 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | D-1-4)-(1)①②④⑤,F-1-26)①②③ | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 7 |
| 1 6. | 2026/04/09(木) | 3 時限 | 講義 | 講義室 203 | 12:30-13:40 |
| | タイトル | 溶血性貧血 | | | |
| | 担当者 (所属) | 長内 聡子 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | F-2-13)①-④ | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 8 |
| 1 7. | 2026/04/09(木) | 4 時限 | 講義 | 講義室 203 | 13:55-15:05 |
| | タイトル | 巨赤芽球性貧血、骨髓異形成症候群 | | | |
| | 担当者 (所属) | 瀬尾 幸子 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | D-1-4)-(1)⑤,D-1-4)-(4)④,E-3-5)① | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 9 |
| 1 8. | 2026/04/10(金) | 1 時限 | 講義 | 講義室 203 | 09:00-10:10 |
| | タイトル | 再生不良性貧血、赤芽球癆、PNH | | | |
| | 担当者 (所属) | 吉永 健太郎 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | D-1-4)-(1)③ | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 10 |

授業予定表

| | | | | | |
|---------|------------------------|--|----|---------|-------------|
| 1 9. | 2026/04/10(金) | 2 時限 | 講義 | 講義室 203 | 10:25-11:35 |
| | タイトル | 白血病各論 (1) 急性白血病 | | | |
| | 担当者 (所属) | 瀬尾 幸子 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | D-1-4)-(4)①②,E-3-5)① | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 11 |
| 2 0. | 2026/04/10(金) | 6 時限 | 講義 | 講義室 203 | 16:35-17:45 |
| | タイトル | 白血病各論 (2) 慢性白血病 | | | |
| | 担当者 (所属) | 吉永 健太郎 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | D-1-4)-(4)③,E-3-5)① | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 12 |
| 2 1. | 2026/04/13(月) | 1 時限 | 講義 | 講義室 203 | 09:00-10:10 |
| | タイトル | 骨髄増殖性疾患、多血症、骨髄線維症、本態性血小板血症 | | | |
| | 担当者 (所属) | 吉永 健太郎 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | D-1-4)-(4)①⑦,E-3-5)① | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 13 |
| 2 2. | 2026/04/13(月) | 2 時限 | 講義 | 講義室 203 | 10:25-11:35 |
| | タイトル | 悪性リンパ腫① DLBCL、バーキットリンパ腫、伝染性単核球症 | | | |
| | 担当者 (所属) | 吉永 健太郎 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | D-1-4)-(4)⑧,F-1-27)①②③ | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 15 |
| 2 3. | 2026/04/13(月) | 5 時限 | 講義 | 講義室 203 | 15:15-16:25 |
| | タイトル | 悪性リンパ腫② ホジキンリンパ腫、濾胞性リンパ腫 | | | |
| | 担当者 (所属) | 田中 紀奈 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | D-1-4)-(4)⑧,F-1-27)①②③ | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 16 |
| 2 4. | 2026/04/14(火) | 1 時限 | 実習 | 講義室 203 | 09:00-10:10 |
| | タイトル | リンパ節の病理 | | | |
| | 担当者 (所属) | 種田 穠子 吉澤 佐恵子 長嶋 洋治 井藤 奈央子 関 敦子 | | | |

| | | | | | |
|---------|------------------------|---|----|---------|-------------|
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | D-1-4)-(4)⑧ | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 36 |
| 2 5. | 2026/04/14(火) | 2時限 | 実習 | 講義室 203 | 10:25-11:35 |
| | タイトル | リンパ節の病理 | | | |
| | 担当者(所属) | 種田 穠子 吉澤 佐恵子 長嶋 洋治 井藤 奈央子 関 敦子 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | D-1-4)-(4)⑧ | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 37 |
| 2 6. | 2026/04/14(火) | 6時限 | 講義 | 講義室 203 | 16:35-17:45 |
| | タイトル | 悪性リンパ腫③成人T細胞白血病、T細胞リンパ腫 | | | |
| | 担当者(所属) | 吉永 健太郎 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | D-1-4)-(4)⑤,E-3-5)①,F-2-3)⑨ | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 17 |
| 2 7. | 2026/04/15(水) | 1時限 | 講義 | 講義室 203 | 09:00-10:10 |
| | タイトル | 多発性骨髄腫、マクログロブリン症候群 | | | |
| | 担当者(所属) | 田中 紀奈 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | D-1-4)-(4)⑨,E-3-5)① | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 14 |
| 2 8. | 2026/04/15(水) | 2時限 | 講義 | 講義室 203 | 10:25-11:35 |
| | タイトル | 止血機構、凝固の異常 | | | |
| | 担当者(所属) | 篠原 明仁 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | D-1-4)-(2)①③④,F-2-3)⑧,F-2-13)① | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 18 |
| 2 9. | 2026/04/15(水) | 3時限 | 実習 | 大実習室 3 | 12:30-13:40 |
| | タイトル | Bグループ：造血組織・血球 | | | |
| | 担当者(所属) | 吉永 健太郎 石山 みどり 田中 紀奈 篠原 明仁 糸井 覚 森元 梓 瀬尾 幸子 | | | |

| | | | | | |
|---------|------------------------|---|----|--------|-------------|
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | F-3-6)-(2)②,G-3-2)② | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 38 |
| 3 0. | 2026/04/15(水) | 3時限 | 実習 | 大実習室 1 | 12:30-13:40 |
| | タイトル | Aグループ：血液型検査、直接抗グロブリン試験 | | | |
| | 担当者（所属） | 岡本 好雄 中林 恭子 小林 博人 菅野 仁 山本 圭子 長内 聡子 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | F-2-13)② | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 41 |
| 3 1. | 2026/04/15(水) | 4時限 | 実習 | 大実習室 3 | 13:55-15:05 |
| | タイトル | Bグループ：造血組織・血球 | | | |
| | 担当者（所属） | 吉永 健太郎 石山 みどり 田中 紀奈 篠原 明仁 糸井 寛 森元 梓 瀬尾 幸子 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | F-3-6)-(2)②,G-3-2)② | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 39 |
| 3 2. | 2026/04/15(水) | 4時限 | 実習 | 大実習室 1 | 13:55-15:05 |
| | タイトル | Aグループ：血液型検査、直接抗グロブリン試験 | | | |
| | 担当者（所属） | 岡本 好雄 中林 恭子 小林 博人 菅野 仁 山本 圭子 長内 聡子 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | F-2-13)② | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 42 |
| 3 3. | 2026/04/15(水) | 5時限 | 実習 | 大実習室 3 | 15:15-16:25 |
| | タイトル | Bグループ：造血組織・血球 | | | |
| | 担当者（所属） | 吉永 健太郎 石山 みどり 田中 紀奈 篠原 明仁 糸井 寛 森元 梓 瀬尾 幸子 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | F-3-6)-(2)②,G-3-2)② | | | |
| | | | | | |

| | | | | | |
|---------|------------------------|---|----|---------|-------------|
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 40 |
| 3 4. | 2026/04/15(水) | 5 時限 | 実習 | 大実習室 1 | 15:15-16:25 |
| | タイトル | Aグループ：血液型検査、直接抗グロブリン試験 | | | |
| | 担当者（所属） | 岡本 好雄 中林 恭子 小林 博人 菅野 仁 山本 圭子 長内 聡子 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | F-2-13)② | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 43 |
| 3 5. | 2026/04/17(金) | 1 時限 | 講義 | 講義室 203 | 09:00-10:10 |
| | タイトル | 血小板の異常 | | | |
| | 担当者（所属） | 石山 みどり | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | D-1-3)⑤,D-1-4)-(2)①② | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 19 |
| 3 6. | 2026/04/17(金) | 2 時限 | 講義 | 講義室 203 | 10:25-11:35 |
| | タイトル | TMA、HUS、TTP | | | |
| | 担当者（所属） | 石山 みどり | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | D-1-4)-(1)④,D-1-4)-(2)⑤⑦ | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 20 |
| 3 7. | 2026/04/20(月) | 3 時限 | 講義 | 講義室 203 | 12:30-13:40 |
| | タイトル | 造血幹細胞移植 | | | |
| | 担当者（所属） | 篠原 明仁 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | D-1-4)-(4)①,F-2-13)⑤-⑧ | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 21 |
| 3 8. | 2026/04/20(月) | 4 時限 | 講義 | 講義室 203 | 13:55-15:05 |
| | タイトル | 血液疾患の放射線診断 | | | |
| | 担当者（所属） | 西井 龍一 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | E-3-2)②,F-2-5)② | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 22 |
| 3 9. | 2026/04/20(月) | 5 時限 | 講義 | 講義室 203 | 15:15-16:25 |
| | タイトル | 血液疾患の放射線療法 | | | |

| | | | | | |
|---------|------------------------|---|----|---------|-------------|
| | 担当者（所属） | 橋本 弥一郎 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | F-2-5) ③④,E-6-2)③⑤,E-6-1)③④⑥ | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 23 |
| 4 0. | 2026/04/22(水) | 2 時限 | 講義 | 講義室 203 | 10:25-11:35 |
| | タイトル | 抗ガン剤の種類と特徴 | | | |
| | 担当者（所属） | 瀧田 守親 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | C-2-3)-(1)③,C-3-2)-(4)⑤,C-4-1)③,C-4-6)②,D-1-4)-(4)③⑨,E-3-3)④⑤,F-2-8)⑥ | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 24 |
| 4 1. | 2026/04/22(水) | 4 時限 | 講義 | 講義室 203 | 13:55-15:05 |
| | タイトル | 輸血感染症 | | | |
| | 担当者（所属） | 山本 圭子 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | F-2-13)①-④ | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 25 |
| 4 2. | 2026/04/27(月) | 1 時限 | 講義 | 講義室 203 | 09:00-10:10 |
| | タイトル | 免疫学的機序による輸血副作用 | | | |
| | 担当者（所属） | 小林 博人 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | F-2-13)⑤-⑧ | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 26 |
| 4 3. | 2026/04/27(月) | 2 時限 | 講義 | 講義室 203 | 10:25-11:35 |
| | タイトル | 輸血用血液の適応病態 | | | |
| | 担当者（所属） | 小林 博人 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | F-2-13)①-④ | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 27 |
| 4 4. | 2026/05/07(木) | 1 時限 | 試験 | - | 10:00-12:00 |
| | タイトル | 血液・リンパ系 試験10：00-12：00(講義室202,203) | | | |
| | 担当者（所属） | 瀬尾 幸子 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 44 |
| 4 5. | 2026/05/07(木) | 2 時限 | 試験 | - | 10:00-12:00 |
| | タイトル | 血液・リンパ系 試験10：00-12：00(講義室202,203) | | | |

| | | | | | |
|---------|------------------------|---------------------------------|-------|---|-------------|
| | 担当者（所属） | 瀬尾 幸子 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 45 |
| 4 6. | 2026/05/30(土) | 1 時限 | 追・再試験 | - | 10:00-12:00 |
| | タイトル | 血液・リンパ系 追再試験10:00-12:00(講義室203) | | | |
| | 担当者（所属） | 瀬尾 幸子 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 46 |
| 4 7. | 2026/05/30(土) | 2 時限 | 追・再試験 | - | 10:00-12:00 |
| | タイトル | 血液・リンパ系 追再試験10:00-12:00(講義室203) | | | |
| | 担当者（所属） | 瀬尾 幸子 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 47 |

| | |
|---------------------------|---|
| 科目名 | 感染症系 |
| 科目責任者(所属) | 柳澤 直子 |
| 到達目標 | セグメント7では種々の感染症の病態について理解するとともに感染症の症候・診断・治療・予防について学修する。感染症の発症には病原体の病原性と宿主の感染防御能が関係しており、まず、病原体についての知識と生体の感染防御能について学修することが重要である。病原体の感染経路についても病原体により種々の特徴があり、疫学を含めた学修が必要である。 |
| アウトカム・ロードマップに係わる到達目標/項目番号 | <p>基礎・病態・臨床を結びつけて考えられる。 I-2-B-(3-4)-②</p> <p>全身的疾患、外的要因による異常を説明できる I-1-A-(3-4)-②</p> <p>疾患、症候の病態を説明できる。 I-1-A-(3-4)-④</p> <p>病態を明らかにする方法を挙げることができる。 I-3-B-(3-4)-①</p> <p>診療上のエビデンスを選ぶことができる I-5-B-(3-4)-①</p> <p>自分の選択・判断の根拠を説明できる II-4-A-(3-4)-①</p> |
| 学修(教育)方法 | 講義・実習 |
| 評価方法 (1)総括的評価の対象 | 定期試験(筆記試験)の点数に講義出席、実習評価点を加えて、科目の評価点とする。すべての実習への参加とレポートの提出が定期試験の受験資格として必要である。 |
| 評価方法 (2)評価項目 | <p>ワクチンによるウイルス感染症予防の原理を説明できる。 C-3-1)-(2)②</p> <p>ワクチンの種類と問題点を説明できる。 C-3-1)-(2)③</p> <p>主なデオキシリボ核酸(DNA)ウイルスが引き起こす疾患名を列挙できる。 C-3-1)-(3)①</p> <p>主なリボ核酸(RNA)ウイルスが引き起こす疾患名を列挙できる。 C-3-1)-(3)②</p> <p>細菌の感染経路を分類し、説明できる。 C-3-1)-(4)②</p> <p>細菌が疾病を引き起こす機序を説明できる。 C-3-1)-(4)③</p> <p>Gram陽性球菌の細菌学的特徴とそれが引き起こす疾患を列挙できる。 C-3-1)-(4)④</p> <p>Gram陰性球菌の細菌学的特徴とそれが引き起こす疾患を列挙できる。 C-3-1)-(4)⑤</p> <p>Gram陽性桿菌の細菌学的特徴とそれが引き起こす疾患を列挙できる。 C-3-1)-(4)⑥</p> <p>Gram陰性桿菌の細菌学的特徴とそれが引き起こす疾患を列挙できる。 C-3-1)-(4)⑦</p> <p>Gram陰性スピリillum属病原菌の細菌学的特徴とそれが引き起こす疾患を列挙できる。 C-3-1)-(4)⑧</p> <p>抗酸菌の細菌学的特徴とそれが引き起こす疾患を列挙できる。 C-3-1)-(4)⑨</p> <p>真菌の微生物学的特徴とそれが引き起こす疾患を列挙できる。 C-3-1)-(4)⑩</p> <p>スピロヘータ、マイコプラズマ、リケッチア、クラミジアの微生物学的特徴とそれが引き起こす疾患を列挙できる。 C-3-1)-(4)⑪</p> <p>原虫類・蠕虫類の分類及び形態学的特徴を説明できる。 C-3-1)-(5)①</p> <p>寄生虫の生活史、感染経路と感染疫学的意義を説明できる。 C-3-1)-(5)②</p> <p>寄生虫感染宿主の生体防御の特徴を説明できる。 C-3-1)-(5)③</p> <p>各臓器・器官の主な寄生虫症を説明できる。 C-3-1)-(5)④</p> <p>寄生虫症の診断、治療と予防の概要を説明できる。 C-3-1)-(5)⑤</p> <p>生体防御機構における免疫系の特徴(特異性、多様性、寛容、記憶)を説明できる。 C-3-2)-(1)①</p> <p>免疫反応に関わる組織と細胞を説明できる。 C-3-2)-(1)②</p> <p>ウイルス、細菌、真菌と寄生虫に対する免疫応答の特徴を説明できる。 C-3-2)-(4)①</p> <p>原発性免疫不全症と後天性免疫不全症候群(AIDS)を概説できる。 C-3-2)-(4)②</p> <p>発熱をきたす疾患を提示できる。 D-1-3)①</p> <p>全身倦怠感をきたす疾患を提示できる。 D-1-3)②</p> <p>敗血症の症候と診断と治療を説明できる。 E-2-1)①</p> <p>市中感染症と院内(病院)感染症を説明できる。 E-2-1)②</p> <p>医療器具関連感染症、術後感染症、手術部位感染症を説明できる。 E-2-1)③</p> <p>薬剤耐性を概説できる。 E-2-1)④</p> <p>コロナイゼーションと感染症発症の違いを説明できる。 E-2-1)⑤</p> <p>コンプロマイズドホストと日和見感染症を説明できる。 E-2-1)⑥</p> <p>新興・再興感染症、人獣共通感染症、バイオテロに関連する感染症を列挙できる。 E-2-1)⑦</p> <p>各病原微生物、各感染臓器の診断の手がかりとなる病歴と身体所見を説明できる。 E-2-2)①</p> <p>ウイルス感染症診断における抗原検査、核酸増幅検査、血清抗体検査を説明できる。 E-2-2)②</p> <p>細菌感染症診断における直接塗抹、Gram染色、培養検査、抗原検査、核酸増幅検査、毒素検出検査、血清抗体検査を説明できる。 E-2-2)③</p> <p>真菌感染症診断における直接塗抹、培養検査、抗原検査、核酸増幅検査を説明できる。 E-2-2)④</p> <p>病原微生物及び感染臓器ごとの適切な抗微生物薬を説明できる。 E-2-2)⑤</p> <p>抗菌薬適正使用(antimicrobial stewardship(AMS))を説明できる。 E-2-2)⑥</p> <p>予防接種について、適応と意義、種類とそれぞれの投与方法を説明できる。 E-2-2)⑦</p> <p>感染症法を概説できる。 E-2-2)⑧</p> <p>ショック、発熱、はいれん、意識障害、失神、脱水、横断、発疹、リンパ節腫長、浮腫、胸水、胸痛、胸部圧迫感、呼吸困難、息切れ、咳、単、血痰、喀血、頭痛、頭重感、腹痛、悪心、嘔吐、便秘、下痢、血便、吐血、下血、血尿、蛋白尿、関節痛、関節主張、腰背部痛をきたす感染症の鑑別診断ができる。 E-2-3)①～③</p> <p>インフルエンザの症候と診断と治療を説明できる。 E-2-4)-(1)①</p> <p>ヒト免疫不全ウイルス(HIV)感染症の症候と診断と治療及び感染対策を説明できる。 E-2-4)-(1)⑥</p> <p>サイトメガロウイルス(CMV)感染症を説明できる。 E-2-4)-(1)⑧</p> <p>黄色ブドウ球菌感染症の症候と診断と治療を説明できる。 E-2-4)-(2)①</p> <p>A群β溶血性レンサ球菌感染症の症候と診断と治療を説明できる。 E-2-4)-(2)②</p> <p>肺炎球菌感染症の症候と診断と治療と予防法を説明できる。 E-2-4)-(2)③</p> |

| | | |
|--|--|--|
| | <p>インフルエンザ(桿)菌感染症とMoraxella catarrhalis感染症を説明できる。 緑膿菌感染症の症候と診断と治療を説明できる。 大腸菌感染症の症候と診断と治療を説明できる。 Clostridium difficile感染症の症候と診断と治療を説明できる。 結核症、非結核性抗酸菌症の症候と診断と治療及び予防法を説明できる。 マイコプラズマ感染症を説明できる。 クラミジア感染症を説明できる。 レジオネラ感染症を説明できる。 リケッチア感染症を説明できる。 カンピロバクター、サルモネラ、リステリア感染症を説明できる。 カンジダ症、クリプトコックス症、アスペルギルス症の症候と診断と治療を説明できる。 ニューモシスチス肺炎の症候と診断と治療を説明できる。 主な寄生虫感染症（回虫症、アニサキス症、吸虫症）を説明できる。 主な原虫感染症（マラリア、トキソプラズマ症、アメーバ赤痢）を説明できる。 性感染症の原因微生物を説明できる。 梅毒の症候と診断と治療を説明できる。 淋菌感染症の診断と治療を説明できる。 性器クラミジア、性器ヘルペス、尖圭コンジローマの診断と治療を説明できる。 細菌学検査（細菌の塗抹、培養、同定、薬剤感受性試験）の目的と適応を説明し、結果を解釈できる。</p> | <p>E-2-4)-(2)④ E-2-4)-(2)⑤ E-2-4)-(2)⑥ E-2-4)-(2)⑦ E-2-4)-(2)⑧ E-2-4)-(2)⑨ E-2-4)-(2)⑩ E-2-4)-(2)⑪ E-2-4)-(2)⑫ E-2-4)-(2)⑬ E-2-4)-(3)① E-2-4)-(3)② E-2-4)-(3)③ E-2-4)-(3)④ E-2-4)-(4)① E-2-4)-(4)② E-2-4)-(4)③ E-2-4)-(4)④ F-2-3)⑬</p> |
|--|--|--|

| | |
|-------------------|--|
| 評価方法 (2)評価項目続き | |
|-------------------|--|

| | |
|-----------------|---|
| 評価方法 (3)評価基準 | 筆記試験(80)+出席点(10)+実習点(10)を合算し、100点満点にて点数化を行い、S.極めて良く理解している(90点以上)、A.良く理解している(80点以上90点未満)、B.理解している(70点以上80点未満)、C.ある程度は理解しているが、十分ではない(60点以上70点未満)、D.あまり理解できていない(60点未満)のいずれかとして判定し、C以上を合格とする。 |
|-----------------|---|

| | |
|---------|---|
| 事前・事後学修 | 講義前にアップロードされている資料で事前学修し、講義後の講義復習テストもしくは講義者からの課題で事後学修する。 |
|---------|---|

| | |
|------|---|
| 伝達事項 | 準備学修として、セグメント2 生体と微生物の内容を再確認する。講義の理解度を確認するため、講義終了時に随時、小テストを実施する。試験終了時には模範解答と解説を配布し、学修の再確認に役立てる。 |
|------|---|

| | |
|------|---|
| 実務経験 | <input type="checkbox"/> 大学院の感染症科の医師としての実務経験を以て、医療現場で生かせるような教育を行う |
|------|---|

| 教科書・参考図書 | No | 書籍名 | 著者名 | 上段：出版社 下段：出版年 | ISBN |
|----------|--|---|--|-------------------|-------------------|
| | 1. | 『Mandell, Douglas and Bennett's principles and practice of infectious diseases』 | Mandell, GL | Elsevier 2015 | 978145574 8013 |
| 2. | 『伝染病予防必携』 | 重松逸造 | 日本公衆衛生協会 1995 | 481920141 7 | |
| 3. | 『Reese & Betts' a practical approach to infectious diseases』 | Betts, RF | Lippincott Williams & Wilkins 2003 | 078173281 6 | |
| 4. | 『Red Book : Report of the Committee on Infectious Diseases』 | David W., M.D. Kimberlin | American Academy of Pediatrics 2015 | 978158110 9269 | |

| | |
|-------|--|
| 関連リンク | |
|-------|--|

| | |
|-------------------------------------|--|
| 添付ファイル ※3つまで、1ファイルにつき5MBまで、圧縮ファイルOK | |
|-------------------------------------|--|

| 回数 | 年月日 | 時限 | 授業形式 | 教室 | 開始終了時間 |
|----|------------------------|-----------------------------|------|---------|-------------|
| 1. | 2026/04/13(月) | 3時限 | 講義 | 講義室 203 | 12:30-13:40 |
| | タイトル | 感染症の原因微生物の特徴 | | | |
| | 担当者(所属) | 柳澤 直子 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | C-3-1)-(1)①-⑥,C-3-1)-(4)①②③ | | | |
| | 講義資料番号/連番(LMS) | 4 | | | |
| 2. | 2026/04/14(火) | 5時限 | 講義 | 講義室 203 | 15:15-16:25 |
| | タイトル | 免疫不全と感染症 | | | |
| | 担当者(所属) | 吉田 敦 | | | |

| | | | | | |
|----|------------------------|---------------------------------------|----|---------|-------------|
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | E-2-1)⑥,E-2-2)①③⑤⑥⑦⑧ | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 2 |
| 3. | 2026/04/16(木) | 3時限 | 講義 | 講義室 203 | 12:30-13:40 |
| | タイトル | 新興・再興感染症・輸入感染症 | | | |
| | 担当者(所属) | 菊池 賢 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | E-2-1)①-⑥,E-2-2)①②③⑤⑥⑦⑧,E-2-4)-(2)①②③ | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 3 |
| 4. | 2026/04/16(木) | 4時限 | 講義 | 講義室 203 | 13:55-15:05 |
| | タイトル | 抗酸菌感染症 | | | |
| | 担当者(所属) | 吉田 敦 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | C-3-1)-(4)⑨⑩,E-2-2)④,E-2-4)-(2)⑧ | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 1 |
| 5. | 2026/04/17(金) | 3時限 | 講義 | 講義室 203 | 12:30-13:40 |
| | タイトル | グラム陰性菌感染症① | | | |
| | 担当者(所属) | 菊池 賢 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | E-2-1)①-⑥,E-2-2)①③⑤⑥⑦⑧,E-2-4)-(2)⑤⑥ | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 5 |
| 6. | 2026/04/17(金) | 5時限 | 講義 | 講義室 203 | 15:15-16:25 |
| | タイトル | 原虫類① | | | |
| | 担当者(所属) | 有末 伸子 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | C-3-1)-(5)①②④⑤,F-2-3)⑧,E-2-4)-(3)③ | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 6 |
| 7. | 2026/04/20(月) | 6時限 | 講義 | 講義室 203 | 16:35-17:45 |
| | タイトル | 原虫類② | | | |
| | 担当者(所属) | 有末 伸子 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | C-3-1)-(5)①②④⑤,F-2-3)⑧,E-2-4)-(3)③④ | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 7 |
| 8. | 2026/04/22(水) | 1時限 | 講義 | 講義室 203 | 09:00-10:10 |
| | タイトル | グラム陰性菌感染症② | | | |
| | 担当者(所属) | 菊池 賢 | | | |

| | | | | | |
|-----|------------------------|---------------------------------------|----|---------|-------------|
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | E-2-1)①-⑥,E-2-2)①③⑤⑥⑦⑧,E-2-4)-(2)④③ | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 8 |
| 9. | 2026/04/23(木) | 1 時限 | 講義 | 講義室 203 | 09:00-10:10 |
| | タイトル | グラム陽性菌感染症① | | | |
| | 担当者 (所属) | 菊池 賢 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | C-3-1)-(2)③,E-2-2)②,E-2-4)-(1)④⑥⑦⑧⑨ | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 9 |
| 10. | 2026/05/11(月) | 1 時限 | 講義 | 講義室 203 | 09:00-10:10 |
| | タイトル | 線虫類① | | | |
| | 担当者 (所属) | 有末 伸子 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | C-3-1)-(5)①②④⑤,E-2-4)-(3)③④,F-2-3)⑧ | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 10 |
| 11. | 2026/05/11(月) | 4 時限 | 講義 | 講義室 203 | 13:55-15:05 |
| | タイトル | 線虫類② | | | |
| | 担当者 (所属) | 有末 伸子 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | C-3-1)-(5)①②④⑤,E-2-4)-(3)④,F-2-3)⑧ | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 11 |
| 12. | 2026/05/12(火) | 2 時限 | 講義 | 講義室 203 | 10:25-11:35 |
| | タイトル | グラム陽性菌感染症② | | | |
| | 担当者 (所属) | 菊池 賢 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | E-2-1)⑦,E-2-2)①②③⑤⑥⑦⑧ | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 12 |
| 13. | 2026/05/12(火) | 5 時限 | 講義 | 講義室 203 | 15:15-16:25 |
| | タイトル | 抗菌薬療法と耐性菌 | | | |
| | 担当者 (所属) | 菊池 賢 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | E-2-1)①-⑥,E-2-2)①③⑤⑥⑦⑧ | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 13 |
| 14. | 2026/05/14(木) | 3 時限 | 講義 | 講義室 203 | 12:30-13:40 |
| | タイトル | 嫌気性菌感染症とマイコプラズマ・クラミジア・リケッチア・スピロヘータ感染症 | | | |
| | 担当者 (所属) | 菊池 賢 | | | |

授業予定表

| | | | | | |
|---------|------------------------|--|----|---------|-------------|
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | E-2-1)①-⑥,E-2-2)①③⑤⑥⑦⑧,E-2-4)-(2)⑦⑨⑩⑪⑫,E-2-4)-(4)①-④ | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 14 |
| 1 5. | 2026/05/15(金) | 3 時限 | 講義 | 講義室 203 | 12:30-13:40 |
| | タイトル | 感染症総論：症候・診断・治療・予防 | | | |
| | 担当者（所属） | 菊池 賢 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | D-1-3)①②,E-2-1)①-⑥,E-2-2)①②③④⑦,E-2-3)①-③ | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 15 |
| 1 6. | 2026/05/15(金) | 6 時限 | 講義 | 講義室 203 | 16:35-17:45 |
| | タイトル | 吸虫類 | | | |
| | 担当者（所属） | 岩下 華子 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | C-3-1)-(5)①②④⑤,E-2-4)-(3)③④,F-2-3)⑧ | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 16 |
| 1 7. | 2026/05/18(月) | 3 時限 | 講義 | 講義室 203 | 12:30-13:40 |
| | タイトル | 条虫類 | | | |
| | 担当者（所属） | 岩下 華子 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | C-3-1)-(5)①②④⑤,E-2-4)-(3)③④,F-2-3)⑧ | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 17 |
| 1 8. | 2026/05/19(火) | 3 時限 | 講義 | 講義室 203 | 12:30-13:40 |
| | タイトル | 真菌感染症 | | | |
| | 担当者（所属） | 菊池 賢 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | E-2-1)①-⑦,E-2-2)①②③⑤⑥⑦⑧,E-2-4)-(2)③ | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 18 |
| 1 9. | 2026/05/20(水) | 4 時限 | 講義 | 講義室 203 | 13:55-15:05 |
| | タイトル | ウイルス感染症 | | | |
| | 担当者（所属） | 吉田 敦 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | C-3-1)-(1)⑥⑦,C-3-1)-(3)①②③,E-2-4)-(1)① | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 19 |
| 2 0. | 2026/06/04(木) | 4 時限 | 実習 | 大実習室 1 | 13:55-15:05 |
| | タイトル | 蠕虫類虫体・感染組織標本の観察、寄生虫卵の同定・観察 | | | |

| | | | | | |
|---------|------------------------|------------------------------------|----|--------|-------------|
| | 担当者（所属） | 凧 幸世 岩下 華子 有末 伸子 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | B-1-1)①,C-3-1)-(5)①②④⑤,E-2-4)-(3)④ | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 20 |
| 2 1. | 2026/06/04(木) | 5 時限 | 実習 | 大実習室 1 | 15:15-16:25 |
| | タイトル | 蠕虫類虫体・感染組織標本の観察、寄生虫卵の同定・観察 | | | |
| | 担当者（所属） | 凧 幸世 岩下 華子 有末 伸子 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | B-1-1)①,C-3-1)-(5)①②④⑤,E-2-4)-(3)④ | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 21 |
| 2 2. | 2026/06/04(木) | 6 時限 | 実習 | 大実習室 1 | 16:35-17:45 |
| | タイトル | 蠕虫類虫体・感染組織標本の観察、寄生虫卵の同定・観察 | | | |
| | 担当者（所属） | 凧 幸世 岩下 華子 有末 伸子 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | B-1-1)①,C-3-1)-(5)①②④⑤,E-2-4)-(3)④ | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 22 |
| 2 3. | 2026/06/09(火) | 4 時限 | 実習 | 大実習室 1 | 13:55-15:05 |
| | タイトル | 臨床症例検討、寄生性原虫標本の作製・観察 | | | |
| | 担当者（所属） | 凧 幸世 岩下 華子 有末 伸子 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | C-3-1)-(5)①②④⑤,E-2-4)-(3)③,F-2-3)⑧ | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 23 |
| 2 4. | 2026/06/09(火) | 5 時限 | 実習 | 大実習室 1 | 15:15-16:25 |
| | タイトル | 臨床症例検討、寄生性原虫標本の作製・観察 | | | |
| | 担当者（所属） | 凧 幸世 岩下 華子 有末 伸子 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | C-3-1)-(5)①②④⑤,E-2-4)-(3)③,F-2-3)⑧ | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 24 |
| 2 5. | 2026/06/09(火) | 6 時限 | 実習 | 大実習室 1 | 16:35-17:45 |
| | タイトル | 臨床症例検討、寄生性原虫標本の作製・観察 | | | |
| | 担当者（所属） | 凧 幸世 岩下 華子 | | | |

| | | | | | |
|---------|------------------------|------------------------------------|-------|----|-------------|
| | | 有末 伸子 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | C-3-1)-(5)①②④⑤,E-2-4)-(3)③,F-2-3)⑧ | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | 25 | |
| 2 6. | 2026/07/01(水) | 1 時限 | 試験 | - | 10:00-12:00 |
| | タイトル | 感染症系 試験10:00-12:00(講義室202,203) | | | |
| | 担当者 (所属) | 柳澤 直子 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 26 |
| 2 7. | 2026/07/01(水) | 2 時限 | 試験 | - | 10:00-12:00 |
| | タイトル | 感染症系 試験10:00-12:00(講義室202,203) | | | |
| | 担当者 (所属) | 柳澤 直子 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 27 |
| 2 8. | 2026/07/27(月) | 1 時限 | 追・再試験 | - | 10:00-12:00 |
| | タイトル | 感染症系 追再試験10:00-12:00(講義室203) | | | |
| | 担当者 (所属) | 柳澤 直子 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 28 |
| 2 9. | 2026/07/27(月) | 2 時限 | 追・再試験 | - | 10:00-12:00 |
| | タイトル | 感染症系 追再試験10:00-12:00(講義室203) | | | |
| | 担当者 (所属) | 柳澤 直子 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 29 |

| | | | | | |
|---------------------------|--|--|-------------------------|------------------|-------------------|
| 科目名 | 免疫・アレルギー疾患・膠原病 | | | | |
| 科目責任者(所属) | 勝又 康弘 | | | | |
| 到達目標 | この科目では、総論として免疫系組織の成り立ちと各種免疫担当細胞の役割、免疫グロブリン、補体、サイトカイン・ケモカインなどの機能と免疫応答調整について学び、免疫寛容や過剰応答となる自己免疫疾患の発症機序などの理解を深める。各論として自己免疫疾患の代表である全身性エリテマトーデス、関節リウマチをはじめとするリウマチ膠原病疾患、花粉症、臨床に遭遇しうる食物アレルギー、薬剤アレルギーやアナフィラキシーなどをはじめとするアレルギー性疾患、さらには今日増加している移植医療における組織適合性抗原や移植免疫、原発性免疫不全症候群などの病態と治療を学ぶ。 | | | | |
| アウトカム・ロードマップに係わる到達目標/項目番号 | 全身的疾患、外的要因による異常を説明できる。 疾患、症候の病態を説明できる。 問題の優先度および重要度を判断できる。 基礎・病態・臨床を結びつけて考えられる。 病態を明らかにする方法を挙げることができる。 データ・結果の根拠を批判的に説明できる。 結果・情報をもとに新たな仮説を立てられる。 社会の支援制度を利用する方法を明らかにできる。 臨床や医学研究の動向に目を向け概説できる。 | I-1-A-(3-4)-② I-1-A-(3-4)-④ I-2-A-(3-4)-① I-2-B-(3-4)-② I-3-B-(3-4)-① I-5-A-(3-4)-① I-5-A-(3-4)-② II-1-C-(3-4)-① II-3-B-(3-4)-③ | | | |
| 学修(教育)方法 | 講義・TBL、アクティブラーニングを取り入れた講義を実施する。学生には国家試験問題等の事前課題に関する事前学習を指示する。授業中にそれらの課題に関する発表・解説・質疑を行う。事前課題は評価方法に示すように評価対象とする。 | | | | |
| 評価方法 (1)総括的評価の対象 | 定期試験を受けるには当該科目の授業に3分の2以上の出席が定期試験の受験資格として必要である(後でもWEBでの履修も出席にカウントされる)。 定期試験(筆記試験)の点数が60点以上(100点満点)を合格とする。 | | | | |
| 評価方法 (2)評価項目 | ①膠原病と自己免疫疾患を概説し、その種類を列挙できる。 ②関節炎をきたす疾患を列挙できる。 ③膠原病に特徴的な皮疹を説明し、関連する疾患を列挙できる。 ④関節リウマチの病態生理、症候、診断、治療とリハビリテーションを説明できる。 ⑤関節リウマチの関節外症状を説明できる。 ⑥高尿酸血症・痛風の病因と病態を説明できる。 ⑦成人Still病の症候、診断と治療を説明できる。 ⑧若年性特発性関節炎(juvenile idiopathic arthritis (JIA))の特徴を説明できる。 ⑨全身性エリテマトーデス(SLE)の病態生理、症候、診断と治療を説明できる。 ⑩全身性エリテマトーデス(SLE)の合併症を説明できる。 ⑪抗リン脂質抗体症候群の病態生理、症候、診断と治療を説明できる。 ⑫全身性強皮症の病態生理、分類、症候、診断及び臓器病変(特に肺・腎)を説明できる。 ⑬皮膚筋炎・多発性筋炎の症候、診断、治療及び合併症(間質性肺炎、悪性腫瘍)を説明できる。 ⑭混合性結合組織病を概説できる。 ⑮Sjögren症候群を概説できる。 ⑯全身性血管炎を分類/列挙し、その病態生理、症候、診断と治療を説明できる。 ⑰Behçet病の症候、診断と治療を説明できる。 ⑱Kawasaki病(急性熱性皮膚粘膜リンパ節症候群)の病態生理、症候、診断と治療を説明できる。 ⑲主要な全身性アレルギー性疾患の分類と特徴を概説できる。 ⑳アナフィラキシーの症候、診断と治療を説明できる。 ㉑食物アレルギーの種類、診断と治療を概説できる。 ㉒原発性免疫不全症の病態、診断と治療を概説できる。 ㉓臓器移植、造血幹細胞移植の種類と適応を説明できる。 ㉔移植と組織適合性の関係を説明できる。 ㉕移植後の拒絶反応、移植片対宿主病の病態生理と発症時の対応を説明できる。 ㉖免疫抑制薬の種類、適応と副作用を説明できる。 ㉗皮膚血流障害と血管炎の病因、症候と病態を説明できる。 | E-4-3)-(1) E-4-3)-(1) E-4-3)-(1) E-4-3)-(2) E-4-3)-(2) D-12-4)-(7) E-4-3)-(2) E-4-3)-(2) E-4-3)-(3) E-4-3)-(3) E-4-3)-(3) E-4-3)-(4) E-4-3)-(4) E-4-3)-(4) E-4-3)-(4) E-4-3)-(5) E-4-3)-(5) E-4-3)-(5) E-4-3)-(6) E-4-3)-(6) E-4-3)-(6) E-4-3)-(7) F-2-13) F-2-13) F-2-13) D-3-4) | | | |
| 評価方法 (2)評価項目続き | | | | | |
| 評価方法 (3)評価基準 | 上記の総括的評価の対象、および評価項目について点数化を行い、S.極めて良く理解している(90%以上)、A.良く理解している(80%以上90%未満)、B.平均的に理解している(70%以上80%未満)、C.最低限は理解している(60%以上70%未満)、D.理解が不十分である(60%未満)のいずれかとして判定し、C以上を合格とする。 | | | | |
| 事前・事後学修 | 講義前にアップロードされている資料で事前学修し、講義後の講義復習テストもしくは講義者からの課題で事後学修する。 | | | | |
| 伝達事項 | セグメント2【生体防御・免疫】を復習してから講義に臨むこと。事前課題を学修し、解答提出を求められている場合は、必ず提出すること。 | | | | |
| 実務経験 | ○ 大学病院の膠原病リウマチ内科の医師としての実務経験を以て、医療現場で生かせるような教育を行う | | | | |
| | No | 書籍名 | 著者名 | 上段：出版社 下段：出版年 | ISBN |
| | 1. | 『Evidence based medicineを活かす膠原病・リウマチ診療 第4版』 | 東京女子医科大学附属膠原病リウマチ痛風センター | メジカルビュー社 2020 | 978475831 8075 |

| | | | | | |
|-------------------------------------|-------|-------------------------------------|----------------------|-----------------------------|-------------------|
| 教科書・参考図書 | 2. | 『リウマチ病学テキスト改訂第3版』 | 編集 日本リウマチ財団、日本リウマチ学会 | 南江堂 2022 | 978452423 1584 |
| | 3. | 『膠原病診療ノート：症例の分析 文献の考察 実践への手引き<第5版>』 | 三森明夫 | 日本医事新報社 2024 | 978478495 3400 |
| | 4. | 『関節リウマチの画像診断』 | 編集 杉本英治、神島保 | メディカルサイエンスインターナショナル 2017 | 978489592 8946 |
| | 5. | 『免疫学コア講義改訂4版』 | 熊ノ郷淳、坂口薫雄、竹田潔、吉田裕樹 | 南江堂 2017 | 978452516 7547 |
| | 6. | 『医系免疫学 改訂16版』 | 矢田 純一 | 中外医学社 2021 | 978449810 6079 |
| | 関連リンク | | | | |
| 添付ファイル ※3つまで、1ファイルにつき5MBまで、圧縮ファイルOK | | | | | |

| 回数 | 年月日 | 時限 | 授業形式 | 教室 | 開始終了時間 |
|----|------------------------|--|------|---------|-------------|
| 1. | 2026/04/08(水) | 5時限 | 講義 | 講義室 203 | 15:15-16:25 |
| | タイトル | 科目の概要、免疫序論、病態、膠原病の症候と検査 | | | |
| | 担当者(所属) | 田中 栄一 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | C-2-3)-(3)①②③,C-3-15:J192)-(4)①③④,C-4-5)①②,E-4-2)①~⑩,E-4-3)-(1)①②③,E-5-2)②⑥,F-1-1)①②,F-1-36)①②,F-2-3)⑩,F-3-5)-(7)② | | | |
| | 講義資料番号/連番(LMS) | | | | 1 |
| 2. | 2026/04/08(水) | 6時限 | 講義 | 講義室 203 | 16:35-17:45 |
| | タイトル | 強皮症、MCTD、オーバーラップ症候群 | | | |
| | 担当者(所属) | 川口 鎮司 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | E-4-1)①,E-4-3)-(4)①③ | | | |
| | 講義資料番号/連番(LMS) | | | | 2 |
| 3. | 2026/04/09(木) | 1時限 | 講義 | 講義室 203 | 09:00-10:10 |
| | タイトル | 全身性エリテマトーデスと抗リン脂質抗体症候群 | | | |
| | 担当者(所属) | 勝又 康弘 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | D-8-4)-(6)②,E-4-3)-(1)①②③,E-4-3)-(3)①②③ | | | |
| | 講義資料番号/連番(LMS) | | | | 3 |
| 4. | 2026/04/09(木) | 2時限 | 講義 | 講義室 203 | 10:25-11:35 |
| | タイトル | 臓器移植と免疫 | | | |
| | 担当者(所属) | 平井 敏仁 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | D-8-4)-(1)⑥,F-2-13)⑤⑥⑦⑧ | | | |
| | 講義資料番号/連番(LMS) | | | | 4 |
| 5. | 2026/04/09(木) | 5時限 | 講義 | 講義室 203 | 15:15-16:25 |

| | | | | | |
|-----|------------------------|--|----|---------|-------------|
| | タイトル | 関節リウマチ | | | |
| | 担当者（所属） | 田中 榮一 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | F-1-35)①②,F-3-5)-(7)①② | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 5 |
| 6. | 2026/04/10(金) | 3 時限 | 講義 | 講義室 203 | 12:30-13:40 |
| | タイトル | 膠原病・類縁疾患の腎病変 | | | |
| | 担当者（所属） | 内田 啓子 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | E-4-1)①,E-4-2)⑤⑦⑩,E-4-3)-(2)②,E-4-3)-(3)②,E-4-3)-(4)①④,4-3)-(5)① | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 6 |
| 7. | 2026/04/10(金) | 4 時限 | 講義 | 講義室 203 | 13:55-15:05 |
| | タイトル | シェーグレン症候群、ベーチェット病、成人発症スティル病、多発軟骨炎 | | | |
| | 担当者（所属） | 廣瀬 光 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | D-6-4)-(5)②,E-4-3)-(4)④,E-4-3)-(5)②,E-4-3)-(2)③ | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 7 |
| 8. | 2026/04/13(月) | 4 時限 | 講義 | 講義室 203 | 13:55-15:05 |
| | タイトル | 血管炎症候群 | | | |
| | 担当者（所属） | 田巻 弘道 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | E-4-1)①,E-4-2)②③⑤⑦⑧⑩,E-4-3)-(5)①② | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 8 |
| 9. | 2026/04/13(月) | 6 時限 | 講義 | 講義室 203 | 16:35-17:45 |
| | タイトル | 膠原病問題演習 | | | |
| | 担当者（所属） | 岡本 祐子 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | E-4-2)①～⑩,E-4-3)-(1)①②③,E-4-3)-(2)①②③④,E-4-3)-(3)①②③,E-4-3)-(4)①②③④,E-4-3)-(5)①②,E-5-2)②⑥⑦⑧⑨ | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 9 |
| 10. | 2026/04/14(火) | 4 時限 | 講義 | 講義室 203 | 13:55-15:05 |
| | タイトル | リウマチ性多発筋痛症、線維筋痛症、痛風、偽痛風など | | | |
| | 担当者（所属） | 樋口 智昭 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | D-12-4)-(7)②,E-4-3)-(1)①②,E-4-3)-(5)①,G-2-36) | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 10 |

| | | | | | |
|---------|------------------------|--|----|---------|-------------|
| 1 1. | 2026/04/16(木) | 1 時限 | 講義 | 講義室 203 | 09:00-10:10 |
| | タイトル | 特発性炎症性ミオパチー | | | |
| | 担当者 (所属) | 勝又 康弘 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | E-4-3)-(4)② | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 11 |
| 1 2. | 2026/04/16(木) | 2 時限 | 講義 | 講義室 203 | 10:25-11:35 |
| | タイトル | 膠原病の病理 | | | |
| | 担当者 (所属) | 長嶋 洋治 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | E-4-3)-(1)①②③,E-4-3)-(2)①-④,E-4-3)-(3)①②③,E-4-3)-(4)①②③,E-4-3)-(5)①②③,E-4-3)-(6)①②③,E-4-3)-(7)①,F-1-35)①②,F-3-5)-(7)①② | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 12 |
| 1 3. | 2026/04/17(金) | 4 時限 | 講義 | 講義室 203 | 13:55-15:05 |
| | タイトル | 脊椎関節炎 | | | |
| | 担当者 (所属) | 落合 萌子 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | D-4-3)②③、E-4-2)⑩,E-4-3)-(1)② | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 13 |
| 1 4. | 2026/04/20(月) | 1 時限 | 講義 | 講義室 203 | 09:00-10:10 |
| | タイトル | 原発性免疫不全症候群 | | | |
| | 担当者 (所属) | 布村 多佳子 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | E-4-3)-(7)① | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 14 |
| 1 5. | 2026/04/20(月) | 2 時限 | 講義 | 講義室 203 | 10:25-11:35 |
| | タイトル | 小児リウマチ・膠原病・自己炎症症候群 | | | |
| | 担当者 (所属) | 布村 多佳子 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | E-4-3)-(2)④,E-4-3)-(3)①② | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 15 |
| 1 6. | 2026/04/21(火) | 2 時限 | 実習 | 大実習室 1 | 10:25-11:35 |
| | タイトル | 未知検体の細菌同定 (1)、嫌気性菌 (1)、過敏症 | | | |
| | 担当者 (所属) | 上芝 秀博 柳澤 直子 大坂 利文 飯塚 譲 西田 隆司 | | | |

授業予定表

| | | | | | |
|---------|------------------------|--|----|---------|-------------|
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | C-3-1)-(4)⑥⑦,C-3-2)-(4)④ | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 19 |
| 1 7. | 2026/04/21(火) | 3時限 | 実習 | 大実習室 1 | 12:30-13:40 |
| | タイトル | 未知検体の細菌同定 (1)、嫌気性菌 (1)、過敏症 | | | |
| | 担当者 (所属) | 上芝 秀博 柳澤 直子 大坂 利文 飯塚 譲 西田 隆司 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | C-3-1)-(4)⑥⑦,C-3-2)-(4)④ | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 20 |
| 1 8. | 2026/04/21(火) | 4時限 | 実習 | 大実習室 1 | 13:55-15:05 |
| | タイトル | 未知検体の細菌同定 (1)、嫌気性菌 (1)、過敏症 | | | |
| | 担当者 (所属) | 上芝 秀博 柳澤 直子 大坂 利文 飯塚 譲 西田 隆司 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | C-3-1)-(4)⑥⑦,C-3-2)-(4)④ | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 21 |
| 1 9. | 2026/04/21(火) | 5時限 | 実習 | 大実習室 1 | 15:15-16:25 |
| | タイトル | 未知検体の細菌同定 (1)、嫌気性菌 (1)、過敏症 | | | |
| | 担当者 (所属) | 上芝 秀博 柳澤 直子 大坂 利文 飯塚 譲 西田 隆司 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | C-3-1)-(4)⑥⑦,C-3-2)-(4)④ | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 22 |
| 2 0. | 2026/04/22(水) | 3時限 | 講義 | 講義室 203 | 12:30-13:40 |
| | タイトル | 膠原病の皮膚病変 | | | |
| | 担当者 (所属) | 竹中 祐子 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | E-4-3)-(1)③,E-4-3)-(2)③,E-4-3)-(3)①,E-4-3)-(4)①②,E-4-3)-(5)② | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 16 |
| 2 1. | 2026/04/23(木) | 2時限 | 実習 | 大実習室 1 | 10:25-11:35 |
| | タイトル | 未知検体の細菌同定 (2)、嫌気性菌 (2)、免疫電気泳動 (1)、薬剤耐性検査(緑膿菌、黄色ブドウ球菌) (1) | | | |

| | | | | | |
|---------|------------------------|---|----|---------|-------------|
| | 担当者（所属） | 上芝 秀博 柳澤 直子 大坂 利文 飯塚 譲 西田 隆司 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | C-3-1)-(4)④⑥⑦,F-02-03-⑩,E-02-01-④ | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 23 |
| 2 2. | 2026/04/23(木) | 3 時限 | 実習 | 大実習室 1 | 12:30-13:40 |
| | タイトル | 未知検体の細菌同定（2）、嫌気性菌（2）、免疫電気泳動（1）、薬剤耐性検査(緑膿菌、黄色ブドウ球菌)（1） | | | |
| | 担当者（所属） | 上芝 秀博 柳澤 直子 大坂 利文 飯塚 譲 西田 隆司 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | C-3-1)-(4)④⑥⑦,F-02-03-⑩,E-02-01-④ | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 24 |
| 2 3. | 2026/04/23(木) | 4 時限 | 実習 | 大実習室 1 | 13:55-15:05 |
| | タイトル | 未知検体の細菌同定（2）、嫌気性菌（2）、免疫電気泳動（1）、薬剤耐性検査(緑膿菌、黄色ブドウ球菌)（1） | | | |
| | 担当者（所属） | 上芝 秀博 柳澤 直子 大坂 利文 飯塚 譲 西田 隆司 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | C-3-1)-(4)④⑥⑦,F-02-03-⑩,E-02-01-④ | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 25 |
| 2 4. | 2026/04/23(木) | 5 時限 | 実習 | 大実習室 1 | 15:15-16:25 |
| | タイトル | 未知検体の細菌同定（2）、嫌気性菌（2）、免疫電気泳動（1）、薬剤耐性検査(緑膿菌、黄色ブドウ球菌)（1） | | | |
| | 担当者（所属） | 上芝 秀博 柳澤 直子 大坂 利文 飯塚 譲 西田 隆司 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | C-3-1)-(4)④⑥⑦,F-02-03-⑩,E-02-01-④ | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 26 |
| 2 5. | 2026/04/24(金) | 1 時限 | 講義 | 講義室 203 | 09:00-10:10 |
| | タイトル | 組織適合性抗原 | | | |
| | 担当者（所属） | 尾本 和也 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | C-3-2)-(1)①-④,C-3-2)-(2)①-④ | | | |

| | | | | | |
|---------|------------------------|---|----|---------|-------------|
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 17 |
| 2 6. | 2026/04/24(金) | 2 時限 | 実習 | 大実習室 1 | 10:25-11:35 |
| | タイトル | 薬剤耐性検査(緑膿菌、黄色ブドウ球菌) (2)、マイコプラズマ (1)、抗酸菌の染色・観察 | | | |
| | 担当者 (所属) | 上芝 秀博 柳澤 直子 大坂 利文 飯塚 譲 西田 隆司 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | C-3-1)-(4)④⑦⑨⑩,E-02-01-④ | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 27 |
| 2 7. | 2026/04/24(金) | 3 時限 | 実習 | 大実習室 1 | 12:30-13:40 |
| | タイトル | 薬剤耐性検査(緑膿菌、黄色ブドウ球菌) (2)、マイコプラズマ (1)、抗酸菌の染色・観察 | | | |
| | 担当者 (所属) | 上芝 秀博 柳澤 直子 大坂 利文 飯塚 譲 西田 隆司 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | C-3-1)-(4)④⑦⑨⑩,E-02-01-④ | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 28 |
| 2 8. | 2026/04/24(金) | 4 時限 | 実習 | 大実習室 1 | 13:55-15:05 |
| | タイトル | 薬剤耐性検査(緑膿菌、黄色ブドウ球菌) (2)、マイコプラズマ (1)、抗酸菌の染色・観察 | | | |
| | 担当者 (所属) | 上芝 秀博 柳澤 直子 大坂 利文 飯塚 譲 西田 隆司 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | C-3-1)-(4)④⑦⑨⑩,E-02-01-④ | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 29 |
| 2 9. | 2026/04/24(金) | 5 時限 | 実習 | 大実習室 1 | 15:15-16:25 |
| | タイトル | 薬剤耐性検査(緑膿菌、黄色ブドウ球菌) (2)、マイコプラズマ (1)、抗酸菌の染色・観察 | | | |
| | 担当者 (所属) | 上芝 秀博 柳澤 直子 大坂 利文 飯塚 譲 西田 隆司 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | C-3-1)-(4)④⑦⑨⑩,E-02-01-④ | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 30 |
| 3 0. | 2026/04/27(月) | 3 時限 | 講義 | 講義室 203 | 12:30-13:40 |
| | タイトル | アレルギー-疾患の病因・病態・症候・治療 | | | |

| | | | | | |
|---------|------------------------|--|----|--------|-------------|
| | 担当者（所属） | 鈴木 悠貴 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | E-4-3)-(6)①②③ | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 18 |
| 3 1. | 2026/04/28(火) | 2 時限 | 実習 | 大実習室 1 | 10:25-11:35 |
| | タイトル | 免疫電気泳動（2）、インフルエンザの検査、マイコプラズマ（2） | | | |
| | 担当者（所属） | 上芝 秀博 柳澤 直子 大坂 利文 飯塚 譲 西田 隆司 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | C-3-1)-(4)⑩,C-3-1)-(3)②,F-02-03-⑩ | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 31 |
| 3 2. | 2026/04/28(火) | 3 時限 | 実習 | 大実習室 1 | 12:30-13:40 |
| | タイトル | 免疫電気泳動（2）、インフルエンザの検査、マイコプラズマ（2） | | | |
| | 担当者（所属） | 上芝 秀博 柳澤 直子 大坂 利文 飯塚 譲 西田 隆司 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | C-3-1)-(4)⑩,C-3-1)-(3)②,F-02-03-⑩ | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 32 |
| 3 3. | 2026/04/28(火) | 4 時限 | 実習 | 大実習室 1 | 13:55-15:05 |
| | タイトル | 免疫電気泳動（2）、インフルエンザの検査、マイコプラズマ（2） | | | |
| | 担当者（所属） | 上芝 秀博 柳澤 直子 大坂 利文 飯塚 譲 西田 隆司 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | C-3-1)-(4)⑩,C-3-1)-(3)②,F-02-03-⑩ | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 33 |
| 3 4. | 2026/04/28(火) | 5 時限 | 実習 | 大実習室 1 | 15:15-16:25 |
| | タイトル | 免疫電気泳動（2）、インフルエンザの検査、マイコプラズマ（2） | | | |
| | 担当者（所属） | 上芝 秀博 柳澤 直子 大坂 利文 飯塚 譲 西田 隆司 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | C-3-1)-(4)⑩,C-3-1)-(3)②,F-02-03-⑩ | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 34 |

| | | | | | |
|---------|------------------------|--|-------|---|-------------|
| 3 5. | 2026/05/08(金) | 1 時限 | 試験 | - | 10:00-12:30 |
| | タイトル | 免疫・アレルギー疾患・膠原病 試験10:00-12:30(講義室202,203) | | | |
| | 担当者(所属) | 勝又 康弘 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 35 |
| 3 6. | 2026/05/08(金) | 2 時限 | 試験 | - | 10:00-12:30 |
| | タイトル | 免疫・アレルギー疾患・膠原病 試験10:00-12:30(講義室202,203) | | | |
| | 担当者(所属) | 勝又 康弘 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 36 |
| 3 7. | 2026/05/23(土) | 1 時限 | 追・再試験 | - | 10:00-12:30 |
| | タイトル | 免疫・アレルギー疾患・膠原病 追再試験10:00-12:30(講義室203) | | | |
| | 担当者(所属) | 勝又 康弘 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 37 |
| 3 8. | 2026/05/23(土) | 2 時限 | 追・再試験 | - | 10:00-12:30 |
| | タイトル | 免疫・アレルギー疾患・膠原病 追再試験10:00-12:30(講義室203) | | | |
| | 担当者(所属) | 勝又 康弘 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 38 |

| | | |
|---------------------------|--|----------------------------------|
| 科目名 | 環境と健康・疾病・障害 | |
| 科目責任者(所属) | 廣田 恵子 | |
| 到達目標 | 将来、医師として、生活環境、労働環境、地球環境中に存在する様々な有害要因に起因する疾病や障害の発症を予防し、健康を保持・増進させ、さらに生活の質を向上させることを目標とする。さらに、死因論、医事法や医療倫理について学び、社会に対して医師としての責任を果たすことを目標とする。そのために、公衆衛生の向上に寄与できるよう、広く環境と健康・疾病・障害との関係についての理解を深める。 | |
| アウトカム・ロードマップに係わる到達目標/項目番号 | 疾病予防・健康維持・公衆衛生の方法を説明できる。 医師法・医療法の概要を説明できる。 | I -1-B-(3-4)-③ I -6-A-(3-4)-② |
| 学修(教育)方法 | 講義 | |
| 評価方法 (1)総括的評価の対象 | 定期試験(筆記試験)点数を本科目の評価点とする。定期試験(筆記試験)は、講義内容および配布資料から出題する。ただし、定期試験を受けるには原則当該科目の授業に3分の2以上の出席が定期試験の受験資格として必要である。 | |
| 評価方法 (2)評価項目 | <p>医師の法的義務を列挙し、例示できる。 A-1-3)⑤</p> <p>医療過誤に関連した刑事・民事責任や医師法に基づく行政処分を説明できる。 A-6-2)③</p> <p>予防医学(一次、二次、三次予防)と健康保持増進(健康管理の概念・方法、健康診断・診査と事後指導)を概説できる。 B-1-4)⑤</p> <p>休養・心の健康(睡眠の質、不眠、ストレス対策、過重労働対策、自殺の予防)を説明できる。 B-1-5)④</p> <p>健康(健康の定義)、障害と疾病の概念と社会環境(機能障害、活動制限、参加制約、生活の質(QOL)、ノーマライゼーション、バリアフリー、ユニバーサルデザイン等)を説明できる。 B-1-6)①</p> <p>社会構造(家族、コミュニティ、地域社会、国際化)と健康・疾病との関係(健康の社会的決定要因(social determinant of health))を概説できる。 B-1-6)②</p> <p>仕事と健康、環境と適応、生体環境系、病因と保健行動、環境基準と環境影響評価、公害と環境保全が健康と生活に与える影響を概説できる。 B-1-6)③</p> <p>各ライフステージの健康問題(母子保健、学校保健、産業保健、成人・高齢者保健)を説明できる。 B-1-6)④</p> <p>産業保健(労働基準法等の労働関係法規を含む)を概説できる。 B-1-8)④</p> <p>医師法、医療法等の医療関連法規を概説できる。 B-1-8)⑥</p> <p>医療関連法規に定められた医師の義務を列挙できる。 B-1-8)⑦</p> <p>感染症法・食品衛生法の概要と届出義務を説明できる。 B-1-8)⑩</p> <p>植物状態、脳死、心臓死及び脳死判定を説明できる。 B-2-1)①</p> <p>異状死・異状死体の取り扱いと死体検案を説明できる。 B-2-1)②</p> <p>個人識別の方法を説明できる。 B-2-1)④</p> <p>病理解剖、法医学解剖(司法解剖、行政解剖、死因・身元調査法解剖、承諾解剖)を説明できる。 B-2-1)⑤</p> <p>人々の暮らしの現場において病气・健康がどのようにとらえられているかを説明できる。 B-4-1)④</p> <p>薬物・毒物の吸収、分布、代謝と排泄を説明できる。 C-3-3)-(2)①</p> <p>多因子疾患における遺伝要因と環境要因の関係を概説できる。 C-4-1)⑥</p> <p>人生、日常生活や仕事におけるストレスとその健康への影響を例示できる。 C-5-4)②</p> <p>じん肺症(珪肺(silicosis)、石綿肺(asbestosis))を概説できる。 D-6-4)-(3)⑦</p> <p>胸膜中皮腫の病因、診断、治療を概説できる。 D-6-4)-(9)④</p> <p>レジオネラ感染症を説明できる。 E-2-4)-(2)⑩</p> <p>中毒患者の検査と起因物質の分析を概説できる。 E-5-1)①</p> <p>食中毒の病因、症候と予防法を説明できる。 E-5-3)-(1)①</p> <p>一酸化炭素中毒の発症機序、症候、診断と治療法を説明できる。 E-5-3)-(1)②</p> <p>有機リン剤、有機塩素剤と有機溶剤による中毒の機序、診断と治療を説明できる。 E-5-3)-(1)③</p> <p>重金属、青酸、ヒ素、パラコート、自然毒による中毒を概説できる。 E-5-3)-(1)④</p> <p>アルコール、覚醒剤・麻薬・大麻などの乱用薬物による中毒を説明できる。 E-5-3)-(1)⑤</p> <p>医薬品による中毒を説明できる。 E-5-3)-(1)⑥</p> <p>高温による障害(熱中症)を説明できる。 E-5-3)-(2)①</p> <p>寒冷による障害を説明できる。 E-5-3)-(2)②</p> <p>振動障害と騒音障害を説明できる。 E-5-3)-(2)③</p> <p>気圧による障害の原因や対処を説明できる。 E-5-3)-(2)④</p> <p>放射線の種類と放射能、これらの性質・定量法・単位を説明できる。 E-6-1)①</p> <p>放射線及び電磁波の人体(胎児を含む)への影響(急性影響と晩発影響)を説明できる。 E-6-1)③</p> <p>死の概念と定義や生物学的な個体の死を説明できる。 E-9-1)①</p> <p>植物状態と脳死の違いを説明できる。 E-9-1)②</p> <p>内因死と外因死について違いと内容を説明できる。 E-9-1)③</p> <p>突然死の定義を説明でき、突然死を来しうる疾患(乳幼児突然死症候群(SIDS)を含む)を列挙できる。 E-9-1)④</p> <p>死に至る身体と心の過程を説明できる。その個別性にも共感配慮できる。 E-9-1)⑥</p> <p>人生の最終段階における医療(エンド・オブ・ライフ・ケア)での本人の意思決定、事前指示、延命治療、Do not attempt resuscitation (DNAR)、尊厳死と安楽死、治療の中止と差し控えの概念を説明できる。 E-9-1)⑨</p> <p>患者の死後の家族ケア(悲嘆のケア(グリーフケア))を説明できる。 E-9-1)⑩</p> <p>外傷・熱傷の病態生理を説明できる。 F-1-37)①</p> <p>外傷・熱傷の診断の要点を説明できる。 F-1-37)②</p> | |
| 評価方法 (2)評価項目続き | | |

| | | | | | |
|-------------------------------------|---|---------------------------|---|------------------|------------------|
| 評価方法 (3)評価基準 | 定期試験（筆記試験）を100点満点として、以下の評価を行う。S. 極めて良く理解している（90点以上）、A. 良く理解している（80点以上90点未満）、B. 平均的に理解している（70点以上80点未満）、C. 最低限は理解している（60点以上70点未満）、D. 理解が不十分である（60点未満）のいずれかとして判定し、C以上を合格とする。 | | | | |
| 事前・事後学修 | 講義前にアップロードされている資料で事前学修し、講義後の講義復習テストもしくは講義者からの課題で事後学修する。そのうえで、必要に応じて講義収録動画を視聴し、理解を深めること。ただし、配信不可講義についてはその限りではない。また、担当教員への積極的な質問を推奨する。 | | | | |
| 伝達事項 | 教科書は指定しない。以下に記載する書籍は、参考図書として利用されたい。 | | | | |
| 実務経験 | | | | | |
| 教科書・参考図書 | No | 書籍名 | 著者名 | 上段：出版社 下段：出版年 | ISBN |
| | 1. | 『国民衛生の動向』 | 厚生労働統計協会 | 厚生労働統計協会 年刊 | B074BNZSS9(ASIN) |
| | 2. | 『厚生労働白書』 | 厚生労働省 | 日経印刷 年刊 | 978-4865791044 |
| | 3. | 『環境白書 循環型社会白書/生物多様性白書』 | 環境省 | 日経印刷 年刊 | 978-4865790795 |
| | 4. | 『労働衛生のしおり』 | 中央労働災害防止協会 | 中央労働災害防止協会 年刊 | 978-4805917640 |
| | 5. | 『産業医の職務Q&A（第10版）』 | 産業医の職務Q&A編集委員会 | 産業医学振興財団 2015 | 978-4915947582 |
| | 6. | 『公衆衛生マニュアル 2024』 | 中村好一,佐伯圭吾編集 | 南山堂 2024 | 978-4525187521 |
| | 7. | 『産業保健マニュアル（改訂8版）』 | 森晃雨編集 | 南山堂 2021 | 978-4525184582 |
| | 8. | 『標準公衆衛生・社会医学』 | 岡崎勲,豊嶋英明,小林廉毅編集 | 医学書院 2009 | 978-4260007733 |
| | 9. | 『NEW予防医学・公衆衛生学』 | 岸玲子監修 | 南江堂 2018 | 978-4524251162 |
| | 10. | 『シンプル衛生公衆衛生学2024』 | 小山洋/辻一郎編集 | 南江堂 2024 | 978-4524210220 |
| | 11. | 『中毒学：基礎・臨床・社会医学』 | 荒記俊一編集 | 朝倉書店 2002 | 978-4254300604 |
| | 12. | 『学生のための法医学（改訂6版）』 | 田中宣幸ほか著 | 南山堂 2006 | 978-4525190262 |
| | 13. | 『NEWエッセンシャル法医学』 | 高取健彦監修,長尾正宗編 | 医歯薬出版 2019 | 978-4263731895 |
| 関連リンク | 1. | 厚生労働省 食中毒 | http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/shokuhin/syokuchu/index.html | | |
| | 2. | 日本医療安全調査機構（医療事故調査・支援センター） | https://www.medsafe.or.jp/ | | |
| 添付ファイル ※3つまで、1ファイルにつき5MBまで、圧縮ファイルOK | | | | | |

| | | | | | | | |
|----|--------------------|---------------------------------|--|------|-------------|-------------|---|
| | 回数 | 年月日 | 時限 | 授業形式 | 教室 | 開始終了時間 | |
| | 1. | 2026/04/27(月) | 4時限 | 講義 | 講義室 203 | 13:55-15:05 | |
| | | タイトル | 環境保健（1） 科目の概要、環境と適応 | | | | |
| | | 担当者（所属） | 廣田 恵子 | | | | |
| | | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | B-1-6)①②③④,B-4-1)④,C-3-3)-(2)①,C-4-1)⑥ | | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | | | 1 |
| 2. | 2026/04/27(月) | 6時限 | 講義 | - | 16:35-17:45 | | |
| | タイトル | 法医学（1）法医学概論(203講義室)※収録配信なし、対面のみ | | | | | |

| | | | | | |
|----|------------------------|--|----|---------|-------------|
| | 担当者（所属） | 木林 和彦 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | B-2-1)①②⑤,E-9-1)①②③⑥⑨⑩ | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 2 |
| 3. | 2026/04/28(火) | 1 時限 | 講義 | - | 09:00-10:10 |
| | タイトル | 法医学（2）個人識別(203講義室)※収録配信なし、対面のみ | | | |
| | 担当者（所属） | 町田 光世 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | B-2-1)④ | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 3 |
| 4. | 2026/05/11(月) | 2 時限 | 講義 | - | 10:25-11:35 |
| | タイトル | 法医学（3）死の判定と診断・死因と死因の種類(203講義室)※収録配信なし、対面のみ | | | |
| | 担当者（所属） | 木林 和彦 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | B-2-1)①②,E-9-1)①②③⑥⑨⑩ | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 4 |
| 5. | 2026/05/11(月) | 3 時限 | 講義 | - | 12:30-13:40 |
| | タイトル | 法医学（4）死亡時画像診断（Ai）(203講義室)※収録配信なし、対面のみ | | | |
| | 担当者（所属） | 木林 和彦 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | B-2-1)②⑤,F-1-37)①② | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 5 |
| 6. | 2026/05/12(火) | 1 時限 | 講義 | 講義室 203 | 09:00-10:10 |
| | タイトル | 環境保健（2）上水道、下水道、廃棄物 | | | |
| | 担当者（所属） | 廣田 恵子 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | B-1-6)③,E-2-4)-(2)⑩ | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 6 |
| 7. | 2026/05/13(水) | 3 時限 | 講義 | 講義室 203 | 12:30-13:40 |
| | タイトル | 環境保健（3）環境汚染物質 | | | |
| | 担当者（所属） | 廣田 恵子 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | B-1-6)③,E-5-1)① | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 7 |
| 8. | 2026/05/14(木) | 4 時限 | 講義 | 講義室 203 | 13:55-15:05 |
| | タイトル | 環境保健（4）地球環境問題 | | | |

| | | | | | |
|-----|------------------------|------------------------------------|----|---------|-------------|
| | 担当者（所属） | 蔣池 勇太 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | B-1-6)③,E-5-3)-(2)① | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 8 |
| 9. | 2026/05/14(木) | 5時限 | 講義 | 講義室 203 | 15:15-16:25 |
| | タイトル | 環境保健（5） 居住と生活環境 | | | |
| | 担当者（所属） | 蔣池 勇太 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | B-1-6)③ | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 9 |
| 10. | 2026/05/15(金) | 2時限 | 講義 | 講義室 203 | 10:25-11:35 |
| | タイトル | 産業保健（1） 産業医と労働安全衛生管理 | | | |
| | 担当者（所属） | -- | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | B-1-4)⑤,B-1-8)④ | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 10 |
| 11. | 2026/05/15(金) | 4時限 | 講義 | 講義室 203 | 13:55-15:05 |
| | タイトル | 産業保健（2） 過重労働、職業性ストレス、作業様態による障害 | | | |
| | 担当者（所属） | -- | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | B-1-5)④, B-1-6)③④,B-1-8)④, C-5-4)② | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 11 |
| 12. | 2026/05/19(火) | 5時限 | 講義 | 講義室 203 | 15:15-16:25 |
| | タイトル | 法医学（5） アルコールの法医学 | | | |
| | 担当者（所属） | 中尾 賢一郎 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | E-5-3)-(1)⑤ | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 12 |
| 13. | 2026/05/19(火) | 6時限 | 講義 | 講義室 203 | 16:35-17:45 |
| | タイトル | 法医学（6） 法中毒・薬毒物機器分析 | | | |
| | 担当者（所属） | 中尾 賢一郎 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | E-5-1)①,E-5-3)-(1)②③④⑤⑥ | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 13 |
| 14. | 2026/05/21(木) | 1時限 | 講義 | - | 09:00-10:10 |
| | タイトル | 法医学（7） 外傷と損傷(203講義室)※収録配信なし、対面のみ | | | |

授業予定表

| | | | | | |
|---------|------------------------|--|----|---------|-------------|
| | 担当者（所属） | 木林 和彦 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | E-9-1)③,F-1-37)① | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 14 |
| 1 5. | 2026/05/21(木) | 2 時限 | 講義 | - | 10:25-11:35 |
| | タイトル | 法医学（8）身体各部位の損傷(203講義室)※収録配信なし、対面のみ | | | |
| | 担当者（所属） | 木林 和彦 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | E-9-1)③,F-1-37)① | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 15 |
| 1 6. | 2026/05/21(木) | 4 時限 | 講義 | 講義室 203 | 13:55-15:05 |
| | タイトル | 食品保健 | | | |
| | 担当者（所属） | 蔣池 勇太 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | B-1-8)⑩,E-5-3)-(1)① | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 16 |
| 1 7. | 2026/05/25(月) | 5 時限 | 講義 | - | 15:15-16:25 |
| | タイトル | 法医学（9）窒息・溺水(203講義室)※収録配信なし、対面のみ | | | |
| | 担当者（所属） | 木林 和彦 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | E-9-1)③ | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 17 |
| 1 8. | 2026/05/26(火) | 6 時限 | 講義 | - | 16:35-17:45 |
| | タイトル | 法医学（10）異常環境による障害(203講義室)※収録配信なし、対面のみ | | | |
| | 担当者（所属） | 木林 和彦 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | E-5-3)-(2)①② | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 18 |
| 1 9. | 2026/05/27(水) | 1 時限 | 講義 | - | 09:00-10:10 |
| | タイトル | 法医学（11）交通事故・自殺対策・被害者対応(203講義室)※収録配信なし、対面のみ | | | |
| | 担当者（所属） | 木林 和彦 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | E-9-1)③ | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 19 |
| 2 0. | 2026/05/28(木) | 3 時限 | 講義 | 講義室 203 | 12:30-13:40 |
| | タイトル | 法医学（12）労災事故 | | | |

| | | | | | |
|---------|------------------------|--------------------------------------|----|---------|-------------|
| | 担当者（所属） | 島田 亮 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | B-1-8)④,E-9-1)③ | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 20 |
| 2 1. | 2026/05/29(金) | 3 時限 | 講義 | - | 12:30-13:40 |
| | タイトル | 法医学（13）内因性急死と突然死(203講義室)※収録配信なし、対面のみ | | | |
| | 担当者（所属） | 木林 和彦 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | E-9-1)④ | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 21 |
| 2 2. | 2026/06/01(月) | 3 時限 | 講義 | - | 12:30-13:40 |
| | タイトル | 法学（1）医師の法的義務(203講義室)※収録配信なし、対面のみ | | | |
| | 担当者（所属） | 木林 和彦 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | A-1-3)⑤,B-1-8)⑥⑦ | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 22 |
| 2 3. | 2026/06/02(火) | 5 時限 | 講義 | 講義室 203 | 15:15-16:25 |
| | タイトル | 化学的有害因子（1） 金属 | | | |
| | 担当者（所属） | 廣田 恵子 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | E-5-1)①,E-5-3)-(1)④ | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 23 |
| 2 4. | 2026/06/03(水) | 2 時限 | 講義 | 講義室 203 | 10:25-11:35 |
| | タイトル | 物理的有害因子 | | | |
| | 担当者（所属） | 廣田 恵子 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | B-1-6)③, E-5-3)-(2)①②③④, E-6-1)①③ | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 24 |
| 2 5. | 2026/06/03(水) | 4 時限 | 講義 | 講義室 203 | 13:55-15:05 |
| | タイトル | 化学的有害因子（2） 有機溶剤、農薬 | | | |
| | 担当者（所属） | 蔣池 勇太 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | E-5-3)-(1)③④ | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 25 |
| 2 6. | 2026/06/05(金) | 6 時限 | 講義 | 講義室 203 | 16:35-17:45 |
| | タイトル | 化学的有害因子（3） 粉じん、アスベスト | | | |

| | | | | | |
|---------|------------------------|---------------------------------------|-------|---------|-------------|
| | 担当者（所属） | 蔣池 勇太 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | D-6-4)-(3)⑦,D-6-4)-(9)④ | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 26 |
| 2 7. | 2026/06/08(月) | 3 時限 | 講義 | 講義室 203 | 12:30-13:40 |
| | タイトル | 法学（2）医療訴訟 | | | |
| | 担当者（所属） | 辻村 貴子 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | A-1-3)⑤,A-6-2)③ | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 27 |
| 2 8. | 2026/06/10(水) | 1 時限 | 講義 | 講義室 203 | 09:00-10:10 |
| | タイトル | 化学的有害因子（4）ガス、酸欠 | | | |
| | 担当者（所属） | 蔣池 勇太 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | E-5-3)-(1)②④ | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 28 |
| 2 9. | 2026/07/02(木) | 1 時限 | 試験 | - | 10:00-12:00 |
| | タイトル | 環境と健康・疾病・障害 試験10:00-12:00(講義室202,203) | | | |
| | 担当者（所属） | 廣田 恵子 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 29 |
| 3 0. | 2026/07/02(木) | 2 時限 | 試験 | - | 10:00-12:00 |
| | タイトル | 環境と健康・疾病・障害 試験10:00-12:00(講義室202,203) | | | |
| | 担当者（所属） | 廣田 恵子 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 30 |
| 3 1. | 2026/07/28(火) | 1 時限 | 追・再試験 | - | 10:00-12:00 |
| | タイトル | 環境と健康・疾病・障害 追再試験10:00-12:00(講義室203) | | | |
| | 担当者（所属） | 廣田 恵子 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 31 |
| 3 2. | 2026/07/28(火) | 2 時限 | 追・再試験 | - | 10:00-12:00 |
| | タイトル | 環境と健康・疾病・障害 追再試験10:00-12:00(講義室203) | | | |

| | | | |
|--|------------------------|-------|----|
| | 担当者（所属） | 廣田 恵子 | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | 32 |

| | | |
|---------------------------|---|--|
| 科目名 | 社会制度と保健・医療・福祉 | |
| 科目責任者(所属) | 野原 理子 | |
| 到達目標 | 社会制度と保健・医療・福祉では、社会における医療のあり方を様々な観点から理解し、考察できる能力を身に付けることを目標とする。それぞれの講義では、基本的内容を理解し、これまでの問題点がどのように解決されて施策に反映されてきたかを学ぶ。個人や集団の健康の概念を認識し、健康の保持増進に必要な個人的および社会組織な活動、感染症対策、防災や検疫を含む公衆衛生的な取り組み、また医療安全や医療の質に関する学修する。保健医療活動が保健医療関係者のチームワークによって可能となることを理解し、その中における医師の役割を学修する。また、保健医療や公衆衛生に関連する法規や統計情報、行政の組織や制度、医療と経済について学び、今後の問題点を考え、対策を考察できるようにする。 | |
| アウトカム・ロードマップに係わる到達目標/項目番号 | <p>疾病予防・健康維持・公衆衛生の方法を説明できる。 事例で診療上の心理的・社会的問題を明らかにできる。 医学的情報をわかりやすく伝えることができる。 社会保障を概説できる。 医療に関する保証制度を概説できる。 グループ目標達成のために行動できる。 講成員の役割と考えを尊重してグループの目標を立てられる。</p> | <p>I -1-B-(3-4)-③ I -2-A-(3-4)-② I -4-A-(3-4)-① I -6-D-(3-4)-① I -6-D-(3-4)-② II -4-C-(3-4)-① II -4-C-(3-4)-②</p> |
| 学修(教育)方法 | 講義 | |
| 評価方法 (1)総括的評価の対象 | 定期試験(筆記試験)の点数を科目の評価点とする。ただし、定期試験を受けるには当該科目の授業に3分の2以上の出席が定期試験の受験資格として必要である。 | |
| | <p>チーム医療の意義を説明できる。 医療チームの構成や各構成員(医師、歯科医師、薬剤師、看護師、その他の医療職)の役割分担と連携・責任体制を説明し、チームの一員として参加できる。 自分の能力の限界を認識し、必要に応じて他の医療従事者に援助を求めることができる。 保健、医療、福祉と介護のチーム連携における医師の役割を説明できる。 実際の医療には、多職種が多段階の医療業務内容に関与していることを具体的に説明できる。 医療上の事故等を防止するためには、個人の注意(ヒューマンエラーの防止)はもとより、組織的なリスク管理(制度・組織エラーの防止)が重要であることを説明できる。 医療現場における報告・連絡・相談と記録の重要性や、診療録(カルテ)改竄の違法性を説明できる。 医療の安全性に関する情報(薬剤等の副作用、薬害、医療過誤(事例や経緯を含む)、やっではないこと、優れた取組事例等)を共有し、事後に役立てるための分析の重要性を説明できる。 医療の安全性確保のため、職種・段階に応じた能力向上の必要性を説明できる。 医療機関における医療安全管理体制の在り方(事故報告書、インシデントレポート、医療事故防止マニュアル、医療廃棄物処理、医療安全管理者(リスクマネージャー)、安全管理委員会、事故調査委員会、医療事故調査制度、産科医療補償制度)を概説できる。 真摯に疑義に応じることができる 医療上の事故等(インシデントを含む)と合併症の違いを説明できる。 医療上の事故等(インシデントを含む)が発生したときの緊急処置や記録、報告を説明し、実践できる。 医療過誤に関連した刑事・民事責任や医師法に基づく行政処分を説明できる。 基本的予防策(ダブルチェック、チェックリスト法、薬品名称の改善、フェイルセーフ・フールプルーフの考え方等)を概説し、指導医の指導の下に実践できる。 医療現場における労働環境の改善の必要性を説明できる。 地域社会(離島・へき地を含む)における医療の状況、医師の偏在(地域、診療科及び臨床・非臨床)の現状を概説できる。 医療計画(医療圏、基準病床数、地域医療支援病院、病診連携、病病連携、病院・診療所・薬局の連携等)及び地域医療構想を説明できる。 地域包括ケアシステムの概念を理解し、地域における保健(母子保健、学校保健、成人・高齢者保健、地域保健、精神保健)・医療・福祉・介護の分野間及び多職種間(行政を含む)の連携の必要性を説明できる。 災害医療(災害時保健医療、医療救護班、災害派遣医療チーム(Disaster Medical Assistance Team(DMAT))、災害派遣精神医療チーム(Disaster Psychiatric Assistance Team(DPAT))、日本医師会災害医療チーム(Japan Medical Association Team(JMAT))、災害拠点病院、トリアージ等)を説明できる。 人口統計(人口静態と人口動態)、疾病・障害の分類・統計(国際疾病分類(International Classification of Diseases(ICD))等)を説明できる。 平均寿命、健康寿命を説明できる。 基本概念(国民健康づくり運動、生活習慣病とリスクファクター、健康寿命の延伸と生活の質(quality of life(QOL))向上、行動変容、健康づくり支援のための環境整備等)を説明できる。 栄養、食育、食生活を説明できる。 身体活動、運動を説明できる。 休養・心の健康(睡眠の質、不眠、ストレス対策、過重労働対策、自殺の予防)を説明できる。 喫煙(状況、有害性、受動喫煙防止、禁煙支援)、飲酒(状況、有害性、アルコール依存症からの回復支援)を説明できる。 ライフステージに応じた健康管理と環境・生活習慣改善(環境レベル、知識レベル、行動レベルと行動変容)を説明できる。</p> | <p>A-5-1)① A-5-1)② A-5-1)③ A-5-1)④ A-6-1)① A-6-1)② A-6-1)③ A-6-1)④ A-6-1)⑤ A-6-1)⑥ A-6-1)⑧ A-6-2)① A-6-2)② A-6-2)③ A-6-2)④ A-6-3)⑤ A-7-1)① A-7-1)② A-7-1)③ A-7-1)⑥ B-1-4)① B-1-4)② B-1-5)① B-1-5)② B-1-5)③ B-1-5)④ B-1-5)⑤ B-1-5)⑥</p> |

| | | |
|---------------------------|--|---|
| <p>評価方法 (2)評価項目</p> | <p>健康（健康の定義）、障害と疾病の概念と社会環境（機能障害、活動制限、参加制約、生活の質（QOL）、ノーマライゼーション、バリアフリー、ユニバーサルデザイン等）を説明できる。</p> <p>社会構造（家族、コミュニティ、地域社会、国際化）と健康・疾病との関係（健康の社会的決定要因(social determinant of health))を概説できる。</p> <p>仕事と健康、環境と適応、生体環境系、病因と保健行動、環境基準と環境影響評価、公害と環境保全が健康と生活に与える影響を概説できる。</p> <p>各ライフステージの健康問題（母子保健、学校保健、産業保健、成人・高齢者保健）を説明できる。</p> <p>地域社会（へき地・離島を含む）における医療の状況、医師の偏在（地域、診療科及び臨床・非臨床）の現状を概説できる。</p> <p>医療計画（医療圏、基準病床数、地域医療支援病院、病診連携、病病連携、病院・診療所・薬局の連携等）及び地域医療構想を説明できる。</p> <p>地域包括ケアシステムの概念を理解し、地域における、保健（母子保健、学校保健、成人・高齢者保健、地域保健、精神保健）・医療・福祉・介護の分野間及び多職種間（行政を含む）の連携の必要性を説明できる。</p> <p>かかりつけ医等の役割や地域医療の基盤となるプライマリ・ケアの必要性を理解し、実践に必要な能力を獲得する。</p> <p>地域における救急医療、在宅医療及び離島・へき地医療の体制を説明できる。</p> <p>災害医療（災害時保健医療、医療救護班、災害派遣医療チーム（DMAT）、災害派遣精神医療チーム（DPAT）、日本医師会災害医療チーム（JMAT）、災害拠点病院、トリアージ等）を説明できる。</p> <p>地域医療に積極的に参加・貢献する。</p> <p>日本における社会保障制度と医療経済（国民医療費の収支と将来予測）を説明できる。</p> <p>医療保険、介護保険及び公費医療を説明できる。</p> <p>高齢者福祉と高齢者医療の特徴を説明できる。</p> <p>産業保健（労働基準法等の労働関係法規を含む）を概説できる。</p> <p>医療の質の確保（病院機能評価、国際標準化機構(International Organization for Standardization (ISO))、医療の質に関する評価指標、患者満足度、患者説明文書、同意書、同意撤回書、クリニカルパス等）を説明できる。</p> <p>医師法、医療法等の医療関連法規を概説できる。</p> <p>医療関連法規に定められた医師の義務を列挙できる。</p> <p>医療における費用対効果分析を説明できる。</p> <p>医療資源と医療サービスの価格形成を説明できる。診療報酬制度を説明でき、同制度に基づいた診療計画を立てることができる。</p> <p>医療従事者の資格免許、現状と業務範囲、職種間連携を説明できる。</p> <p>感染症法・食品衛生法の概要と届出義務を説明できる。</p> <p>予防接種の意義と現状を説明できる。</p> <p>障害者福祉・精神保健医療福祉の現状と制度を説明できる。</p> <p>世界の保健・医療問題（母子保健、感染症、非感染性疾患(non-communicable diseases (NCD))、UHC (Universal Health Coverage)、保健システム（医療制度）、保健関連SDG (Sustainable Development Goals))を概説できる。</p> <p>国際保健・医療協力（国連(United Nations (UN))、世界保健機関(World Health Organization (WHO))、国際労働機関(International Labour Organization (ILO))、国連合同エイズ計画(The Joint United Nations Programme on HIV AIDS (UNAIDS))、世界エイズ・結核・マラリア対策基金(The Global Fund to Fight AIDS, Tuberculosis and Malaria (GF))、GAVIアライアンス(The Global Alliance for Vaccines and Immunization (GAVI))、国際協力機構(Japan International Cooperation Agency (JICA))、政府開発援助(Official Development Assistance (ODA))、非政府組織(Non-Governmental Organization (NGO))を列挙し、概説できる。</p> <p>社会をシステムとして捉えることができる。</p> <p>経済的側面や制度的側面をふまえた上で、医療現場の実践を評価できる。</p> | <p>B-1-6)①</p> <p>B-1-6)②</p> <p>B-1-6)③</p> <p>B-1-6)④</p> <p>B-1-7)①</p> <p>B-1-7)②</p> <p>B-1-7)③</p> <p>B-1-7)④</p> <p>B-1-7)⑤</p> <p>B-1-7)⑥</p> <p>B-1-7)⑦</p> <p>B-1-8)①</p> <p>B-1-8)②</p> <p>B-1-8)③</p> <p>B-1-8)④</p> <p>B-1-8)⑤</p> <p>B-1-8)⑥</p> <p>B-1-8)⑦</p> <p>B-1-8)⑧</p> <p>B-1-8)⑨</p> <p>B-1-8)⑩</p> <p>B-1-8)⑪</p> <p>B-1-8)⑫</p> <p>B-1-8)⑬</p> <p>B-1-9)①</p> <p>B-1-9)②</p> <p>B-4-1)⑧</p> <p>B-4-1)⑩</p> |
| <p>評価方法 (2)評価項目続き</p> | | |
| <p>評価方法 (3)評価基準</p> | <p>上記の評価項目について定期試験にて100点満点にて点数化を行い、S.極めて良く理解している（90点以上）、A.良く理解している（80点以上90点未満）、B.理解している（70点以上80点未満）、C.ある程度は理解しているが、十分ではない（60点以上70点未満）、D.あまり理解できていない（60点未満）のいずれかとして判定し、C以上を合格とする。</p> | |
| <p>事前・事後学修</p> | <p>講義前にアップロードされている資料で事前学修し、講義後の講義復習テストもしくは講義者からの課題で事後学修する。</p> | |
| <p>伝達事項</p> | <p>講義では毎回資料を配布する。</p> | |
| <p>実務経験</p> | | |

| No | 書籍名 | 著者名 | 上段：出版社 下段：出版年 | ISBN |
|----|-----------------|-------------|------------------|-------------------|
| 1. | 『国民衛生の動向』 | 厚生労働統計協会 編 | 厚生労働統計協会 年刊 | |
| 2. | 『国民の福祉と介護の動向』 | 厚生労働統計協会 編 | 厚生労働統計協会 年刊 | |
| 3. | 『厚生労働白書』 | 厚生労働省 編 | 日経印刷 年刊 | |
| 4. | 『公衆衛生マニュアル2025』 | 中村好一,佐伯圭吾 編 | 南山堂 2025 | 978-4-525-18753-8 |

| | | | | | | |
|----------|-------------------------------------|---|---|--------------------|-------------------|--|
| 教科書・参考図書 | 5. | 『NEW予防医学・公衆衛生学 (Nankodo's essential well-advanced series) 』 | 岸玲子 監修,小泉昭夫[ほか] 編 | 南江堂 2018 | 978-4-524-25116-2 | |
| | 6. | 『労働衛生のしおり 令和7年度』 | 中央労働災害防止協会 編 | 中央労働災害防止協会 2025 | 978-4-8059-2213-2 | |
| | 7. | 『シンプル衛生公衆衛生学 2025』 | 辻一郎 監修 | 南江堂 2025 | 978-4-524-21874-5 | |
| | 8. | 『標準公衆衛生・社会医学 (Standard textbook) 』 | 岡崎勲, 豊嶋英明, 小林廉毅編集 ; 岡崎勲 [ほか] 執筆 | 医学書院 2009 | 9784260007733 | |
| | 9. | 『日本の医療：統制とバランス感覚 (中公新書 1314) 』 | 池上直己著 | 中央公論社 1996 | 412101314X | |
| | 10. | 『日本の社会保障 (岩波新書 598) 』 | 広井良典著 | 岩波書店 1999 | 4004305985 | |
| | 11. | 『DSM-5-TR 精神疾患の診断・統計マニュアル』 | American Psychiatric Association [編] ほか | 医学書院 2023 | 978-4-260-05218-4 | |
| | 12. | 『現代臨床精神医学 改訂12版』 | 大熊輝雄著 | 金原出版 2013 | 9784307150675 | |
| | 13. | 『臨床精神薬理ハンドブック 第2版』 | 神庭重信, 大森哲郎, 加藤忠史編集 | 医学書院 2009 | 9784260008662 | |
| | 14. | 『世界一わかりやすい「医療政策」の教科書』 | 津川友介 | 医学書院 2020 | 4260025538 | |
| | 15. | 『実践グローバルヘルス』 | 日本国際保健医療学会 | 杏林書院 2022 | 978-4-7644-0541-7 | |
| | 関連リンク | | | | | |
| | 添付ファイル ※3つまで、1ファイルにつき5MBまで、圧縮ファイルOK | | | | | |

| 回数 | 年月日 | 時限 | 授業形式 | 教室 | 開始終了時間 |
|----|---------------------|---------------------------|------|---------|-------------|
| 1. | 2026/05/12(火) | 3時限 | 講義 | 講義室 203 | 12:30-13:40 |
| | タイトル | 科目の概要・公衆衛生の歴史 | | | |
| | 担当者(所属) | 野原 理子 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | B-1-5)①,B-1-6)①②③ | | | |
| | 講義資料番号/連番(LMS) | 1 | | | |
| 2. | 2026/05/13(水) | 1時限 | 講義 | 講義室 203 | 09:00-10:10 |
| | タイトル | 人口統計と保健統計 (1) 人口動態統計・静態統計 | | | |
| | 担当者(所属) | 野原 理子 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | B-1-4)①② | | | |
| | 講義資料番号/連番(LMS) | 2 | | | |
| 3. | 2026/05/13(水) | 2時限 | 講義 | 講義室 203 | 10:25-11:35 |
| | タイトル | 人口統計と保健統計 (2) 疾病・障害の分類と統計 | | | |
| | 担当者(所属) | 野原 理子 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | B-1-4)① | | | |
| | 講義資料番号/連番(LMS) | 3 | | | |

| | | | | | |
|----|------------------------|-----------------------------|----|---------|-------------|
| 4. | 2026/05/15(金) | 5 時限 | 講義 | 講義室 203 | 15:15-16:25 |
| | タイトル | 社会保障の理念と制度の種類 (社会保険・公的扶助) | | | |
| | 担当者 (所属) | 中島 範宏 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | B-1-8)① | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 4 |
| 5. | 2026/05/18(月) | 1 時限 | 講義 | 講義室 203 | 09:00-10:10 |
| | タイトル | 社会保険の仕組み (医療保険・介護保険) | | | |
| | 担当者 (所属) | 中島 範宏 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | B-1-8)②③ | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 5 |
| 6. | 2026/05/18(月) | 2 時限 | 講義 | 講義室 203 | 10:25-11:35 |
| | タイトル | 保健・医療・福祉・介護関連法規 (1) | | | |
| | 担当者 (所属) | 辻村 貴子 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | B-1-8)⑥⑦ | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 6 |
| 7. | 2026/05/18(月) | 4 時限 | 講義 | 講義室 203 | 13:55-15:05 |
| | タイトル | 保健・医療・福祉・介護関連法規 (2) | | | |
| | 担当者 (所属) | 中島 範宏 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | B-1-8)④⑩ | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 7 |
| 8. | 2026/05/18(月) | 5 時限 | 講義 | 講義室 203 | 15:15-16:25 |
| | タイトル | 診療報酬制度 | | | |
| | 担当者 (所属) | 中島 範宏 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | B-1-8)⑨ | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 8 |
| 9. | 2026/05/20(水) | 1 時限 | 講義 | 講義室 203 | 09:00-10:10 |
| | タイトル | 生活習慣とリスク (1) 栄養と食生活・身体活動と運動 | | | |
| | 担当者 (所属) | 三木 貴子 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | B-1-5)①②③ | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 9 |

| | | | | | |
|---------|------------------------|--------------------|----|---------|-------------|
| 1 0. | 2026/05/21(木) | 5 時限 | 講義 | 講義室 203 | 15:15-16:25 |
| | タイトル | 生活習慣とリスク (2) 飲酒・喫煙 | | | |
| | 担当者 (所属) | 三木 貴子 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | B-1-5)⑤⑥ | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 10 |
| 1 1. | 2026/05/22(金) | 2 時限 | 講義 | 講義室 203 | 10:25-11:35 |
| | タイトル | 主な公衆衛生学 (1) 予防接種 | | | |
| | 担当者 (所属) | 有末 伸子 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | B-1-8)⑩⑪ | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 11 |
| 1 2. | 2026/05/25(月) | 3 時限 | 講義 | 講義室 203 | 12:30-13:40 |
| | タイトル | 地域医療と地域医療計画 | | | |
| | 担当者 (所属) | 中島 範宏 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | A-7-1)②,B-1-7)②③④ | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 12 |
| 1 3. | 2026/05/25(月) | 4 時限 | 講義 | 講義室 203 | 13:55-15:05 |
| | タイトル | 災害医療 救急医療 離島・へき地医療 | | | |
| | 担当者 (所属) | 中島 範宏 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | A-7-1)①⑥,B-1-7)①⑤⑥ | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 13 |
| 1 4. | 2026/05/26(火) | 3 時限 | 講義 | 講義室 203 | 12:30-13:40 |
| | タイトル | 母子保健 | | | |
| | 担当者 (所属) | 野原 理子 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | B-1-6)④ | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 14 |
| 1 5. | 2026/05/27(水) | 2 時限 | 講義 | 講義室 203 | 10:25-11:35 |
| | タイトル | 衛生行政と地域保健、健康危機管理 | | | |
| | 担当者 (所属) | — — | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | B-1-7)⑦ | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 15 |

授業予定表

| | | | | | |
|---------|------------------------|--------------------------|----|---------|-------------|
| 1 6. | 2026/05/28(木) | 1 時限 | 講義 | 講義室 203 | 09:00-10:10 |
| | タイトル | 成人保健・高齢者保健 | | | |
| | 担当者（所属） | 新井 隆男 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | A-7-1) ③,B-1-6)④,B-1-8)③ | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 16 |
| 1 7. | 2026/05/28(木) | 2 時限 | 講義 | 講義室 203 | 10:25-11:35 |
| | タイトル | 主な公衆衛生学（2）感染症対策 | | | |
| | 担当者（所属） | 凧 幸世 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | B-1-8)⑩,B-1-9)① | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 17 |
| 1 8. | 2026/05/29(金) | 5 時限 | 講義 | 講義室 203 | 15:15-16:25 |
| | タイトル | 生活習慣とリスク（3）休養・心の健康 | | | |
| | 担当者（所属） | 押淵 英弘 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | B-1-5)④ | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 18 |
| 1 9. | 2026/06/01(月) | 1 時限 | 講義 | 講義室 203 | 09:00-10:10 |
| | タイトル | 医療経済 国家財政と社会保障 | | | |
| | 担当者（所属） | 中島 範宏 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | B-1-8)①⑧,B-4-1)⑧⑩ | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 19 |
| 2 0. | 2026/06/04(木) | 1 時限 | 講義 | 講義室 203 | 09:00-10:10 |
| | タイトル | 費用対効果 | | | |
| | 担当者（所属） | 新井 隆男 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | B-1-8)⑧ | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 20 |
| 2 1. | 2026/06/04(木) | 3 時限 | 講義 | 講義室 203 | 12:30-13:40 |
| | タイトル | 精神保健と社会制度 | | | |
| | 担当者（所属） | 辻 かをる | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | B-1-8)⑬ | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 21 |

| | | | | | |
|---------|------------------------|-------------------------|----|---------|-------------|
| 2 2. | 2026/06/05(金) | 5 時限 | 講義 | 講義室 203 | 15:15-16:25 |
| | タイトル | 医療リスクマネジメント (1) 医療事故 | | | |
| | 担当者 (所属) | 清水 優子 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | A-6-1)①②③④⑤⑥⑧,A-6-2)①-④ | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 22 |
| 2 3. | 2026/06/08(月) | 2 時限 | 講義 | 講義室 203 | 10:25-11:35 |
| | タイトル | 医療リスクマネジメント (2) 医療訴訟 | | | |
| | 担当者 (所属) | 清水 優子 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | A-6-1)①②③④⑤⑥⑧,A-6-2)①-④ | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 23 |
| 2 4. | 2026/06/10(水) | 2 時限 | 講義 | 講義室 203 | 10:25-11:35 |
| | タイトル | チーム医療 | | | |
| | 担当者 (所属) | 清水 優子 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | A-5-1)①-④,A-6-1)① | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 24 |
| 2 5. | 2026/06/11(木) | 1 時限 | 講義 | 講義室 203 | 09:00-10:10 |
| | タイトル | 医療の質 | | | |
| | 担当者 (所属) | 清水 優子 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | B-1-8)⑤ | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 25 |
| 2 6. | 2026/06/11(木) | 5 時限 | 講義 | 講義室 203 | 15:15-16:25 |
| | タイトル | 女性の職場環境・医師の働き方改革 | | | |
| | 担当者 (所属) | 野原 理子 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | A-6-3)⑤,B-1-6)④ | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 26 |
| 2 7. | 2026/06/12(金) | 4 時限 | 講義 | 講義室 203 | 13:55-15:05 |
| | タイトル | 世界の保健問題 | | | |
| | 担当者 (所属) | 岩下 華子 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | B-1-9)①② | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 27 |

| | | | | | |
|-----|------------------------|---|-------|---|-------------|
| 28. | 2026/07/03(金) | 1 時限 | 試験 | - | 10:00-12:00 |
| | タイトル | 社会制度と保健・医療・福祉 試験10:00-12:00(講義室202,203) | | | |
| | 担当者 (所属) | 野原 理子 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 28 |
| 29. | 2026/07/03(金) | 2 時限 | 試験 | - | 10:00-12:00 |
| | タイトル | 社会制度と保健・医療・福祉 試験10:00-12:00(講義室202,203) | | | |
| | 担当者 (所属) | 野原 理子 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 29 |
| 30. | 2026/07/31(金) | 3 時限 | 追・再試験 | - | 13:00-15:00 |
| | タイトル | 社会制度と保健・医療・福祉 追再試験13:00-15:00(講義室203) | | | |
| | 担当者 (所属) | 野原 理子 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 30 |
| 31. | 2026/07/31(金) | 4 時限 | 追・再試験 | - | 13:00-15:00 |
| | タイトル | 社会制度と保健・医療・福祉 追再試験13:00-15:00(講義室203) | | | |
| | 担当者 (所属) | 野原 理子 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 31 |

| | | | | |
|---------------------------|--|--|-----|----------------|
| 科目名 | 診療の基礎_S7 | | | |
| 科目責任者(所属) | 竹村 洋典 | | | |
| 到達目標 | <p>病院実習に出る前の準備状態を完成するため、基本的臨床技能（医療面接法、身体診察法）の手法および態度を身につけ、診断に必要な情報を収集することができ、問題志向型システムに基づいた診療録に記載することができる。また、これまで臓器系・疾患別に学修してきた内容を、症候から患者情報、身体診察、鑑別のための検査などを経て診断にいたるプロセスを習得できるようにする。Evidence-based Medicine (EBM)を理解し、エビデンスを探して吟味したうえで正しく利用できるようにする。さらに、病院内のチーム医療のあり方、リスクマネジメントについても理解し、適切に行動できるようにする。</p> | | | |
| アウトカム・ロードマップに係わる到達目標/項目番号 | <p>全身の疾患、外的要因による異常を説明できる。 疾患、症候の病態を説明できる。 診断の過程を説明し実践できる。 適切な治療法とその根拠を説明できる。 基本的医療技能を示すことができる。 医療安全に必要な配慮を示すことができる。 問題の優先度および重要度を判断できる。 事例で診療上の心理的・社会的問題を明らかにできる。 問題の科学的重要性を評価できる。 基礎・病態・臨床を結びつけて考えられる。 事例から自分の知らないことを発見できる。 未知の問題を解決する方法を見つけることができる。 事例に即した問題解決のための情報検索ができる。 適切な診療ガイドラインを選択できる。 病態を明らかにする方法を挙げることができる。 事例で診療上の問題を解決する方法・手段を明らかにできる。 適切な問題解決を行ったか検証できる。 結果の客観的評価ができる。 結果の解釈の限界を明らかにできる。 医学的情報をわかりやすく伝えることができる。 患者に分かる言葉を選択できる。 研究・実習・症例などの要約が作成できる。 POMRに基づく診療情報記録方法を説明できる。 研究・実習・症例などの背景、目的、方法、結果、考察を適切に発表できる。 医療チームでの情報共有について説明できる。 データ・結果の根拠を批判的に説明できる。 結果・情報をもとに新たな仮説を立てられる。 根拠となる文献を検索できる。 診療上のエビデンスを選ぶことができる。 医学生の医行為水準を説明できる。 医師法・医療法の概要を説明できる。</p> | I -1-A-(3-4)-② I -1-A-(3-4)-④ I -1-B-(3-4)-① I -1-B-(3-4)-② I -1-C-(3-4)-① I -1-C-(3-4)-② I -2-A-(3-4)-① I -2-A-(3-4)-② I -2-B-(3-4)-① I -2-B-(3-4)-② I -2-C-(3-4)-① I -2-C-(3-4)-② I -3-A-(3-4)-① I -3-A-(3-4)-② I -3-B-(3-4)-① I -3-B-(3-4)-② I -3-C-(3-4)-① I -3-C-(3-4)-② I -3-C-(3-4)-③ I -4-A-(3-4)-① I -4-A-(3-4)-② I -4-B-(3-4)-① I -4-B-(3-4)-② I -4-C-(3-4)-① I -4-C-(3-4)-② I -5-A-(3-4)-① I -5-A-(3-4)-② I -5-A-(3-4)-③ I -5-B-(3-4)-① I -6-A-(3-4)-① I -6-A-(3-4)-② | | |
| 学修（教育）方法 | 講義 | | | |
| 評価方法 (1)総括的評価の対象 | 定期試験（筆記試験）の点数を科目の評価点とする。 | | | |
| 評価方法 (2)評価項目 | <p>1) 頻度の多い症候から、原因となる病態・疾患を挙げて説明できる。 2) 問題志向型システム（POS）に基づいた診療録（POMR）を記載できる。 3) 患者の苦痛や気持ちに配慮した医療面接を行い、必要な病歴を収集できる。 4) 身体診察の基本を習得し実践できる。 5) EBMを理解し、エビデンスを正しく利用できる。 6) チーム医療の在り方を理解し説明できる。 7) 医療安全の重要性を理解し、リスクマネジメントについて適切に行動できる。</p> | F-1-1)～F-1-36)、F-2-1)、F-3-4) F-3-3) F-3-2) F-3-5) F-2-2) G-1-1)-(1) G-1-1)-(1) | | |
| 評価方法 (2)評価項目続き | | | | |
| 評価方法 (3)評価基準 | 上記の評価項目について定期試験にて100点満点にて点数化を行い、S.極めて良く理解している（90点以上）、A.良く理解している（80点以上90点未満）、B.理解している（70点以上80点未満）、C.ある程度は理解しているが、十分ではない（60点以上70点未満）、D.あまり理解できていない（60点未満）のいずれかとして判定し、C以上を合格とする。 | | | |
| 事前・事後学修 | 講義前にアップロードされている資料で事前学修し、講義後の講義復習テストもしくは講義者からの課題で事後学修する。 | | | |
| 伝達事項 | 診療の基礎実習では、主に技能と態度について形成的評価を随時行うので、学修のヒントにしていきたい。 | | | |
| 実務経験 | <input type="radio"/> 大学病院の総合診療・総合内科の医師としての実務経験を以て、医療現場で生かせるような教育を行う | | | |
| | No | 書籍名 | 著者名 | 上段：出版社 ISBN |

| | | | | | |
|-------------------------------------|----|---|--------------------|-----------------------|-------------------|
| 教科書・参考図書 | 1. | 『臨床医になるための必須アイテム』 | 竹村 洋典 | 下段：出版年 南江堂 2002 | 4-524-224335 |
| | 2. | 『診療ができるvol.1身体診察』 | 竹村 洋典（分担） | Medic Media 2023 | 978-4-89632-913-1 |
| | 3. | 『医療面接 学びなおし（レジデント）』 | 竹村 洋典（監修） | 医学出版 2016 | 978-4-287-81096-5 |
| | 4. | 『患者中心の医療』 | モイラ・スチュワート（山本和利監訳） | 診断と治療 2002 | 4-7878-1205-X |
| | 5. | 『身体診察のアートとサイエンス』 | サバイラ（須藤博ら訳） | 医学書院 2013 | 978-4-260-01419-9 |
| | 6. | 『マクギーの身体身体学』 | マクギー（柴田寿彦ら訳） | 診断と治療 2014 | 978-4-7878-1989-5 |
| | 7. | 『診療参加型臨床実習に参加する学生に必要なとされる技能と態度に関する学修評価項目』 | 医療系大学間共用試験実施評価機構 | 2017 | |
| 関連リンク | | | | | |
| 添付ファイル ※3つまで、1ファイルにつき5MBまで、圧縮ファイルOK | | | | | |

| 回数 | 年月日 | 時限 | 授業形式 | 教室 | 開始終了時間 |
|----|------------------------|---|------|---------|-------------|
| 1. | 2026/05/11(月) | 5時限 | 講義 | 講義室 203 | 15:15-16:25 |
| | タイトル | 症候と病態・疾患（1）尿量・排尿の異常 | | | |
| | 担当者（所属） | 平井 敏仁 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | D-8-3)-(3)①-④,F-1-28)①②③ | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | 1 | | | |
| 2. | 2026/05/12(火) | 4時限 | 講義 | 講義室 203 | 13:55-15:05 |
| | タイトル | 症候と病態・疾患（2）頭痛 | | | |
| | 担当者（所属） | 飯嶋 睦 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | D-2-3)④,F-1-33)①②③ | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | 2 | | | |
| 3. | 2026/05/13(水) | 4時限 | 講義 | 講義室 203 | 13:55-15:05 |
| | タイトル | 症候と病態・疾患（3）腰背部痛 | | | |
| | 担当者（所属） | 岡崎 賢 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | D-4-3)①③,D-4-4)-(1)①②③④⑤,D-5-3)⑨,F-1-35)①②,F-3-5)-(7)①③ | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | 3 | | | |
| 4. | 2026/05/14(木) | 2時限 | 講義 | 講義室 203 | 10:25-11:35 |
| | タイトル | 症候と病態・疾患（4）月経異常 | | | |
| | 担当者（所属） | 中林 章 | | | |

| | | | | | |
|-----|------------------------|--|----|---------|-------------|
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | D-9-2)-(2)①③,D-9-3)-(4)⑤ | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 4 |
| 5. | 2026/05/15(金) | 1 時限 | 講義 | 講義室 203 | 09:00-10:10 |
| | タイトル | 症候と病態・疾患 (5) 浮腫 | | | |
| | 担当者 (所属) | 内田 啓子 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | D-5-1)⑧⑩,D-5-3)⑨,D-8-3)②,E-2-3)⑩,E-4-2)⑦,F-1-11)①②③ | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 5 |
| 6. | 2026/05/18(月) | 6 時限 | 講義 | 講義室 203 | 16:35-17:45 |
| | タイトル | 症候と病態・疾患 (6) 吐血・下血 | | | |
| | 担当者 (所属) | 小川 真平 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | D-7-3)-(2)⑥,D-7-4)-(1)①②③,D-7-4)-(2)①,D-7-4)-(3)③④⑥⑦⑩⑬⑭,D-7-4)-(8)⑥ ⑦ | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 6 |
| 7. | 2026/05/19(火) | 1 時限 | 講義 | 講義室 203 | 09:00-10:10 |
| | タイトル | 総合診療とは | | | |
| | 担当者 (所属) | 竹村 洋典 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | A-1-2,A-3-2),A-4-1),A-4-2),A-7-1),B-1-6),B-1-7),B-1-8),B-4-1),C-5-1),C-5-2),C-5-6),C-5-7),C-5-8) | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 7 |
| 8. | 2026/05/19(火) | 2 時限 | 講義 | 講義室 203 | 10:25-11:35 |
| | タイトル | 臨床推論の極意とそれに必要な医療面接 | | | |
| | 担当者 (所属) | 竹村 洋典 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | A-2-1),A-3-2),A-4-1),A-4-2),C-5-1),C-5-2),C-5-6),C-5-7),C-5-8),F-2-1),F-3-1),F-3-2),F-3-4) | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 8 |
| 9. | 2026/05/20(水) | 2 時限 | 講義 | 講義室 203 | 10:25-11:35 |
| | タイトル | 症候と病態・疾患 (7) 発熱 | | | |
| | 担当者 (所属) | 篠原 明仁 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | F-1-1)①②③,F-2-1)①-⑧ | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 9 |
| 10. | 2026/05/20(水) | 3 時限 | 講義 | 講義室 203 | 12:30-13:40 |
| | タイトル | 症候と病態・疾患 (8) 貧血 | | | |
| | 担当者 (所属) | 石山 みどり | | | |

| | | | | | |
|---------|------------------------|---|----|---------|-------------|
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | D-1-1)①②③⑥,D-1-2)①②,D-1-3)④,D-1-4)①-⑤,F-1-26)①②③ | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 10 |
| 1 1. | 2026/05/25(月) | 2時限 | 講義 | 講義室 203 | 10:25-11:35 |
| | タイトル | 症候と病態・疾患 (9) もの忘れ | | | |
| | 担当者 (所属) | 押淵 英弘 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | D-2-4)-(2)①②,D-15-3)②,F-1-32)①②③,G-2-32) | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 11 |
| 1 2. | 2026/05/26(火) | 4時限 | 講義 | 講義室 203 | 13:55-15:05 |
| | タイトル | 症候と病態・疾患 (10) 不安・抑うつ | | | |
| | 担当者 (所属) | 押淵 英弘 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | D-15-2)①,D-15-3)⑤⑥⑦,F-1-31)①②③,G-2-31) | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 12 |
| 1 3. | 2026/05/26(火) | 5時限 | 講義 | 講義室 203 | 15:15-16:25 |
| | タイトル | 症候と病態・疾患 (11) 体重減少・体重増加 | | | |
| | 担当者 (所属) | 森本 聡 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | A-3-1)①②③⑤,C-4-3)⑥,D-5-3)④,D-12-3)-(3)①,F-1-4)①②③,F-2-1)②,F-3-1)③,F-3-2)③,F-3-5)-(2)① | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 13 |
| 1 4. | 2026/05/27(水) | 3時限 | 講義 | 講義室 203 | 12:30-13:40 |
| | タイトル | 症候と病態・疾患 (12) リンパ節腫脹 | | | |
| | 担当者 (所属) | 田中 紀奈 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | D-1-3)⑥,D-1-4)-(4)⑧,F-1-27)①②③ | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 14 |
| 1 5. | 2026/05/28(木) | 5時限 | 講義 | 講義室 203 | 15:15-16:25 |
| | タイトル | 症候と病態・疾患 (13) 便秘・下痢 | | | |
| | 担当者 (所属) | 谷 公孝 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | D-7-3)-(2)⑥,D-7-4)-(1)①②③,D-7-4)-(2)①,D-7-4)-(3)③④⑥⑦⑩⑬⑭,D-7-4)-(8)⑥⑦ | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 15 |
| 1 6. | 2026/05/29(金) | 6時限 | 講義 | 講義室 203 | 16:35-17:45 |
| | タイトル | 二つの頭で考えるー患者中心の医療ー | | | |
| | 担当者 (所属) | 竹村 洋典 | | | |

| | | | | | |
|---------|------------------------|--|----|---------|-------------|
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | A-1-2,A-3-2),A-4-1),A-4-2),C-5-1),C-5-2),C-5-6),C-5-7),C-5-8),F-3-1),F-3-2),F-3-4) | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 16 |
| 1 7. | 2026/06/01(月) | 2 時限 | 講義 | 講義室 203 | 10:25-11:35 |
| | タイトル | 症候と病態・疾患 (14) 全身倦怠感 | | | |
| | 担当者 (所属) | 関口 治樹 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | D-1-3)②,F-1-2)①② | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 17 |
| 1 8. | 2026/06/01(月) | 4 時限 | 講義 | 講義室 203 | 13:55-15:05 |
| | タイトル | 症候と病態・疾患 (15) 腹痛 | | | |
| | 担当者 (所属) | 有泉 俊一 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | F-1-20)①②③,F-1-25)①②③ | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 18 |
| 1 9. | 2026/06/02(火) | 3 時限 | 講義 | 講義室 203 | 12:30-13:40 |
| | タイトル | 症候と病態・疾患 (16) 悪心・嘔吐 | | | |
| | 担当者 (所属) | 中村 真一 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | D-7-3)-(2)③,D-10-2)②,D-13-3)-(2)③,E-2-3)⑧,E-5-2)⑩,F-1-21)①②③ | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 19 |
| 2 0. | 2026/06/02(火) | 4 時限 | 講義 | 講義室 203 | 13:55-15:05 |
| | タイトル | 症候と病態・疾患 (17) 黄疸 | | | |
| | 担当者 (所属) | 有泉 俊一 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | F-1-24)①②③,G-2-24) | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 20 |
| 2 1. | 2026/06/03(水) | 1 時限 | 講義 | 講義室 203 | 09:00-10:10 |
| | タイトル | 症候と病態・疾患 (18) けいれん | | | |
| | 担当者 (所属) | 丸山 健二 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | D-2-3)① | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 21 |
| 2 2. | 2026/06/05(金) | 4 時限 | 講義 | 講義室 203 | 13:55-15:05 |
| | タイトル | 家族志向のプライマリ・ケア、地域志向のプライマリ・ケア | | | |
| | 担当者 (所属) | 竹村 洋典 | | | |

授業予定表

| | | | | | |
|---------|------------------------|---|----|---------|-------------|
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | B-1-6),B-1-7),B-1-8),B-4-1),,C-5-1),C-5-2),C-5-6),C-5-7),C-5-8),F-2-15) | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 22 |
| 2 3. | 2026/06/08(月) | 1 時限 | 講義 | 講義室 203 | 09:00-10:10 |
| | タイトル | 症候と病態・疾患 (19) 食思 (欲) 不振 | | | |
| | 担当者 (所属) | 鳥居 信之 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | D-7-3)④,F-1-3)①② | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 23 |
| 2 4. | 2026/06/08(月) | 5 時限 | 講義 | 講義室 203 | 15:15-16:25 |
| | タイトル | 症候と病態・疾患 (20) 脱水 | | | |
| | 担当者 (所属) | 小倉 真梨絵 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | D-8-3)-(3)① | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 24 |
| 2 5. | 2026/06/10(水) | 3 時限 | 講義 | 講義室 203 | 12:30-13:40 |
| | タイトル | 症候と病態・疾患 (21) ショック | | | |
| | 担当者 (所属) | 並木 みずほ | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | C-4-4)①-⑤,F-1-5)①②③ | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 25 |
| 2 6. | 2026/06/11(木) | 4 時限 | 講義 | 講義室 203 | 13:55-15:05 |
| | タイトル | 症候と病態・疾患 (23) 血痰・喀血 | | | |
| | 担当者 (所属) | 八木 理充 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | D-6-3)-(2)⑤ | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 27 |
| 2 7. | 2026/06/15(月) | 1 時限 | 講義 | 講義室 203 | 09:00-10:10 |
| | タイトル | 症候と病態・疾患 (24) 呼吸困難 | | | |
| | 担当者 (所属) | 八木 理充 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | D-6-3)-(2)③ | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 28 |
| 2 8. | 2026/06/15(月) | 3 時限 | 講義 | 講義室 203 | 12:30-13:40 |
| | タイトル | 症候と病態・疾患 (25) 運動麻痺・筋力低下 | | | |
| | 担当者 (所属) | 池口 亮太郎 | | | |

| | | | | | |
|---------|------------------------|--|----|---------|-------------|
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | D-2-1)-(1)①,D-2-1)-(2)①,D-2-1)-(5)①,D-2-3)⑤ | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 29 |
| 2 9. | 2026/06/15(月) | 5時限 | 講義 | 講義室 203 | 15:15-16:25 |
| | タイトル | 症候と病態・疾患 (26) 発疹 | | | |
| | 担当者 (所属) | 福屋 泰子 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | D-3-1)①,D-3-3)①,D-3-4)-(1)①,D-3-4)-(2)①,D-3-4)-(4)①,D-3-4)-(7)①②⑤,E-4-3)- (3)①,E-4-3)-(4)①②,E-4-3)-(5)② | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 30 |
| 3 0. | 2026/06/16(火) | 4時限 | 講義 | 講義室 203 | 13:55-15:05 |
| | タイトル | 症候と病態・疾患 (27) 外傷・熱傷 | | | |
| | 担当者 (所属) | 森 周介 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | D-8-3)③,D-9-3)③,F-1-29)①②③ | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 31 |
| 3 1. | 2026/06/16(火) | 5時限 | 講義 | 講義室 203 | 15:15-16:25 |
| | タイトル | 症候と病態・疾患 (28) 意識障害・失神 | | | |
| | 担当者 (所属) | 藤堂 謙一 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | D-2-4)-(7)① | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 32 |
| 3 2. | 2026/06/17(水) | 2時限 | 講義 | 講義室 203 | 10:25-11:35 |
| | タイトル | 症候と病態・疾患 (29) 胸痛 | | | |
| | 担当者 (所属) | 大槻 尚男 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | D-5-3),E-2-3),F-1-16),G-2-16) | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 33 |
| 3 3. | 2026/06/17(水) | 3時限 | 講義 | 講義室 203 | 12:30-13:40 |
| | タイトル | 症候と病態・疾患 (30) 動悸 | | | |
| | 担当者 (所属) | 柳下 大悟 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | D-5-3)③ | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 34 |
| 3 4. | 2026/06/18(木) | 3時限 | 講義 | 講義室 203 | 12:30-13:40 |
| | タイトル | 症候と病態・疾患 (31) 関節痛・関節腫脹 | | | |
| | 担当者 (所属) | 川口 鎮司 | | | |

| | | | | | |
|---------|------------------------|--|----|---------|-------------|
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | E-4-2)-⑩,D-4-3)-② | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 35 |
| 3 5. | 2026/06/19(金) | 3時限 | 講義 | 講義室 203 | 12:30-13:40 |
| | タイトル | 腰背部痛を含めたプライマリケアで遭遇する疼痛 | | | |
| | 担当者(所属) | 竹村 洋典 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | D-4-3)③,D-5-3)⑩,E-2-3)②,F-1-35)② | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 36 |
| 3 6. | 2026/06/19(金) | 4時限 | 講義 | 講義室 203 | 13:55-15:05 |
| | タイトル | 症候と病態・疾患(32) 心停止 | | | |
| | 担当者(所属) | 嵐 弘之 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | D-6-4)-(1)① | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 37 |
| 3 7. | 2026/06/22(月) | 1時限 | 講義 | 講義室 203 | 09:00-10:10 |
| | タイトル | 症候と病態・疾患(22) 腹部膨隆(腹水を含む)・腫瘍 | | | |
| | 担当者(所属) | 腰野 蔵人 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | D-7-3)-(1)①②,D-7-3)-(2)⑦,D-7-4)-(3)②,D-7-4)-(8)⑥⑦,D-9-3)-(4)③,D-10-1)①② ③④,D-10-2)③ | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 26 |
| 3 8. | 2026/06/22(月) | 5時限 | 講義 | 講義室 203 | 15:15-16:25 |
| | タイトル | 症候と病態・疾患(33) 咳・痰 | | | |
| | 担当者(所属) | 八木 理充 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | D-6-3)-(2)④,F-1-13)①②③ | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 38 |
| 3 9. | 2026/06/23(火) | 2時限 | 講義 | 講義室 203 | 10:25-11:35 |
| | タイトル | 症候と病態・疾患(34) 血尿・タンパク尿 | | | |
| | 担当者(所属) | 内田 啓子 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | D-8-3)③,D-9-3)③,F-1-29)①②③ | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 39 |
| 4 0. | 2026/06/23(火) | 4時限 | 講義 | 講義室 203 | 13:55-15:05 |
| | タイトル | 症候と病態・疾患(35) めまい | | | |
| | 担当者(所属) | 飯嶋 睦 | | | |

| | | | | | |
|---------|------------------------|---------------------------------|-------|---------|-------------|
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | D-2-3)③,F-1-9)①②③ | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 40 |
| 4 1. | 2026/06/25(木) | 5時限 | 講義 | 講義室 203 | 15:15-16:25 |
| | タイトル | 症候と病態・疾患 (36) 胸水 | | | |
| | 担当者 (所属) | 赤羽 朋博 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | D-6-3)-(2)① | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 41 |
| 4 2. | 2026/07/08(水) | 1時限 | 試験 | - | 10:00-12:00 |
| | タイトル | 診療の基礎 試験10:00-12:00(講義室202,203) | | | |
| | 担当者 (所属) | 竹村 洋典 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 42 |
| 4 3. | 2026/07/08(水) | 2時限 | 試験 | - | 10:00-12:00 |
| | タイトル | 診療の基礎 試験10:00-12:00(講義室202,203) | | | |
| | 担当者 (所属) | 竹村 洋典 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 43 |
| 4 4. | 2026/07/31(金) | 1時限 | 追・再試験 | - | 10:00-12:00 |
| | タイトル | 診療の基礎 追再試験10:00-12:00(講義室203) | | | |
| | 担当者 (所属) | 竹村 洋典 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 44 |
| 4 5. | 2026/07/31(金) | 2時限 | 追・再試験 | - | 10:00-12:00 |
| | タイトル | 診療の基礎 追再試験10:00-12:00(講義室203) | | | |
| | 担当者 (所属) | 竹村 洋典 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 45 |

| | | | | | |
|---------------------------|--|---|-----------------------|---|-------------------|
| 科目名 | 基本的治療法 | | | | |
| 科目責任者(所属) | 種田 積子 | | | | |
| 到達目標 | <p>基本的な治療法である手術療法、化学療法、放射線療法、支持・緩和療法などについて、腫瘍を主な対象として学修し、さらに、輸血・血液製剤や医療機器にその知識を広めて行くようにカリキュラムが組まれている。また、腫瘍について、その病理病態から発生要因、分子生物学的概念を整理して学び、治療法との関連を理解しやすいように工夫されている。</p> <p>腫瘍の基本的な事項を再確認し、各種の治療法に対する基本的な考え方を習得することにより、病院実習で接する具体的な治療法を理解することを目標とする。</p> | | | | |
| アウトカム・ロードマップに係わる到達目標/項目番号 | 適切な治療法とその根拠を説明できる。 | | I -1-B-(3-4)-② | | |
| 学修(教育)方法 | 講義 | | | | |
| 評価方法(1)総括的評価の対象 | 定期試験(筆記試験)の点数を科目の評価点とする。 | | | | |
| 評価方法(2)評価項目 | 1)腫瘍の定義と病態を説明できる。 2)腫瘍の症候を説明できる 3)腫瘍のグレード、ステージを概説できる 4)腫瘍の検査所見を説明できる。 5)腫瘍の画像所見や診断を説明できる。 6)腫瘍の病理所見や診断を説明できる。 7)腫瘍の集学的治療を概説できる。 8)腫瘍の手術療法を概説できる。 9)腫瘍の放射線療法を概説できる。 10)腫瘍の薬物療法(殺細胞性抗がん薬、分子標的薬、免疫チェックポイント阻害薬)を概説できる。 11)腫瘍の生物学的療法を概説できる。 12)腫瘍における支持療法を概説できる。 13)腫瘍における緩和ケアを概説できる。 | E-3-1)① E-3-1)② E-3-1)③ E-3-2)① E-3-2)② E-3-2)③ E-3-3)① E-3-3)② E-3-3)③ E-3-3)④ E-3-3)⑤ E-3-3)⑥ E-3-3)⑦ | | | |
| 評価方法(2)評価項目続き | | | | | |
| 評価方法(3)評価基準 | 上記の評価項目について定期試験にて100点満点にて点数化を行い、S.極めて良く理解している(90点以上)、A.良く理解している(80点以上90点未満)、B.理解している(70点以上80点未満)、C.ある程度は理解しているが、十分ではない(60点以上70点未満)、D.あまり理解できていない(60点未満)のいずれかとして判定し、C以上を合格とする。 | | | | |
| 事前・事後学修 | 講義前にアップロードされている資料で事前学修し、講義後の講義復習テストもしくは講義者からの課題で事後学修する。 | | | | |
| 伝達事項 | - | | | | |
| 実務経験 | ○ 大学病院の病理診断学の医師としての実務経験を以て、医療現場で生かせるような教育を行う | | | | |
| | No | 書籍名 | 著者名 | 上段：出版社 下段：出版年 | ISBN |
| | 1. | 『放射線治療物理学』 | 荒木不次男編著 日本医学物理学会監修 | 国際文献社 2016 | 978490259 0562 |
| | 2. | 『リエゾン精神医学とその治療学(新世紀の精神科治療 4)』 | 山脇成人担当編集 | 中山書店 2009 | 452168021 6 |
| | 3. | 『Image-guided IMRT : concepts and clinical applications』 | Bortfeld, T | Springer 2005 | 978354020 5111 |
| | 4. | 『Late effects of cancer treatment on normal tissues』 | Rubin, P | Springer 2008 | 978354049 0692 |
| | 5. | 『精神腫瘍学クイックリファレンス』 | 小川朝生,内富庸介編 | 創造出版 2009 | |
| | 6. | 『Technical Manual』 | Mark K. Fung | American Association of Blood Banks 2005 | 978156395 8885 |
| | 7. | 『最新リハビリテーション医学』 | 石神重信[ほか]編集 | 医歯薬出版 2005 | 426321284 3 |
| | 8. | 『現代リハビリテーション医学』 | 千野直一編 | 金原出版 2009 | 978430725 1426 |
| | 9. | 『イラストで見る医療機器早わかりガイド』 | 小野哲章, 廣瀬稔著 | 学研メディカル秀潤社 2010 | 978478090 8237 |
| | 10. | 『Robbins and Kumar Basic Pathology』 | Vinay Kumar et al. | Elsevier 2023 | 978032379 0185 |

教科書・参考図書

| | | | | |
|-----|---|--|---------------------------------------|-----------------------|
| 11. | 『正常画像と比べてわかる病理組織アトラス（第3版）マクロとミクロの対応で捉える病態』 | 下正宗、長嶋洋治 編集 | 羊土社 2024 | 978475812 4089 |
| 12. | 『「がんをくすりで治す」とは? : 役に立つ薬理学（朝日選書 813）』 | 丸義朗著 | 朝日新聞社 2007 | 402259913 1 |
| 13. | 『実験医学：癌のシグナル伝達が変わる』 | 山本雅, 仙波憲太郎編集 | 羊土社 2005 | 489706967 X |
| 14. | 『実験医学：癌と微小循環』 | | 羊土社 2009 | |
| 15. | 『がん研究のいま 1：発がんの分子機構と防御』 | 笹月健彦, 野田哲生編 | 東京大学出版会 2006 | 413064241 3 |
| 16. | 『がん研究のいま 2：がん細胞の生物学』 | 高井義美, 秋山徹編 | 東京大学出版会 2006 | 413064242 1 |
| 17. | 『がん研究のいま 3：がんの診断と治療』 | 中村祐輔, 稲澤譲治編 | 東京大学出版会 2006 | 413064243 X |
| 18. | 『がん研究のいま 4：がんの疫学』 | 田島和雄, 古野純典編 | 東京大学出版会 2006 | 413064244 8 |
| 19. | 『放射線基礎医学 第12版』 | 青山喬, 丹羽太貴編著 | 金芳堂 2013 | 978476531 5593 |
| 20. | 『臨床・病理脳腫瘍取扱い規約 第4版』 | 日本脳神経外科学会, 日本病理学会編 | 金原出版 2018 | 978430720 3852 |
| 21. | 『がん・放射線療法2023』 | 大西洋, 唐澤久美子, 西尾禎治, 石川仁編著 | 学研 2023 | - |
| 22. | 『がんをどう考えるか：放射線治療医からの提言』 | 三橋紀夫 | 新潮社 2009 | 978410610 2950 |
| 23. | 『放射線と健康』 | 舘野之男著 | 岩波書店 2001 | 400430745 7 |
| 24. | 『Perez & Brady's Principles and Practice of Radiation Oncology』 | Edward C. Halperin, David E Wazer, Carlos A Perez, Luther W. Brady | Lippincott Williams & Wilkins 2019 | 978-1-496 3-8679-3 |
| 25. | 『Gunderson and Tepper's Clinical Radiation Oncology』 | Joel E. Tepper MD | Elsevier 2021 | 978-0-323- 67246-7 |
| 26. | 『Radiobiology for the Radiologist』 | Hall, EJ | Lippincott Williams & Wilkins 2012 | 978160831 1934 |
| 27. | 『Cancer : principles and practice of oncology』 | Vincent T. DeVita, Jr., Theodore S. Lawrence, Steven A. Rosenberg | Lippincott Williams & Wilkins 2019 | 978-1-496 3-9463-7 |
| 28. | 『放射線治療計画ガイドライン2020年版』 | 日本放射線腫瘍学会編 | 金原出版 2020 | 978-4-307- 07116-1 |
| 29. | 『やさしくわかる放射線治療学』 | 日本放射線腫瘍学会編 | 学研メディカル秀潤社 2018 | 4-7809-09 75-9 |
| 30. | 『スイスイわかる放射線治療物理学』 | 唐澤久美子 [ほか] 編集 | 学研メディカル秀潤社 2021 | 4-7809-09 92-9 |
| 31. | 『がん転移：臨床と研究の羅針盤』 | 丸義朗監修 | 秀潤社 2010 | 978478090 8268 |
| 32. | 『NEW予防医学・公衆衛生学（Nankodo's essential well-advanced series）』 | 岸玲子 [ほか] 編 | 南江堂 2012 | 978452426 3158 |
| 33. | 『三輪血液病学』 | 浅野茂隆, 池田康夫, 内山卓監修; 大野仁嗣 [ほか] 編集 | 文光堂 2005 | 483061419 6 |
| 34. | 『Mollison's Blood Transfusion in Clinical Medicine』 | Harvey G. Klein, David J. Anstee | Wiley-Blackwell 2014 | 978140519 9407 |
| 35. | 『人工臓器イラストレイテッド』 | 日本人工臓器学会編集 | はる書房 2007 | 978489984 0800 |
| 36. | 『人工臓器・再生医療の最先端』 | 西田博 [ほか] 編集委員; 許俊鋭, 斎藤明, 赤池敏宏編集主幹 | 寺田国際事務所/先端医療技術研究所 2005 | 978492508 9456 |
| 37. | 『人工臓器は、いま：暮らしのなかにある最先端医療の姿』 | 日本人工臓器学会編 | はる書房 2003 | 489984045 4 |
| 38. | 『MEの基礎知識と安全管理』 | 生体医工学会ME技術教育委員会編 | 南江堂 2014 | 978452426 9594 |
| 39. | 『臨床工学講座（シリーズ）』 | 日本臨床工学技士教育施設協議会編 | 医歯薬出版 2008- | |
| 40. | 『核医学検査技術学』 | 佐々木雅之, 桑原康雄 編 | 南山堂 2015 | 978452527 9431 |

| | | | | |
|-------------------------------------|----------------------------------|-----------------------|---------------|-------------------|
| 41. | 『専門家をめざす人のための緩和医療学改訂第2版』 | 日本緩和医療学会 編集 | 南江堂 2019 | 978-4-524-24165-1 |
| 42. | 『核医学安全基礎読本③』 | 渡邊直行 | 医療科学社 2019 | 978-4860031145 |
| 43. | 『がん疼痛の薬物療法に関するガイドライン 2020年版 第3版』 | 日本緩和医療学会 編集 | 金原出版 2020 | 978-4-307-10202-5 |
| 44. | 『新臨床腫瘍学改訂第6版 がん薬物療法専門医のために』 | 日本臨床腫瘍学会 編集 | 金原出版 2021 | 978-4-524-22739-6 |
| 45. | 『がん診療レジデントマニュアル 第7版』 | 国立がん研究センター-内科レジデント 編集 | 医学書院 2022 | 978-4-260-04976-4 |
| 関連リンク | | | | |
| 添付ファイル ※3つまで、1ファイルにつき5MBまで、圧縮ファイルOK | | | | |

| 回数 | 年月日 | 時限 | 授業形式 | 教室 | 開始終了時間 |
|----|------------------------|---------------------------|------|---------|-------------|
| 1. | 2026/05/11(月) | 6時限 | 講義 | 講義室 203 | 16:35-17:45 |
| | タイトル | がん薬物療法の基本理論 | | | |
| | 担当者(所属) | 淵脇 麻紀子 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | C-4-6)①-⑥ | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | 1 | | | |
| 2. | 2026/05/14(木) | 1時限 | 講義 | 講義室 203 | 09:00-10:10 |
| | タイトル | がん疫学と薬事 | | | |
| | 担当者(所属) | 山口 智宏 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | B-1-4)⑤ | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | 2 | | | |
| 3. | 2026/05/19(火) | 4時限 | 講義 | 講義室 203 | 13:55-15:05 |
| | タイトル | 放射線療法 | | | |
| | 担当者(所属) | 川井 佐和 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | E-6-1)④⑥,E-6-2)③,F-2-5)③④ | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | 3 | | | |
| 4. | 2026/05/21(木) | 3時限 | 講義 | 講義室 203 | 12:30-13:40 |
| | タイトル | 心理的支持と精神症状への対応 | | | |
| | 担当者(所属) | 押淵 英弘 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | E-3-3)⑥⑦,F-2-16)①②③⑥ | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | 4 | | | |
| 5. | 2026/05/25(月) | 6時限 | 講義 | 講義室 203 | 16:35-17:45 |

| | | | | | |
|-----|------------------------|---|----|---------|-------------|
| | タイトル | 癌治療に必要な分子生物学の基本 | | | |
| | 担当者（所属） | 梶 健二郎 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | C-4-6)①②⑤⑥,D-1-4)-(4)③⑨,E-3-3)④,F-2-8)⑥⑩ | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 5 |
| 6. | 2026/05/28(木) | 4 時限 | 講義 | 講義室 203 | 13:55-15:05 |
| | タイトル | RI内用療法 | | | |
| | 担当者（所属） | 坂井 修二 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | E-3-3)③,E-6-2)②③④⑤,F-2-5)①②③④ | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 6 |
| 7. | 2026/06/01(月) | 5 時限 | 講義 | 講義室 203 | 15:15-16:25 |
| | タイトル | 手術療法（免疫療法を含む） | | | |
| | 担当者（所属） | 前田 新介 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | C-3-2)-(4),D-7-4)-(8)③⑤⑥,E-3-3)①② | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 7 |
| 8. | 2026/06/05(金) | 3 時限 | 講義 | 講義室 203 | 12:30-13:40 |
| | タイトル | 栄養の基本と病態栄養 | | | |
| | 担当者（所属） | 小木曾 智美 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | B-1-5)②③,D-7-1)①-⑮ | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 8 |
| 9. | 2026/06/09(火) | 3 時限 | 講義 | 講義室 203 | 12:30-13:40 |
| | タイトル | リハビリの目的・方法、ADL、装具 | | | |
| | 担当者（所属） | 若林 秀隆 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | D-2-4)-(1),D-4-4)-(1)⑮,E-8-1)④⑥⑩,F-2-14)①-⑦ | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 9 |
| 10. | 2026/06/12(金) | 5 時限 | 講義 | 講義室 203 | 15:15-16:25 |
| | タイトル | 集学的治療、癌治療の現状 | | | |
| | 担当者（所属） | 川井 佐和 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | E-6-1)④⑥,E-6-2)③,F-2-5)③④ | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 10 |

授業予定表

| | | | | | |
|---------|------------------------|---|----|---------|-------------|
| 1 1. | 2026/06/15(月) | 2 時限 | 講義 | 講義室 203 | 10:25-11:35 |
| | タイトル | 腫瘍の病理・病態と発生要因 | | | |
| | 担当者 (所属) | 長嶋 洋治 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | E-3-1)①②③,E-3-2)①③,C-4-6)①②③ | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 11 |
| 1 2. | 2026/06/16(火) | 3 時限 | 講義 | 講義室 203 | 12:30-13:40 |
| | タイトル | 分子標的薬・ゲノム医療 | | | |
| | 担当者 (所属) | 近藤 俊輔 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | C-4-6)⑤ | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 12 |
| 1 3. | 2026/06/17(水) | 1 時限 | 講義 | 講義室 203 | 09:00-10:10 |
| | タイトル | 腫瘍の臨床的診断、緩和療法 | | | |
| | 担当者 (所属) | 番場 嘉子 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | A-1-2)①-④,C-4-6)①-⑥,E-3-3)①-⑦,E-3-4)①②③ | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 13 |
| 1 4. | 2026/06/18(木) | 2 時限 | 講義 | 講義室 203 | 10:25-11:35 |
| | タイトル | がん免疫療法・治療開発 | | | |
| | 担当者 (所属) | 淵脇 麻紀子 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | F-2-16)①-⑥ | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 14 |
| 1 5. | 2026/06/18(木) | 4 時限 | 講義 | 講義室 203 | 13:55-15:05 |
| | タイトル | 自己血輸血、成分採血、臓器移植と輸血 | | | |
| | 担当者 (所属) | 小林 博人 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | F-2-13)⑤-⑧ | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 15 |
| 1 6. | 2026/06/19(金) | 5 時限 | 講義 | 講義室 203 | 15:15-16:25 |
| | タイトル | 血液製剤の取り扱い、適正輸血、輸血副作用 | | | |
| | 担当者 (所属) | 山本 圭子 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | F-2-13)①-④ | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 16 |

| | | | | | |
|---------|------------------------|----------------------------------|----|---------|-------------|
| 1 7. | 2026/06/22(月) | 2 時限 | 講義 | 講義室 203 | 10:25-11:35 |
| | タイトル | 栄養評価と栄養管理 | | | |
| | 担当者 (所属) | 小川 真平 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | F-2-11)①②③④ | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 17 |
| 1 8. | 2026/06/23(火) | 1 時限 | 講義 | 講義室 203 | 09:00-10:10 |
| | タイトル | 緩和ケア・支持療法 | | | |
| | 担当者 (所属) | 近藤 俊輔 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | F-2-16)①②③ | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 18 |
| 1 9. | 2026/06/24(水) | 1 時限 | 講義 | 講義室 203 | 09:00-10:10 |
| | タイトル | 医療機器の種類と原理 | | | |
| | 担当者 (所属) | 原 伸太郎 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | F-2-12)① | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 19 |
| 2 0. | 2026/06/24(水) | 2 時限 | 講義 | 講義室 203 | 10:25-11:35 |
| | タイトル | 人工臓器の種類と原理 | | | |
| | 担当者 (所属) | 原 伸太郎 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | F-2-12)② | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 20 |
| 2 1. | 2026/07/07(火) | 1 時限 | 試験 | - | 10:00-11:30 |
| | タイトル | 基本的治療法 試験10:00-11:30(講義室202,203) | | | |
| | 担当者 (所属) | 種田 積子 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 21 |
| 2 2. | 2026/07/07(火) | 2 時限 | 試験 | - | 10:00-11:30 |
| | タイトル | 基本的治療法 試験10:00-11:30(講義室202,203) | | | |
| | 担当者 (所属) | 種田 積子 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 22 |

| | | | | | |
|---------|------------------------|--------------------------------|-------|---|-------------|
| 2 3. | 2026/07/29(水) | 1 時限 | 追・再試験 | - | 10:00-11:30 |
| | タイトル | 基本的治療法 追再試験10:00-11:30(講義室203) | | | |
| | 担当者(所属) | 種田 積子 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 23 |
| 2 4. | 2026/07/29(水) | 2 時限 | 追・再試験 | - | 10:00-11:30 |
| | タイトル | 基本的治療法 追再試験10:00-11:30(講義室203) | | | |
| | 担当者(所属) | 種田 積子 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 24 |

| | | |
|---------------------------|--|--|
| 科目名 | 麻酔・周術期管理 | |
| 科目責任者(所属) | 長坂 安子 | |
| 到達目標 | <p>痛みなどの侵害刺激は、それぞれの受容器から神経を上行し、最終的には大脳で痛みとして認知される。麻酔の機序は十分明らかにされていないが、局所麻酔薬は神経内に入り込み膜の内側からNa⁺チャンネルを閉じることによって活動電位を生じなくし痛みの伝導を遮断する。一方全身麻酔薬は、痛みの認知機構に影響を与え、痛みを感じさせなくさせる、あるいは痛みの記憶を消失させるのが主たる作用であると考えられている。いずれにしても麻酔科学の大きな部分が、痛みの調節にかかわっていることから麻酔科学の習得には、神経学の知識が要求される。麻酔はまた自律神経系にも大きな影響をおよぼす。麻酔時の循環系や呼吸系の変動は自律神経を介して生ずることが多く、他の要因も含めた総合内科的診かたが求められる。</p> <p>麻酔時に使用される筋弛緩薬は、運動神経ニューロンの終末と筋肉との間でのいわゆる神経-筋遮断作用により、筋の弛緩を惹起する。そしてこの神経筋遮断の現象を理解するためには、神経の解剖のみならず、神経終末部から放出される化学伝達物質の受容体などに関する神経化学や、神経電気生理学や筋の生体化学などの知識も必要となる。</p> <p>このように、麻酔は循環・呼吸・代謝に多彩な影響を与える。これらを理解することは、麻酔科学を学ぶ上で重要である。そしてこの理解のためには循環学、代謝学を始め関連する領域の基礎的知識と、麻酔薬の薬理作用、そして救急蘇生を含めた総合的な麻酔法を理解することが求められる。最終目標としては侵害刺激やストレスがいかんにかんにかん生体に影響を及ぼすのかについて知識を深めることを通し、安全な麻酔はどのようにして得られるのかを理解することを目標とする。ヒトの全身を医学的に把握する全身管理学としての麻酔科学を存分に極めて頂きたい。</p> | |
| アウトカム・ロードマップに係わる到達目標/項目番号 | <p>人体の臓器・器官系の機能と構造、正常と異常を説明できる。 全身的疾患、外的要因による異常を説明できる。 受精から出生、成長と発育、成熟と加齢の正常と異常を説明できる。 疾患、症候の病態を説明できる。 データ・結果の根拠を批判的に説明できる。 結果・情報をもとに新たな仮説を立てられる。 根拠となる文献を検索できる。 診断の過程を説明し実践できる。 病態に対する適切な治療法とその根拠を説明できる。 疾病の予防と健康維持、公衆衛生について説明できる。 事例に即した問題解決のための情報検索ができる。 適切な診療ガイドラインを選択できる 診療上のエビデンスを選ぶことができる。 医学的情報をわかりやすく伝えることができる。 患者に分かる言葉を選択できる。 研究・実習・症例などの要約が作成できる。 POMRに基づく診療情報記録方法を説明できる。 研究・実習・症例などの背景、目的、方法、結果、考察を適切に発表できる。 医療チームでの情報共有について説明できる。 問題の優先度および重要度を判断できる。 診療上の心理的・社会的問題を明らかにできる。 問題の科学的な重要性を評価できる。 基礎・病態・臨床を結びつけて考えられる。 医師として必要な知識、技能、態度を述べることができる。 医学生生の医行為水準を説明できる。 医師法・医療法の概要を説明できる。 医学における倫理の概念を説明できる。 倫理的問題を明らかにできる。 患者情報が含まれる文書・電子媒体を適切に使用できる。 病態を明らかにする方法を挙げることができる。 事例で診療上の問題を解決する方法・手段を明らかにできる。 適切な問題解決を行ったか検証できる。 結果の客観的評価ができる。 結果の解釈の限界を明らかにできる。 事例から自分の知らないことを発見できる。 未知の問題を解決する方法を見つけることができる。</p> | <p>I -1-A-(3-4)-①, I -1-A-(3-4)-②, I -1-A-(3-4)-③, I -1-A-(3-4)-④, I -5-A-(3-4)-①, I -5-A-(3-4)-②, I -5-A-(3-4)-③</p> <p>I -1-B-(3-4)-①, I -1-B-(3-4)-②, I -1-B-(3-4)-③, I -3-A-(3-4)-①, I -3-A-(3-4)-②, I -5-B-(3-4)-①</p> <p>I -4-A-(3-4)-①, I -4-A-(3-4)-②, I -4-B-(3-4)-①, I -4-B-(3-4)-②, I -4-C-(3-4)-①, I -4-C-(3-4)-②</p> <p>I -2-A-(3-4)-①, I -2-A-(3-4)-②, I -2-B-(3-4)-①, I -2-B-(3-4)-②</p> <p>II -2-A-(3-4)-②</p> <p>I -6-A-(3-4)-①, I -6-A-(3-4)-②, I -6-B-(3-4)-①, I -6-B-(3-4)-②, I -6-B-(3-4)-③</p> <p>I -3-B-(3-4)-①, I -3-B-(3-4)-②, I -3-C-(3-4)-①, I -3-C-(3-4)-②, I -3-C-(3-4)-③</p> <p>I -2-C-(3-4)-①, I -2-C-(3-4)-②</p> |
| 学修(教育)方法 | 講義 | |
| 評価方法 (1)総括的評価の対象 | 定期試験(筆記試験)の点数を80%、講義の出席や態度を20%で評価する。ただし、定期試験を受けるには当該科目の授業に3分の2以上の出席が定期試験の受験資格として必要である。 | |
| 評価方法 (2)評価項目 | <p>1) 麻酔の概念、種類と麻酔時の生体反応を説明できる。 2) 麻酔管理を安全に行うための術前評価と呼吸管理を概説できる。 3) 麻酔薬と筋弛緩薬の種類と使用上の原則を説明できる。 4) 吸入麻酔と静脈麻酔の適応、禁忌、方法、事故と合併症を概説できる。 5) マスク喚起の気管挿管を含む各種の気道確保法を概説できる。 6) 局所麻酔、末梢神経ブロック、神経叢ブロック、脊髄くも膜下麻酔、硬膜外麻酔の適応、禁忌と合併症を概説できる。 7) 安全な麻酔のためのモニタリングの方法、重要な異常所見と対処法を概説できる。 8) 悪性高熱症や神経筋疾患患者における麻酔管理上の注意点を概説できる。</p> | <p>CS-02-04-28 CS-02-04-29 CS-02-04-31 CS-02-04-32 CS-03-03-03 CS-02-04-33 CS-02-04-28 CS-02-04-28 CS-02-04-32</p> |

| 評価方法 (2)評価項目続き | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------------------------------------|---|---|---|---|------------------|-----------|---|--|--|---|---------------|----|----------------------------|---|------------------|---------------|----|-----------|--|--------------|---------------|----|----------------------------|--------|-----------------------------|---------------|----|----------------------|------------------------|-------------|---------------|----|------------------------------|---------------|------------------------|---------------|----|-----------|---------------|---------------|---------------|
| 評価方法 (3)評価基準 | 上記の評価項目について定期試験にて100点満点にて点数化を行い、S.極めて良く理解している(90点以上)、A.良く理解している(80点以上90点未満)、B.理解している(70点以上80点未満)、C.ある程度は理解しているが、十分ではない(60点以上70点未満)、D.あまり理解できていない(60点未満)のいずれかとして判定し、C以上を合格とする。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事前・事後学修 | 講義前にアップロードされている資料で事前学修し、講義後の講義復習テストもしくは講義者からの課題で事後学修する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 伝達事項 | 形成的評価(最終成績には使用しないが、学生の成長のためのフィードバックとしての評価)は知識・技能・態度全般にわたって実習(レポート含む)の際に随時行うので、学修のヒントにして頂きたい。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 実務経験 | <input type="checkbox"/> 大学病院の麻酔科の医師としての実務経験を以て、医療現場で生かせるような教育を行う | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 教科書・参考図書 | <table border="1"> <thead> <tr> <th>No</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>上段：出版社 下段：出版年</th> <th>ISBN</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1.</td> <td>『Miller's Anesthesia, 10th ed., in 2 vols』</td> <td>M.A.Gropper, L.I.Eriksson, L.A.Fleisher, et al(eds.)</td> <td>Elsevier 2024</td> <td>9780323935920</td> </tr> <tr> <td>2.</td> <td>『Basics of Anesthesia 第8版』</td> <td>Manuel Pardo MD (著), Ronald D. Miller MD MS (著)</td> <td>Elsevier 2022</td> <td>9780323796774</td> </tr> <tr> <td>3.</td> <td>『臨床麻酔科学書』</td> <td>森田 潔(監修) 川真田 樹人, 齋藤 繁, 佐和 貞治, 廣田 和美, 溝淵 知司(編)</td> <td>中山書店 2022</td> <td>9784521749495</td> </tr> <tr> <td>4.</td> <td>『グラフィック麻酔学 臨床が楽しくなる 図・式・表』</td> <td>長坂安子監訳</td> <td>メディカルサイエンスインターナショナル 2018</td> <td>9784815701239</td> </tr> <tr> <td>5.</td> <td>『ペインクリニック治療指針 改訂第7版』</td> <td>日本ペインクリニック学会治療指針検討委員会編</td> <td>文光堂 2023</td> <td>9784830628573</td> </tr> <tr> <td>6.</td> <td>『Marino's ICU Book, 5th ed.』</td> <td>Paul L.Marino</td> <td>WOLTERS KLUWER 2025</td> <td>9781975176709</td> </tr> <tr> <td>7.</td> <td>『周産期麻酔科学』</td> <td>日本周産期麻酔科学会 編集</td> <td>中外医学社 2024</td> <td>9784498055544</td> </tr> </tbody> </table> | No | 書籍名 | 著者名 | 上段：出版社 下段：出版年 | ISBN | 1. | 『Miller's Anesthesia, 10th ed., in 2 vols』 | M.A.Gropper, L.I.Eriksson, L.A.Fleisher, et al(eds.) | Elsevier 2024 | 9780323935920 | 2. | 『Basics of Anesthesia 第8版』 | Manuel Pardo MD (著), Ronald D. Miller MD MS (著) | Elsevier 2022 | 9780323796774 | 3. | 『臨床麻酔科学書』 | 森田 潔(監修) 川真田 樹人, 齋藤 繁, 佐和 貞治, 廣田 和美, 溝淵 知司(編) | 中山書店 2022 | 9784521749495 | 4. | 『グラフィック麻酔学 臨床が楽しくなる 図・式・表』 | 長坂安子監訳 | メディカルサイエンスインターナショナル 2018 | 9784815701239 | 5. | 『ペインクリニック治療指針 改訂第7版』 | 日本ペインクリニック学会治療指針検討委員会編 | 文光堂 2023 | 9784830628573 | 6. | 『Marino's ICU Book, 5th ed.』 | Paul L.Marino | WOLTERS KLUWER 2025 | 9781975176709 | 7. | 『周産期麻酔科学』 | 日本周産期麻酔科学会 編集 | 中外医学社 2024 | 9784498055544 |
| | No | 書籍名 | 著者名 | 上段：出版社 下段：出版年 | ISBN | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 1. | 『Miller's Anesthesia, 10th ed., in 2 vols』 | M.A.Gropper, L.I.Eriksson, L.A.Fleisher, et al(eds.) | Elsevier 2024 | 9780323935920 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 2. | 『Basics of Anesthesia 第8版』 | Manuel Pardo MD (著), Ronald D. Miller MD MS (著) | Elsevier 2022 | 9780323796774 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 3. | 『臨床麻酔科学書』 | 森田 潔(監修) 川真田 樹人, 齋藤 繁, 佐和 貞治, 廣田 和美, 溝淵 知司(編) | 中山書店 2022 | 9784521749495 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 4. | 『グラフィック麻酔学 臨床が楽しくなる 図・式・表』 | 長坂安子監訳 | メディカルサイエンスインターナショナル 2018 | 9784815701239 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 5. | 『ペインクリニック治療指針 改訂第7版』 | 日本ペインクリニック学会治療指針検討委員会編 | 文光堂 2023 | 9784830628573 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 6. | 『Marino's ICU Book, 5th ed.』 | Paul L.Marino | WOLTERS KLUWER 2025 | 9781975176709 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 7. | 『周産期麻酔科学』 | 日本周産期麻酔科学会 編集 | 中外医学社 2024 | 9784498055544 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 関連リンク | <table border="1"> <tbody> <tr> <td>1.</td> <td>日本麻酔科学会</td> <td>http://www.anesth.or.jp/</td> </tr> <tr> <td>2.</td> <td>日本集中治療医学会</td> <td>http://www.jsicm.org/</td> </tr> <tr> <td>3.</td> <td>日本ペインクリニック学会</td> <td>https://www.jspc.gr.jp/</td> </tr> </tbody> </table> | 1. | 日本麻酔科学会 | http://www.anesth.or.jp/ | 2. | 日本集中治療医学会 | http://www.jsicm.org/ | 3. | 日本ペインクリニック学会 | https://www.jspc.gr.jp/ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 1. | 日本麻酔科学会 | http://www.anesth.or.jp/ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 2. | 日本集中治療医学会 | http://www.jsicm.org/ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3. | 日本ペインクリニック学会 | https://www.jspc.gr.jp/ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 添付ファイル ※3つまで、1ファイルにつき5MBまで、圧縮ファイルOK | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| 回数 | 年月日 | 時限 | 授業形式 | 教室 | 開始終了時間 |
|----|------------------------|-----------------|------|---------|-------------|
| 1. | 2026/04/10(金) | 5時限 | 講義 | 講義室 203 | 15:15-16:25 |
| | タイトル | 科目の概要 麻酔概論 | | | |
| | 担当者(所属) | 長坂 安子 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | F-2-10)④ | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | 1 | | | |
| 2. | 2026/04/21(火) | 1時限 | 講義 | 講義室 203 | 09:00-10:10 |
| | タイトル | 麻酔前の患者管理 | | | |
| | 担当者(所属) | 鈴木 真也 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | F-2-9)-(2)⑤ | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | 2 | | | |
| 3. | 2026/04/27(月) | 5時限 | 講義 | 講義室 203 | 15:15-16:25 |
| | タイトル | 麻酔に関する生理・薬理学的基礎 | | | |

| | | | | | |
|----|------------------------|----------------------|----|---------|-------------|
| | 担当者（所属） | 中澤 莉沙 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | F-2-10)③④⑤⑥ | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 3 |
| 4. | 2026/05/21(木) | 6 時限 | 講義 | 講義室 203 | 16:35-17:45 |
| | タイトル | 麻酔器と麻酔回路と気道の確保 | | | |
| | 担当者（所属） | 羽二生 顕 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | F-2-10)⑤ | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 4 |
| 5. | 2026/05/27(水) | 4 時限 | 講義 | 講義室 203 | 13:55-15:05 |
| | タイトル | 吸入麻酔法 | | | |
| | 担当者（所属） | 森脇 翔太 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | F-2-10)④ | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 5 |
| 6. | 2026/06/04(木) | 2 時限 | 講義 | 講義室 203 | 10:25-11:35 |
| | タイトル | 侵襲医学の中の麻酔科学（麻酔科学分野） | | | |
| | 担当者（所属） | 土井 健司 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | C-5-4)①,F-2-9)-(2)①⑧ | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 6 |
| 7. | 2026/06/08(月) | 4 時限 | 講義 | 講義室 203 | 13:55-15:05 |
| | タイトル | 静脈麻酔法 | | | |
| | 担当者（所属） | 黒川 智 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | F-2-10)④ | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 7 |
| 8. | 2026/06/11(木) | 3 時限 | 講義 | 講義室 203 | 12:30-13:40 |
| | タイトル | ペインクリニックでの疼痛管理 | | | |
| | 担当者（所属） | 古井 郁恵 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | F-2-9)-(2)⑧ | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 8 |
| 9. | 2026/06/15(月) | 6 時限 | 講義 | 講義室 203 | 16:35-17:45 |
| | タイトル | 筋弛緩薬 | | | |

授業予定表

| | | | | | |
|---------|------------------------|-----------------------------|----|---------|-------------|
| | 担当者（所属） | 笹川 智貴 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | F-2-10)③ | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 9 |
| 1 0. | 2026/06/17(水) | 4 時限 | 講義 | 講義室 203 | 13:55-15:05 |
| | タイトル | 麻酔中の呼吸・循環・代謝管理 | | | |
| | 担当者（所属） | 岡野 龍介 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | F-2-10)② | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 10 |
| 1 1. | 2026/06/18(木) | 1 時限 | 講義 | 講義室 203 | 09:00-10:10 |
| | タイトル | ICUでの重症患者管理 | | | |
| | 担当者（所属） | 武石 健太 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | F-2-10)⑥ | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 11 |
| 1 2. | 2026/06/19(金) | 6 時限 | 講義 | 講義室 203 | 16:35-17:45 |
| | タイトル | 特殊疾患と麻酔 | | | |
| | 担当者（所属） | 川本 英智 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | F-2-9)-(2)③,F-2-10)⑧ | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 12 |
| 1 3. | 2026/06/22(月) | 4 時限 | 講義 | 講義室 203 | 13:55-15:05 |
| | タイトル | 小児の麻酔管理 | | | |
| | 担当者（所属） | 鈴木 康之 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | F-2-10)③④⑤⑥,G-4-1)-(3)①②③④⑤ | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 13 |
| 1 4. | 2026/06/23(火) | 3 時限 | 講義 | 講義室 203 | 12:30-13:40 |
| | タイトル | 麻酔後の患者管理 | | | |
| | 担当者（所属） | 石川 高 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | F-2-9)-(2)⑧⑨⑩ | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 14 |
| 1 5. | 2026/06/25(木) | 2 時限 | 講義 | 講義室 203 | 10:25-11:35 |
| | タイトル | 局所麻酔法 | | | |

| | | | | | |
|---------|------------------------|------------------------------------|-------|---------|-------------|
| | 担当者（所属） | 加賀屋 菜々 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | F-2-9)-(2)⑨⑩ | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 15 |
| 1 6. | 2026/06/25(木) | 3 時限 | 講義 | 講義室 203 | 12:30-13:40 |
| | タイトル | 周術期モニター | | | |
| | 担当者（所属） | 長坂 安子 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | F-2-9)-(2)②,F-2-10)⑦ | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 16 |
| 1 7. | 2026/07/09(木) | 1 時限 | 試験 | - | 10:00-11:30 |
| | タイトル | 麻酔・周術期管理 試験10:00-11:30(講義室202,203) | | | |
| | 担当者（所属） | 長坂 安子 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 17 |
| 1 8. | 2026/07/09(木) | 2 時限 | 試験 | - | 10:00-11:30 |
| | タイトル | 麻酔・周術期管理 試験10:00-11:30(講義室202,203) | | | |
| | 担当者（所属） | 長坂 安子 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 18 |
| 1 9. | 2026/07/30(木) | 3 時限 | 追・再試験 | - | 13:00-14:30 |
| | タイトル | 麻酔・周術期管理 追再試験13:00-14:30(講義室203) | | | |
| | 担当者（所属） | 長坂 安子 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 19 |
| 2 0. | 2026/07/30(木) | 4 時限 | 追・再試験 | - | 13:00-14:30 |
| | タイトル | 麻酔・周術期管理 追再試験13:00-14:30(講義室203) | | | |
| | 担当者（所属） | 長坂 安子 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 20 |

| | |
|-----------|--------|
| 科目名 | 救命救急医療 |
| 科目責任者(所属) | 森 周介 |

| | |
|---------------------------|---|
| 到達目標 | 救命救急医療系では、救急医学の基本として、プレホスピタルケアから救急室での診断学と治療学、重症症例の病態学と集中治療医学、災害医学を学ぶ。特に敗血症、急性呼吸窮迫症候群（ARDS）、多臓器不全の病態と集学的治療を基礎医学で学んだ知識を活かして学修する。また救急医療に関わる法的問題を法医学の専門的な知識を取得し理解する。一次救命処置、気道確保、ファーストエイドや救急での治療処置、外傷の初期治療を講義と実習で習得する。セグメント9での法人防災訓練においてセグメント8で学んだ災害医学と応急処置の実践を行う前段階の知識、技術の習得となる。その他、救命救急医療で特徴的な特殊環境下での病態学（熱中症、低体温症等）や、中毒学、外傷学、救急・集中治療における終末期医療、生命倫理が、組み込まれている。 |
| アウトカム・ロードマップに係わる到達目標/項目番号 | <p>②臨床倫理や生と死に関わる倫理的問題を概説できる。 I-2-A-(3-4)-②</p> <p>③基本的な臨床技能（適応、実施方法、合併症、注意点）を理解し、適切な態度で診断や治療を行える。 I-1-C-(3-4)-①</p> <p>⑥緊急を要する病態や疾患・外傷の基本的知識を説明できる。診療チームの一員として救急医療に参画できる。 I-2-B-(3-4)-②</p> <p>⑥災害医療（災害時保健医療、医療救護班、災害派遣医療チーム(Disaster Medical Assistance Team (DMAT))、災害派遣精神医療チーム(Disaster Psychiatric Assistance Team (DPAT))、日本医師会災害医療チーム(Japan Medical Association Team (JMAT))、災害拠点病院、トリアージ等)を説明できる。 I-1-C-(3-4)-①</p> <p>①植物状態、脳死、心臓死及び脳死判定を説明できる。 I-1-A-(3-4)-④</p> <p>②異状死・異状死体の取り扱いと死体検案を説明できる。 I-1-B-(3-4)-③</p> <p>③死亡診断書と死体検案書を作成できる。 I-1-B-(3-4)-③</p> <p>③ショック（血流分布異常性ショック（アナフィラキシー、感染性（敗血症性）、神経原性）、循環血液量減少性ショック（出血性、体液喪失）、心原性ショック（心筋性、機械性、不整脈）、閉塞性ショック（心タンポナーデ、肺塞栓症、緊張性気胸））を説明できる。 I-1-A-(3-4)-④</p> <p>⑤臓器不全（多臓器不全、多臓器障害(multiple organ dysfunction syndrome (MODS)))を説明できる。 I-1-A-(3-4)-④</p> <p>②急性呼吸促(窮)迫症候群(acute respiratory distress syndrome (ARDS))の病因、症候と治療を説明できる。 I-1-A-(3-4)-④</p> <p>①敗血症の症候と診断と治療を説明できる。 I-1-A-(3-4)-④</p> <p>①ショック I-1-A-(3-4)-④</p> <p>②アナフィラキシーの症候、診断と治療を説明できる。 I-1-A-(3-4)-④</p> <p>①中毒患者の検査と起因物質の分析を概説できる。 I-1-B-(3-4)-②</p> <p>③有機リン剤、有機塩素剤と有機溶剤による中毒の機序、診断と治療を説明できる。 I-1-B-(3-4)-②</p> <p>④重金属、青酸、ヒ素、バラコート、自然毒による中毒を概説できる。 I-1-A-(3-4)-②</p> <p>⑤アルコール、覚醒剤・麻薬・大麻などの乱用薬物による中毒を説明できる。 I-1-A-(3-4)-②</p> <p>⑥医薬品による中毒を説明できる。 I-1-A-(3-4)-②</p> <p>①高温による障害（熱中症）を説明できる。 I-1-A-(3-4)-②</p> <p>②寒冷による障害を説明できる。 I-1-A-(3-4)-②</p> <p>④気圧による障害の原因や対処を説明できる。 I-1-A-(3-4)-②</p> <p>②植物状態と脳死の違いを説明できる。 I-1-A-(3-4)-④</p> <p>③内因死と外因死について違いと内容を説明できる。 I-1-A-(3-4)-②</p> <p>⑤診療関連死を説明できる。 I-1-A-(3-4)-②</p> <p>①ショックの原因と病態生理を説明できる。 I-1-A-(3-4)-④</p> <p>②ショックをきたす疾患(群)を列挙し、診断の要点を説明できる。 I-1-A-(3-4)-④</p> <p>③ショック状態にある患者の治療の要点を説明し、専門的治療が必要な状態を概説できる。 I-1-A-(3-4)-④</p> <p>①心停止の原因と病態生理を説明できる。 I-1-A-(3-4)-④</p> <p>②心停止をきたす疾患(群)を列挙し、診断の要点を説明できる。 I-1-A-(3-4)-④</p> <p>③心停止患者の治療の要点を説明し、専門的治療が必要な状態を概説できる。 I-1-B-(3-4)-②</p> <p>①外傷・熱傷の病態生理を説明できる。 I-1-A-(3-4)-④</p> <p>②外傷・熱傷の診断の要点を説明できる。 I-1-A-(3-4)-④</p> <p>③外傷・熱傷がある患者の治療の要点を説明し、専門的治療が必要な状態を概説できる。 I-1-B-(3-4)-②</p> <p>③薬物によるアナフィラキシーショックの症候、診断、対処法を説明できる。 I-1-B-(3-4)-②</p> <p>②基本的バイタルサイン（体温、呼吸、脈拍、血圧）の意義とモニターの方法を説明できる。 I-1-A-(3-4)-④</p> <p>⑩集中治療室の役割を概説できる。 I-1-C-(3-4)-②</p> <p>⑤気管挿管を含む各種の気道確保法を概説できる。 I-1-C-(3-4)-①</p> <p>②主な人工臓器の種類と原理を概説できる。 I-1-B-(3-4)-②</p> <p>②一次救命処置を実施できる。 I-1-C-(3-4)-①</p> <p>①緊急性の高い状況かどうかをある程度判断できるようになる。 I-2-A-(3-4)-①</p> <p>環境：熱中症 I-2-B-(3-4)-②</p> <p>閉塞性：緊張性気胸 I-2-B-(3-4)-②</p> <p>血液分布異常性：敗血症 I-2-B-(3-4)-②</p> <p>血液分布異常性：アナフィラキシー I-2-B-(3-4)-②</p> <p>呼吸器：緊張性気胸 I-2-B-(3-4)-②</p> <p>呼吸器：外傷性気胸 I-2-B-(3-4)-②</p> <p>環境：熱中症 I-2-B-(3-4)-②</p> <p>環境：寒冷による障害 I-2-B-(3-4)-②</p> <p>呼吸器：急性呼吸促(窮)迫症候群(ARDS) I-2-B-(3-4)-②</p> |

| | ①経皮的酸素飽和度を測定できる。 ②一次救命処置を実施できる。 ③二次救命処置を含む緊急性の高い患者の初期対応に可能な範囲で参加する。 ④呼吸、循環を安定化するための初期治療を学ぶ。 ⑥地域の災害医療体制について学ぶ。 | I-1-C-(3-4)-① I-1-C-(3-4)-① I-1-C-(3-4)-① I-2-A-(3-4)-① I-1-B-(3-4)-③ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|------------------|-------------------|------------------|------|----|----------------|---------|---------------|-------------------|----|----------|--------------|-----------------|-------------------|----|---------------------------|--------|---------------|-------------------|----|-----------------------------|---------|-------------|-------------------|--|
| 学修(教育)方法 | 講義 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 評価方法 (1)総括的評価の対象 | 「実習参加の態度と理解度」20%、「定期試験」80% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 評価方法 (2)評価項目 | 救急医療における法的問題を理解できている。 ショックの病態と診断を理解し、説明できる。 多発外傷の初療を理解できる。 応急処置や救命処置を説明できる。 多臓器不全の病態と治療を理解できる。 中毒の病態と治療を理解できる。 特殊環境下の病態と治療を理解できる。 | E-9-1) F-1-5) F-1-37) F-3-6)-(4) E-2-1) E-5-3) E-5-3) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 評価方法 (2)評価項目続き | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 評価方法 (3)評価基準 | 上記の評価項目について定期試験にて100点満点にて点数化を行い、S.極めて良く理解している(90点以上)、A.良く理解している(80点以上90点未満)、B.理解している(70点以上80点未満)、C.ある程度は理解しているが、十分ではない(60点以上70点未満)、D.あまり理解できていない(60点未満)のいずれかとして判定し、C以上を合格とする。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事前・事後学修 | 講義前にアップロードされている資料で事前学修し、講義後の講義復習テストもしくは講義者からの課題で事後学修する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 伝達事項 | 形成的評価(最終成績には使用しないが、学生の成長のためのフィードバックとしての評価)は知識・技能・態度全般にわたって、講義、実習の際に随時行うので、学修のヒントにしてください。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 実務経験 | <input type="checkbox"/> 大学病院の救命救急センターの医師としての実務経験を以て、医療現場で生かせるような教育を行う | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 教科書・参考図書 | <table border="1"> <thead> <tr> <th>No</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>上段：出版社 下段：出版年</th> <th>ISBN</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1.</td> <td>『改訂第5版 救急診療指針』</td> <td>日本救急医学会</td> <td>へるす出版 2013</td> <td>978-4-89269-945-0</td> </tr> <tr> <td>2.</td> <td>『集中治療医学』</td> <td>日本集中治療医学会(編)</td> <td>学研メディカル 2023</td> <td>978-4-05-510024-3</td> </tr> <tr> <td>3.</td> <td>『改定第6版 外傷初期診療ガイドラインJATEC』</td> <td>日本外傷学会</td> <td>へるす出版 2021</td> <td>978-4-86719-014-2</td> </tr> <tr> <td>4.</td> <td>『改訂第5版日本救急医学会ICLSコースガイドブック』</td> <td>日本救急医学会</td> <td>羊土社 2022</td> <td>978-4-7581-2396-9</td> </tr> </tbody> </table> | No | 書籍名 | 著者名 | 上段：出版社 下段：出版年 | ISBN | 1. | 『改訂第5版 救急診療指針』 | 日本救急医学会 | へるす出版 2013 | 978-4-89269-945-0 | 2. | 『集中治療医学』 | 日本集中治療医学会(編) | 学研メディカル 2023 | 978-4-05-510024-3 | 3. | 『改定第6版 外傷初期診療ガイドラインJATEC』 | 日本外傷学会 | へるす出版 2021 | 978-4-86719-014-2 | 4. | 『改訂第5版日本救急医学会ICLSコースガイドブック』 | 日本救急医学会 | 羊土社 2022 | 978-4-7581-2396-9 | |
| No | 書籍名 | 著者名 | 上段：出版社 下段：出版年 | ISBN | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1. | 『改訂第5版 救急診療指針』 | 日本救急医学会 | へるす出版 2013 | 978-4-89269-945-0 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2. | 『集中治療医学』 | 日本集中治療医学会(編) | 学研メディカル 2023 | 978-4-05-510024-3 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3. | 『改定第6版 外傷初期診療ガイドラインJATEC』 | 日本外傷学会 | へるす出版 2021 | 978-4-86719-014-2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 4. | 『改訂第5版日本救急医学会ICLSコースガイドブック』 | 日本救急医学会 | 羊土社 2022 | 978-4-7581-2396-9 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 関連リンク | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 添付ファイル ※3つまで、1 ファイルにつき5MBまで、圧縮 ファイルOK | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| 回数 | 年月日 | 時限 | 授業形式 | 教室 | 開始終了時間 |
|----|------------------------|-------------------------------|------|---------|-------------|
| 1. | 2026/05/12(火) | 6時限 | 講義 | 講義室 203 | 16:35-17:45 |
| | タイトル | ファーストエイド | | | |
| | 担当者(所属) | 武田 宗和 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | F-1-5)①②③,F-3-6)-(4)①②,G-2-6) | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 1 |
| 2. | 2026/05/14(木) | 6時限 | 講義 | 講義室 203 | 16:35-17:45 |
| | タイトル | 外傷学 | | | |
| | 担当者(所属) | 森 周介 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | B-2-1)①,E-9-1)②⑨ | | | |

| | | | | | |
|----|------------------------|---|----|---------|-------------|
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 2 |
| 3. | 2026/05/22(金) | 1 時限 | 講義 | 講義室 203 | 09:00-10:10 |
| | タイトル | 救急医学(救急医学分野)総論 | | | |
| | 担当者(所属) | 大友 康裕 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | F-1-37)①②③,G-2-15),G-2-37) | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 3 |
| 4. | 2026/05/29(金) | 4 時限 | 講義 | 講義室 203 | 13:55-15:05 |
| | タイトル | 救急医療の治療手技 | | | |
| | 担当者(所属) | 久保田 英 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | F-2-10)⑤,F-3-6)-(4),G-3-4) | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 4 |
| 5. | 2026/06/03(水) | 3 時限 | 講義 | 講義室 203 | 12:30-13:40 |
| | タイトル | 中毒(1) | | | |
| | 担当者(所属) | 並木 みずほ | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | G-3-1) | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 5 |
| 6. | 2026/06/10(水) | 4 時限 | 講義 | 講義室 203 | 13:55-15:05 |
| | タイトル | 中毒(2) | | | |
| | 担当者(所属) | 並木 みずほ | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | B-1-8)⑥⑦⑩,B-2-1)②③④,E-9-1)③④ | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 6 |
| 7. | 2026/06/12(金) | 3 時限 | 講義 | 講義室 203 | 12:30-13:40 |
| | タイトル | 災害医学 | | | |
| | 担当者(所属) | 庄古 知久 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | D-6-1),3),4) D-8-3)-(2), E-2-3), E-4-2), E-5-2), F-1-15), G-2-15) | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 7 |
| 8. | 2026/06/15(月) | 4 時限 | 講義 | 講義室 203 | 13:55-15:05 |
| | タイトル | 集中治療医学総論 | | | |
| | 担当者(所属) | 森 周介 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | E-5-3)-(2)①-④,G-2-10) | | | |
| | | | | | |

授業予定表

| | | | | | |
|-----|------------------------|---|----|---------|-------------|
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 8 |
| 9. | 2026/06/18(木) | 5 時限 | 講義 | 講義室 203 | 15:15-16:25 |
| | タイトル | 敗血症と多臓器不全 | | | |
| | 担当者 (所属) | -- | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | C-4-4)③⑤,E-2-1)①,D-6-4)-(4)②,F-2-9)-(2)⑩ | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 9 |
| 10. | 2026/06/22(月) | 3 時限 | 講義 | 講義室 203 | 12:30-13:40 |
| | タイトル | 救急医療の診断学と症候学 | | | |
| | 担当者 (所属) | 久保田 英 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | D-1-4)-(2)④,F-1-5)①②③,G-2-5),G-2-15) | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 10 |
| 11. | 2026/06/23(火) | 5 時限 | 講義 | 講義室 203 | 15:15-16:25 |
| | タイトル | 特殊救急 | | | |
| | 担当者 (所属) | 久保田 英 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | F-1-7)①②③,F-1-8)①②③,F-1-9)①②③,F-1-15)①②③,F-1-16)①②③,F-1-20)①②③,F-1-33)①②③ | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 11 |
| 12. | 2026/06/24(水) | 3 時限 | 講義 | 講義室 203 | 12:30-13:40 |
| | タイトル | 救急医療に関わる法的問題 | | | |
| | 担当者 (所属) | 木林 和彦 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | E-5-3)-(1)①②③,G-2-8) | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 12 |
| 13. | 2026/06/24(水) | 4 時限 | 講義 | 講義室 203 | 13:55-15:05 |
| | タイトル | 救急・集中治療における体液量を心腎機能から評価してみよう～BNPの有用性～ | | | |
| | 担当者 (所属) | -- | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | C-4-4), D-5-1),D-5-3),D-5-4),D-8-1),D-8-3),F-1-4),F-1-10),F-1-11),F-1-18) | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 13 |
| 14. | 2026/06/25(木) | 1 時限 | 講義 | 講義室 203 | 09:00-10:10 |
| | タイトル | 心肺蘇生法 | | | |
| | 担当者 (所属) | 庄古 知久 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | A-7-1)⑥,B-1-7)⑥ | | | |

| | | | | | |
|---------|------------------------|--|-------|---------|-------------|
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 14 |
| 1 5. | 2026/06/25(木) | 4 時限 | 講義 | 講義室 203 | 13:55-15:05 |
| | タイトル | ECMO | | | |
| | 担当者 (所属) | 大城 拓也 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | D-6-4)-(4), E-4-2), E-5-2), F-1-5),15), F-2-12), G-2-15) | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 15 |
| 1 6. | 2026/07/10(金) | 1 時限 | 試験 | - | 10:00-11:30 |
| | タイトル | 救命救急医療 試験10:00-11:30(講義室202,203) | | | |
| | 担当者 (所属) | 森 周介 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 16 |
| 1 7. | 2026/07/10(金) | 2 時限 | 試験 | - | 10:00-11:30 |
| | タイトル | 救命救急医療 試験10:00-11:30(講義室202,203) | | | |
| | 担当者 (所属) | 森 周介 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 17 |
| 1 8. | 2026/07/30(木) | 1 時限 | 追・再試験 | - | 10:00-11:30 |
| | タイトル | 救命救急医療 追再試験10:00-11:30(講義室203) | | | |
| | 担当者 (所属) | 森 周介 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 18 |
| 1 9. | 2026/07/30(木) | 2 時限 | 追・再試験 | - | 10:00-11:30 |
| | タイトル | 救命救急医療 追再試験10:00-11:30(講義室203) | | | |
| | 担当者 (所属) | 森 周介 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 19 |

縦断教育科目

| | | |
|---------------------------|---|--|
| 科目名 | 「至誠と愛」の実践学修 | |
| 科目責任者(所属) | 野原 理子 | |
| 到達目標 | <p>本学は百年余に亘り、医学の知識・技能の修得の上に「至誠と愛」を実践する女性医師の育成を行ってきた。医学の進歩の一方で、患者の抱える問題を包括して解決する医学・医療の必要性が重視されている。今後さらに心の重要性が問われることは必定である。医師は温かい心をもって医療に臨み、患者だけでなく家族・医療チームとも心を通わせ問題を解決していく資質を高めてはならない。「至誠と愛」の実践学修では、全人的医人を育成するために、体験の中から感性を磨き、他者・患者と共感できる能力・態度を修得する教育を行う。</p> <p>具体的には「至誠と愛」の実践学修の理念には下記のような6本の柱がある。各講義・ワークショップ、実習はこの6本の柱の下に構成されている。</p> <p>【6本の柱】</p> <p>(1) 専門職としての態度、マナー、コミュニケーション能力（患者を理解する力、支持する力、意志を通ずる力、患者医師関係）</p> <p>(2) 専門職としての使命感（医学と社会に奉仕する力）</p> <p>(3) 医療におけるリーダーシップ・パートナーシップ</p> <p>(4) 医療人としての倫理—解釈と判断（法と倫理に基づく実践力）</p> <p>(5) 女性医師のキャリア・ライフサイクル（医師として、女性医師として生涯研鑽する姿勢）</p> <p>(6) 自校の理念、歴史を知る（自校教育）</p> | |
| アウトカム・ロードマップに係わる到達目標/項目番号 | <p>適切な治療法とその根拠を説明できる。 I -1-B-(3-4)-②</p> <p>医療安全に必要な配慮を示すことができる。 I -1-C-(3-4)-②</p> <p>現象・事例から学ぶべきことを発見できる。 I -2-A-(1-2)-①</p> <p>問題の優先度および重要度を判断できる。 I -2-A-(3-4)-①</p> <p>事例で診療上の心理的・社会的問題を明らかにできる。 I -2-A-(3-4)-②</p> <p>患者・家族が抱える心理的・社会的問題・不安を明らかにできる。 I -2-A-(5-6)-①</p> <p>患者の診療上の問題を明らかにできる。 I -2-A-(5-6)-②</p> <p>問題の科学的重要性を評価できる。 I -2-B-(3-4)-①</p> <p>未知の問題を解決する方法を見つけることができる。 I -2-C-(3-4)-②</p> <p>適切な問題解決を行ったか検証できる。 I -3-C-(3-4)-①</p> <p>結果の客観的評価ができる。 I -3-C-(3-4)-②</p> <p>結果の解釈の限界を明らかにできる。 I -3-C-(3-4)-③</p> <p>医学的情報をわかりやすく伝えることができる。 I -4-A-(3-4)-①</p> <p>患者に分かる言葉を選択できる。 I -4-A-(3-4)-②</p> <p>研究・実習・症例などの要約が作成できる。 I -4-B-(3-4)-①</p> <p>研究・実習・症例などの背景、目的、方法、結果、考察を適切に発表できる。 I -4-C-(3-4)-①</p> <p>医療チームでの情報共有について説明できる。 I -4-C-(3-4)-②</p> <p>患者の人権・尊厳を説明できる。 II -1-A-(3-4)-②</p> <p>他者の気持ちに配慮して意志を交わすことができる。 II -1-B-(3-4)-①</p> <p>医療を通じた社会・地域への貢献を説明できる。 II -3-A-(3-4)-①</p> <p>自分の選択・判断の根拠を説明できる。 II -4-A-(3-4)-①</p> <p>他者の考えを聞いて自分の選択を判断し説明できる。 II -4-A-(3-4)-②</p> <p>討論・話し合いを促せる。 II -4-B-(3-4)-①</p> <p>自分の方針を説明し同意を得ることができる。 II -4-B-(3-4)-②</p> <p>活動向上のための評価に基づく行動をグループに導入できる。 II -4-B-(3-4)-③</p> <p>グループ目標達成のために行動できる。 II -4-C-(3-4)-①</p> <p>講成員の役割と考えを尊重してグループの目標を立てられる。 II -4-C-(3-4)-②</p> <p>相手の知識・技能に合わせて質問に答えることができる。 II -5-B-(3-4)-②</p> | |
| 学修（教育）方法 | 講義、ワークショップ、実習、行事、小グループ討論 | |
| 評価方法 (1)総括的評価の対象 | 講義と行事の課題、ワークショップと実習の学修成果で評価する。なお、履修要件として本科目授業数の8割以上の出席が必要である。 | |
| | <p>医学・医療の歴史的な流れとその意味を概説できる。 A-1-1)①</p> <p>臨床倫理や生と死に関わる倫理的問題を概説できる。 A-1-1)②</p> <p>ヒポクラテスの誓い、ジュネーブ宣言、医師の職業倫理指針、医師憲章等医療の倫理に関する規範を概説できる。 A-1-1)③</p> <p>リスボン宣言等に示された患者の基本的権利を説明できる。 A-1-2)①</p> <p>患者の自己決定権の意義を説明できる。 A-1-2)②</p> <p>選択肢が多様な場合でも適切に説明を行い患者の価値観を理解して、患者の自己決定を支援する。 A-1-2)③</p> <p>インフォームド・コンセントとインフォームド・アセントの意義と必要性を説明できる。 A-1-2)④</p> <p>患者やその家族のもつ価値観や社会的背景が多様であり得ることを認識し、そのいずれにも柔軟に対応できる。 A-1-3)②</p> <p>医師が患者に最も適した医療を勧めなければならない理由を説明できる。 A-1-3)③</p> <p>医師には能力と環境により診断と治療の限界があることを説明できる。 A-1-3)④</p> <p>医師の法的義務を列挙し、例示できる。 A-1-3)⑤</p> <p>自分に必要な課題を、重要性・必要性に照らして順位付けできる。 A-2-1)②</p> <p>課題の解決に当たり、他の学修者や教員と協力してよりよい解決方法を見出すことができる。 A-2-1)④</p> <p>患者の病状（症状、身体所見、検査所見等）、プロブレムリスト、鑑別診断、臨床経過、治療法の要点を提示し、医療チーム構成員と意見交換ができる。 A-3-1)⑤</p> <p>緊急を要する病態や疾患・外傷の基本的知識を説明できる。診療チームの一員として救急医療に参画できる。 A-3-1)⑥</p> | |

評価方法
(2)評価項目

| | |
|--|---------|
| 患者の苦痛や不安感に配慮しながら、就学・就労、育児・介護等との両立支援を含め患者と家族に対して誠実に適切な支援を行える。 | A-3-1)⑧ |
| コミュニケーションの方法と技能（言語的と非言語的）を説明し、コミュニケーションが態度あるいは行動に及ぼす影響を概説できる。 | A-4-1)① |
| コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。 | A-4-1)② |
| 患者・家族の話を傾聴し、共感することができる。 | A-4-1)③ |
| 患者と家族の精神的・身体的苦痛に十分配慮できる。 | A-4-2)① |
| 患者に分かりやすい言葉で説明できる。 | A-4-2)② |
| 患者の心理的及び社会的背景や自立した生活を送るための課題を把握し、抱える問題点を抽出・整理できる。 | A-4-2)③ |
| 医療行為が患者と医師の契約的な信頼関係に基づいていることを説明できる。 | A-4-2)④ |
| 患者の要望（診察・転医・紹介）への対処の仕方を説明できる。 | A-4-2)⑤ |
| 患者のプライバシーに配慮できる。 | A-4-2)⑥ |
| 患者情報の守秘義務と患者等への情報提供の重要性を理解し、適切な取扱いができる。 | A-4-2)⑦ |
| チーム医療の意義を説明できる。 | A-5-1)① |
| 医療チームの構成や各構成員（医師、歯科医師、薬剤師、看護師、その他の医療職）の役割分担と連携・責任体制を説明し、チームの一員として参加できる。 | A-5-1)② |
| 自分の能力の限界を認識し、必要に応じて他の医療従事者に援助を求めることができる。 | A-5-1)③ |
| 保健、医療、福祉と介護のチーム連携における医師の役割を説明できる。 | A-5-1)④ |
| 災害医療（災害時保健医療、医療救護班、災害派遣医療チーム(Disaster Medical Assistance Team (DMAT))、災害派遣精神医療チーム(Disaster Psychiatric Assistance Team (DPAT))、日本医師会災害医療チーム(Japan Medical Association Team (JMAT))、災害拠点病院、トリアージ等）を説明できる。 | A-7-1)⑥ |
| 抽出した医学・医療情報から新たな仮説を設定し、解決に向けて科学的研究（臨床研究、疫学研究、生命科学科学研究等）に参加することができる。 | A-8-1)④ |
| 生涯学習の重要性を説明できる。 | A-9-1)① |
| 生涯にわたる継続的学習に必要な情報を収集できる。 | A-9-1)② |
| キャリア開発能力を獲得する。 | A-9-1)③ |
| キャリアステージにより求められる能力に異なるニーズがあることを理解する。 | A-9-1)④ |
| 臨床実習で経験したことを省察し、自己の課題を明確にする。 | A-9-1)⑤ |
| 根拠に基づいた医療(EBM)の5つのステップを列挙できる。 | B-1-3)① |
| 災害医療（災害時保健医療、医療救護班、災害派遣医療チーム(DMAT)、災害派遣精神医療チーム(DPAT)、日本医師会災害医療チーム(JMAT)、災害拠点病院、トリアージ等）を説明できる。 | B-1-7)⑥ |
| 医師法、医療法等の医療関連法規を概説できる。 | B-1-8)⑥ |
| 医療関連法規に定められた医師の義務を列挙できる。 | B-1-8)⑦ |
| 植物状態、脳死、心臓死及び脳死判定を説明できる。 | B-2-1)① |
| 異状死・異状死体の取扱いと死体検案を説明できる。 | B-2-1)② |
| 臨床試験・治験と倫理性（ヘルシンキ宣言、第Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ相試験、医薬品の臨床試験の実施の基準(Good Clinical Practice (GCP))、治験審査委員会・倫理審査委員会(institutional review board (IRB)))を説明できる。 | B-3-1)③ |
| 医療人類学や医療社会学等の行動科学・社会科学の基本的な視点・方法・理論を概説できる。 | B-4-1)① |
| 病気・健康・医療・死をめぐる文化的な多様性を説明できる。 | B-4-1)② |
| 自身が所属する文化を相対化することができる。 | B-4-1)③ |
| 人々の暮らしの現場において病気・健康がどのようにとらえられているかを説明できる。 | B-4-1)④ |
| 人の言動の意味をその人の人生史や社会関係の文脈の中で説明することができる。 | B-4-1)⑤ |
| 文化・ジェンダーと医療の関係を考えることができる。 | B-4-1)⑥ |
| 病人役割を概説できる。 | B-4-1)⑨ |
| 多職種の医療・保健・福祉専門職、患者・利用者、その家族、地域の人々など、様々な立場の人が違った視点から医療現場に関わっていることを理解する。 | B-4-1)⑬ |
| 具体的な臨床事例に文化・社会的課題を見いだすことができる。 | B-4-1)⑭ |
| 行動と人の内的要因、社会・文化的環境との関係を概説できる。 | C-5-1)③ |
| 生理的動機（個体保存、種族保存）、内発的動機（活動、感性、好奇、操作等）及び社会的動機（達成、親和、愛着、支配等）を概説できる。 | C-5-3)① |
| 動機付けを例示できる。 | C-5-3)② |
| 欲求とフラストレーション・葛藤との関連を概説できる。 | C-5-3)③ |
| 適応（防衛）機制を概説できる。 | C-5-3)④ |
| 主なストレス学説を概説できる。 | C-5-4)① |
| 人生、日常生活や仕事におけるストレスとその健康への影響を例示できる。 | C-5-4)② |
| ストレスコーピング過程に関連する心理社会的要因を説明できる。 | C-5-4)③ |
| ストレス対処法を概説できる。 | C-5-4)④ |
| 対人関係にかかわる心理的要因を概説できる。 | C-5-7)① |
| 人間関係における欲求と行動の関係を概説できる。 | C-5-7)② |
| 主な対人行動（援助、攻撃等）を概説できる。 | C-5-7)③ |
| 集団の中の間人関係（競争と協同、同調、服従と抵抗、リーダーシップ）を概説できる。 | C-5-7)④ |
| 効果的な対人コミュニケーションを説明できる。 | C-5-7)⑤ |
| 話し手と聞き手の役割を説明でき、適切なコミュニケーションスキルが使える。 | C-5-7)⑥ |
| 個と集団に及ぼす文化的影響を例示できる。 | C-5-7)⑦ |
| 文化・慣習によってコミュニケーションのあり方が異なることを例示できる。 | C-5-7)⑧ |
| 健康行動や行動変容を行う動機付けを概説できる。 | C-5-8)① |
| 行動療法を説明できる。 | C-5-8)② |
| 認知行動療法を説明できる。 | C-5-8)③ |
| 心理教育を説明できる。 | C-5-8)④ |
| 生活習慣病における患者支援（自律性支援）や保健指導を概説できる。 | C-5-8)⑤ |
| 高齢者の人生の最終段階における医療（エンド・オブ・ライフ・ケア）を説明できる。 | E-8-1)⑫ |
| 死に至る身体と心の過程を説明できる。その個別性にも共感配慮できる | E-9-1)⑥ |

| | <p>人生の最終段階における医療（エンド・オブ・ライフ・ケア）での患者とのコミュニケーション、頻度の高い苦痛とその対処法・ケアを説明できる。 E-9-1)⑦</p> <p>患者の死後の家族ケア（悲嘆のケア（グリーフケア））を説明できる。 E-9-1)⑩</p> <p>緩和ケア（緩和ケアチーム、ホスピス、緩和ケア病棟、在宅緩和ケアを含む）を概説できる。 F-2-16)①</p> <p>全人的苦痛を説明できる。 F-2-16)②</p> <p>緩和ケアにおいて頻度の高い身体的苦痛、心理社会的苦痛を列挙することができる。 F-2-16)③</p> <p>疼痛のアセスメント、疼痛緩和の薬物療法、癌疼痛治療法を説明できる。 F-2-16)④</p> <p>オピオイドの適応と課題を説明できる。 F-2-16)⑤</p> <p>緩和ケアにおける患者・家族の心理を説明できる。 F-2-16)⑥</p> <p>救急科：チーム医療の一員として良好なコミュニケーションを実践できる。 G-4-1-7)③</p> <p>救急科：家族や地域といった視点を持ち、保健・医療・福祉・介護との連携を学ぶ。 G-4-1-7)④</p> <p>救急科：救急隊員との連携を通じて、病院前救護体制とメディカルコントロールについて学ぶ。 G-4-1-7)⑤</p> <p>救急科：地域の災害医療体制について学ぶ。 G-4-1-7)⑥</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------------------|---|----------------------------|--------------------------|-------------------|------------------|------|----|--|----------------------------|-------------|-------------------|----|----------------------|---------------|----------------------|-------------------|----|----------------|------|--------------|-------------------|----|-----------------|------|--------------------------|-------------------|----|--|-------------------------|--------------|-------------------|----|---|-------------------------|--------------|-------------------|----|------------------------|---------------------------|--------------|----------------|----|---------------------------------|-------------------|--------------|----------------|----|---------------------------------|-------------------|--------------|----------------|-----|--------------------------|-------|--------------|-------------------|-----|------------------|---------------------------|--------------|-------------------|-----|-------------------|------|---------------|----------------|-----|--------------------|-----|--------------|----------------|-----|------------------------------|------|--------------|-----------|-----|----------------------|------|--------------|----------------|-----|------------------------|-------------|-------------|----------------|-----|-----------------------------|-------|---------------------|-------------------|
| 評価方法 (2)評価項目続き | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 評価方法 (3)評価基準 | 上記の総括的評価の対象、および評価項目について点数化を行い、S.極めて良く理解している（90%以上）、A.良く理解している（80%以上90%未満）、B.平均的に理解している（70%以上80%未満）、C.最低限は理解している（60%以上70%未満）、D.理解が不十分である（60%未満）のいずれかとして判定し、C以上を合格とする。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事前・事後学修 | 講義前にアップロードされている資料で事前学修し、講義後の講義復習テストもしくは講義者からの課題で事後学修する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 伝達事項 | <p>①形成的評価（学生の成長のためのフィードバックとしての評価）として、出席状況、遅刻状況、実習・ワークショップ中の態度、提出物（課題については既定の文字数、内容を満たしていること）が評価対象となる。</p> <p>②授業の実施方法には、講義、ワークショップ、実習、行事がある。</p> <p>③準備学修（予習・復習）の具体的な内容およびこれに必要な時間：あらかじめ学生ポータルサイトに掲示されるレジメや説明に目を通すこと。実習は、事前ガイダンスに参加して、学修目標、ドレスコードや実習先での心構えを意識すること。事前事後学修の目安0.25時間＋1.0時間。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 実務経験 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 教科書・参考図書 | <table border="1"> <thead> <tr> <th>No</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>上段：出版社 下段：出版年</th> <th>ISBN</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1.</td> <td>『人間関係教育と行動科学テキストブック（第3版）-「至誠と愛」の実践学修-』</td> <td>東京女子医科大学「至誠と愛」の実践学修教育委員会 編</td> <td>三恵社 2018</td> <td>978486487 8425</td> </tr> <tr> <td>2.</td> <td>『人間の記録63 吉岡弥生 吉岡弥生伝』</td> <td>吉岡弥生女史伝記編集委員会</td> <td>日本図書センタ ー 1998</td> <td>978482054 3084</td> </tr> <tr> <td>3.</td> <td>『糖尿病と向き合う一筋の道』</td> <td>大森安恵</td> <td>時空出版 2021</td> <td>978488267 0728</td> </tr> <tr> <td>4.</td> <td>『命は誰のものか 増補改訂版』</td> <td>香川知晶</td> <td>デイスカパー・トウ ティフ 2021</td> <td>978479932 7296</td> </tr> <tr> <td>5.</td> <td>『麻酔科診療にみる医学留学へのパスポート（シリーズ日米医学交流No.12）』</td> <td>公益財団法人 日米医学医療交流財団/ 編</td> <td>はる書房 2012</td> <td>978489984 1272</td> </tr> <tr> <td>6.</td> <td>『心臓外科診療にみる医学留学へのパスポート（シリーズ日米医学交流No.15）』</td> <td>公益財団法人 日米医学医療交流財団/ 編</td> <td>はる書房 2015</td> <td>978489984 1531</td> </tr> <tr> <td>7.</td> <td>『平静の心：オスラー博士講演集 新訂増補版』</td> <td>オスラー [述]；日野原重明, 仁木久恵 訳</td> <td>医学書院 2003</td> <td>426012708 X</td> </tr> <tr> <td>8.</td> <td>『医者心が心をひらくとき：a piece of mind 上』</td> <td>ロクサーヌ・K・ヤング編；李啓充訳</td> <td>医学書院 2002</td> <td>426013899 5</td> </tr> <tr> <td>9.</td> <td>『医者心が心をひらくとき：a piece of mind 下』</td> <td>ロクサーヌ・K・ヤング編；李啓充訳</td> <td>医学書院 2002</td> <td>426013900 2</td> </tr> <tr> <td>10.</td> <td>『出生と死をめぐる生命倫理：連続と不連続の思想』</td> <td>仁志田博司</td> <td>医学書院 2015</td> <td>978426002 4013</td> </tr> <tr> <td>11.</td> <td>『学生のための医療概論 第4版』</td> <td>小橋 元、近藤 克則、黒田 研二、千代 豪昭</td> <td>医学書院 2020</td> <td>978426004 1256</td> </tr> <tr> <td>12.</td> <td>『らくらく視覚障害生活マニュアル』</td> <td>加藤明彦</td> <td>医歯薬出版 2003</td> <td>426323417 0</td> </tr> <tr> <td>13.</td> <td>『日本の医の倫理：歴史と現代の課題』</td> <td>関根透</td> <td>学建書院 1998</td> <td>476240606 6</td> </tr> <tr> <td>14.</td> <td>『患者の権利とは何か（岩波ブックレット No.297）』</td> <td>鈴木利廣</td> <td>岩波書店 1993</td> <td>400032372</td> </tr> <tr> <td>15.</td> <td>『コンプレックス（岩波新書 青808）』</td> <td>河合隼雄</td> <td>岩波書店 1971</td> <td>400412073 X</td> </tr> <tr> <td>16.</td> <td>『ユーモアは老いと死の妙薬：死生学のすすめ』</td> <td>アルフォンス・デーケン</td> <td>講談社 1995</td> <td>406207948 8</td> </tr> <tr> <td>17.</td> <td>『対話のレッスン 日本人のためのコミュニケーション術』</td> <td>平田オリザ</td> <td>講談社学術文 庫 2015</td> <td>978406292 2999</td> </tr> </tbody> </table> | No | 書籍名 | 著者名 | 上段：出版社 下段：出版年 | ISBN | 1. | 『人間関係教育と行動科学テキストブック（第3版）-「至誠と愛」の実践学修-』 | 東京女子医科大学「至誠と愛」の実践学修教育委員会 編 | 三恵社 2018 | 978486487 8425 | 2. | 『人間の記録63 吉岡弥生 吉岡弥生伝』 | 吉岡弥生女史伝記編集委員会 | 日本図書センタ ー 1998 | 978482054 3084 | 3. | 『糖尿病と向き合う一筋の道』 | 大森安恵 | 時空出版 2021 | 978488267 0728 | 4. | 『命は誰のものか 増補改訂版』 | 香川知晶 | デイスカパー・トウ ティフ 2021 | 978479932 7296 | 5. | 『麻酔科診療にみる医学留学へのパスポート（シリーズ日米医学交流No.12）』 | 公益財団法人 日米医学医療交流財団/ 編 | はる書房 2012 | 978489984 1272 | 6. | 『心臓外科診療にみる医学留学へのパスポート（シリーズ日米医学交流No.15）』 | 公益財団法人 日米医学医療交流財団/ 編 | はる書房 2015 | 978489984 1531 | 7. | 『平静の心：オスラー博士講演集 新訂増補版』 | オスラー [述]；日野原重明, 仁木久恵 訳 | 医学書院 2003 | 426012708 X | 8. | 『医者心が心をひらくとき：a piece of mind 上』 | ロクサーヌ・K・ヤング編；李啓充訳 | 医学書院 2002 | 426013899 5 | 9. | 『医者心が心をひらくとき：a piece of mind 下』 | ロクサーヌ・K・ヤング編；李啓充訳 | 医学書院 2002 | 426013900 2 | 10. | 『出生と死をめぐる生命倫理：連続と不連続の思想』 | 仁志田博司 | 医学書院 2015 | 978426002 4013 | 11. | 『学生のための医療概論 第4版』 | 小橋 元、近藤 克則、黒田 研二、千代 豪昭 | 医学書院 2020 | 978426004 1256 | 12. | 『らくらく視覚障害生活マニュアル』 | 加藤明彦 | 医歯薬出版 2003 | 426323417 0 | 13. | 『日本の医の倫理：歴史と現代の課題』 | 関根透 | 学建書院 1998 | 476240606 6 | 14. | 『患者の権利とは何か（岩波ブックレット No.297）』 | 鈴木利廣 | 岩波書店 1993 | 400032372 | 15. | 『コンプレックス（岩波新書 青808）』 | 河合隼雄 | 岩波書店 1971 | 400412073 X | 16. | 『ユーモアは老いと死の妙薬：死生学のすすめ』 | アルフォンス・デーケン | 講談社 1995 | 406207948 8 | 17. | 『対話のレッスン 日本人のためのコミュニケーション術』 | 平田オリザ | 講談社学術文 庫 2015 | 978406292 2999 |
| No | 書籍名 | 著者名 | 上段：出版社 下段：出版年 | ISBN | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1. | 『人間関係教育と行動科学テキストブック（第3版）-「至誠と愛」の実践学修-』 | 東京女子医科大学「至誠と愛」の実践学修教育委員会 編 | 三恵社 2018 | 978486487 8425 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2. | 『人間の記録63 吉岡弥生 吉岡弥生伝』 | 吉岡弥生女史伝記編集委員会 | 日本図書センタ ー 1998 | 978482054 3084 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3. | 『糖尿病と向き合う一筋の道』 | 大森安恵 | 時空出版 2021 | 978488267 0728 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 4. | 『命は誰のものか 増補改訂版』 | 香川知晶 | デイスカパー・トウ ティフ 2021 | 978479932 7296 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 5. | 『麻酔科診療にみる医学留学へのパスポート（シリーズ日米医学交流No.12）』 | 公益財団法人 日米医学医療交流財団/ 編 | はる書房 2012 | 978489984 1272 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 6. | 『心臓外科診療にみる医学留学へのパスポート（シリーズ日米医学交流No.15）』 | 公益財団法人 日米医学医療交流財団/ 編 | はる書房 2015 | 978489984 1531 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 7. | 『平静の心：オスラー博士講演集 新訂増補版』 | オスラー [述]；日野原重明, 仁木久恵 訳 | 医学書院 2003 | 426012708 X | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 8. | 『医者心が心をひらくとき：a piece of mind 上』 | ロクサーヌ・K・ヤング編；李啓充訳 | 医学書院 2002 | 426013899 5 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 9. | 『医者心が心をひらくとき：a piece of mind 下』 | ロクサーヌ・K・ヤング編；李啓充訳 | 医学書院 2002 | 426013900 2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 10. | 『出生と死をめぐる生命倫理：連続と不連続の思想』 | 仁志田博司 | 医学書院 2015 | 978426002 4013 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 11. | 『学生のための医療概論 第4版』 | 小橋 元、近藤 克則、黒田 研二、千代 豪昭 | 医学書院 2020 | 978426004 1256 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 12. | 『らくらく視覚障害生活マニュアル』 | 加藤明彦 | 医歯薬出版 2003 | 426323417 0 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 13. | 『日本の医の倫理：歴史と現代の課題』 | 関根透 | 学建書院 1998 | 476240606 6 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 14. | 『患者の権利とは何か（岩波ブックレット No.297）』 | 鈴木利廣 | 岩波書店 1993 | 400032372 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 15. | 『コンプレックス（岩波新書 青808）』 | 河合隼雄 | 岩波書店 1971 | 400412073 X | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 16. | 『ユーモアは老いと死の妙薬：死生学のすすめ』 | アルフォンス・デーケン | 講談社 1995 | 406207948 8 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 17. | 『対話のレッスン 日本人のためのコミュニケーション術』 | 平田オリザ | 講談社学術文 庫 2015 | 978406292 2999 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| | | | | |
|-----|--|--------------------|----------------------|-------------------|
| 18. | 『新版増補 生命倫理事典』 | 酒井昭夫 | 太陽出版 2010 | 978488469 6672 |
| 19. | 『新版 医療倫理Q&A』 | 関東医学哲学・倫理学会編 | 太陽出版 2013 | 488469769 3 |
| 20. | 『明治を生きた男装の女医 高橋瑞物語』 | 田中ひかる | 中央公論社 2020 | 978412005 3207 |
| 21. | 『人間の詩と真実：その心理学的考察』 | 霜山徳爾 | 中央公論社 絶版 1978 | 978412100 5243 |
| 22. | 『詩と死をむすぶもの：詩人と医師の往復書簡（朝日新書；137）』 | 谷川俊太郎, 徳永進 | 朝日新聞社 2008 | 978402273 2378 |
| 23. | 『インフォームド・コンセント（NHKブックス 711）』 | 森岡恭彦 | 日本放送出版 協会 1994 | 414001711 2 |
| 24. | 『ケースで学ぶ異文化コミュニケーション：誤解・失敗・すれ違い』 | 久米昭元, 長谷川典子著 | 有斐閣 2007 | 978464128 1080 |
| 25. | 『22世紀の医師のリアル：時代を先取る医師に聞く、これからの時代のキャリアの築き方』 | 西崎祐史, 志水太郎, 上原由紀 編 | メジカルビュー社 2023 | 978475831 7863 |

| | | | |
|-------|----|---|---|
| 関連リンク | 1. | スフィアハンドブック 人道憲章と人道支援における最低基準 2018 JQAN | https://jqan.info/wpJQ/wp-content/uploads/2020/04/spherehandbook2018_jpn_web_April2020.pdf |
| | 2. | 講義と演習で学ぶ保健医療行動科学 第2版 | https://www.jahbs.info/textbook.html |
| | 3. | 心理的応急処置（サイコソジカル・ファーストエイド：PFA）フィールド・ガイド．（2011）世界保健機関 | https://www.mhlw.go.jp/content/000805675.pdf |

添付ファイル ※3つまで、1
ファイルにつき5MBまで、圧縮
ファイルOK

| 回数 | 年月日 | 時限 | 授業形式 | 教室 | 開始終了時間 |
|----|------------------------|---|------|----|-------------|
| 1. | 2026/04/16(木) | 5時限 | 講義 | - | 15:15-16:25 |
| | タイトル | 災害医療（1）（203講義室）※収録配信なし、対面のみ | | | |
| | 担当者（所属） | 武田 宗和 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | A-3-1)⑤⑥,A-5-1)①②③,A-7-1)⑥,B-1-7)⑥,B-4-1)⑬, G-4-1-7③-⑥ | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | 1 | | | |
| 2. | 2026/05/22(金) | 3時限 | 行事 | - | 12:30-13:40 |
| | タイトル | 吉岡彌生記念講演会 (各自配信動画を視聴) | | | |
| | 担当者（所属） | 野原 理子 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | A-01-02①、A-01-03②④、A-02-01②④、A-09-01①②③④⑤⑥ | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | 2 | | | |
| 3. | 2026/05/22(金) | 4時限 | 行事 | - | 13:55-15:05 |
| | タイトル | 吉岡彌生記念講演会 (各自配信動画を視聴) | | | |
| | 担当者（所属） | 野原 理子 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | A-01-02①、A-01-03②④、A-02-01②④、A-09-01①②③④⑤⑥ | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | 3 | | | |

| | | | | | |
|----|------------------------|---|----|---------|-------------|
| 4. | 2026/05/22(金) | 5時限 | 行事 | - | 15:15-16:25 |
| | タイトル | 吉岡彌生記念講演会 (各自配信動画を視聴) | | | |
| | 担当者(所属) | 野原 理子 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | A-01-02①、A-01-03②④、A-02-01②④、A-09-01①②③④⑤⑥ | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 4 |
| 5. | 2026/06/13(土) | 1時限 | 行事 | - | 09:30-12:30 |
| | タイトル | 女性医師・研究者支援シンポジウム2026 ※配信とするか未定 | | | |
| | 担当者(所属) | 野原 理子 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | A-8-1)④,A-9-1)①-④ | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 5 |
| 6. | 2026/06/13(土) | 2時限 | 行事 | - | 09:30-12:30 |
| | タイトル | 女性医師・研究者支援シンポジウム2026 ※配信とするか未定 | | | |
| | 担当者(所属) | 野原 理子 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | A-8-1)④,A-9-1)①-④ | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 6 |
| 7. | 2026/10/21(水) | 3時限 | 講義 | 講義室 203 | 12:30-13:40 |
| | タイトル | 緩和ケア | | | |
| | 担当者(所属) | 高山 敬子 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | F-2-16) ①②③④⑤⑥ | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 7 |
| 8. | 2026/10/26(月) | 5時限 | 講義 | 講義室 203 | 15:15-16:25 |
| | タイトル | 生命倫理 (1)「終末期ケアの理論」 | | | |
| | 担当者(所属) | 高山 敬子 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | A-1-1)②③,A-1-2)①-④,A-1-3)②-⑤,A-4-2)①④⑥⑦,B-1-8)⑥⑦,B-2-1)①②,B-3-1)③ | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 8 |
| 9. | 2026/10/27(火) | 3時限 | 講義 | 講義室 203 | 12:30-13:40 |
| | タイトル | 行動科学 (3) ストレスと行動科学 | | | |
| | 担当者(所属) | 小林 清香 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | C-5-1)③,C-5-3)①-④ | | | |

授業予定表

| | | | | | |
|-----|---------------------|---|----|---------|-------------|
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 9 |
| 10. | 2026/10/27(火) | 4 時限 | 実習 | 講義室 203 | 13:55-15:05 |
| | タイトル | 行動科学 (3) ストレスと行動科学・実習 | | | |
| | 担当者 (所属) | 小林 清香 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | C-5-1)③,C-5-3)①-④,C-5-4)①-④ | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 19 |
| 11. | 2026/10/28(水) | 1 時限 | 講義 | 講義室 203 | 09:00-10:10 |
| | タイトル | 患者中心医療 | | | |
| | 担当者 (所属) | 高山 敬子 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | A-1-2)①-④,A-3-1)⑧,A-4-1)①②③,A-4-2)①-⑤,A-5-1)①-④,B-4-1)②③④⑤⑥⑬⑭ | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 10 |
| 12. | 2026/10/29(木) | 3 時限 | 講義 | 講義室 203 | 12:30-13:40 |
| | タイトル | 行動科学 (4) 「行動科学とは／保健医療行動と動機づけ」 | | | |
| | 担当者 (所属) | 諏訪 茂樹 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | B-4-1)①②③④⑨,C-5-7)⑦⑧,C-5-8)①B-4-1) | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 11 |
| 13. | 2026/10/29(木) | 4 時限 | 講義 | 講義室 203 | 13:55-15:05 |
| | タイトル | 行動科学 (5) 「行動変容ステージと各種アプローチ」 | | | |
| | 担当者 (所属) | 諏訪 茂樹 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | A-1-2)②③④,C-5-8)⑤ | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 12 |
| 14. | 2026/11/02(月) | 3 時限 | 講義 | 講義室 203 | 12:30-13:40 |
| | タイトル | 臨床研究倫理 (2) | | | |
| | 担当者 (所属) | 蔭池 勇太 佐々木 孝寛 佐藤 康仁 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | C-5-8)①-⑤ | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 13 |
| 15. | 2026/11/02(月) | 4 時限 | 講義 | - | 13:55-15:05 |
| | タイトル | 臨床研究倫理 (2) ワークショップ※収録配信なし、対面のみ(講義室203) | | | |
| | 担当者 (所属) | 蔭池 勇太 佐々木 孝寛 | | | |

| | | | | | |
|---------|------------------------|--|----|---------|-------------|
| | | 佐藤 康仁 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | C-5-8)①-⑤ | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | 14 | |
| 1 6. | 2026/11/02(月) | 5 時限 | 講義 | - | 15:15-16:25 |
| | タイトル | 臨床研究倫理 (2) ワークショップ※収録配信なし、対面のみ(講義室203) | | | |
| | 担当者 (所属) | 蔣池 勇太 佐々木 孝寛 佐藤 康仁 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | C-5-8)①-⑤ | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | 15 | |
| 1 7. | 2026/11/04(水) | 4 時限 | 講義 | 講義室 203 | 13:55-15:05 |
| | タイトル | キャリアを考える (5) 「海外における卒後臨床研修」 | | | |
| | 担当者 (所属) | 長坂 安子 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | A-4-1)③,A-4-2)①,B-1-3)① | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | 16 | |
| 1 8. | 2026/11/05(木) | 3 時限 | 実習 | 講義室 203 | 12:30-13:40 |
| | タイトル | 災害医療 (2) Psychological First Aid | | | |
| | 担当者 (所属) | 大沼 麻実 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | A-7-1)⑥,B-1-7)⑥,C-5-7)①-⑧ | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | 20 | |
| 1 9. | 2026/11/05(木) | 4 時限 | 実習 | 講義室 203 | 13:55-15:05 |
| | タイトル | 災害医療 (2) Psychological First Aid | | | |
| | 担当者 (所属) | 大沼 麻実 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | A-7-1)⑥,B-1-7)⑥,C-5-7)①-⑧ | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | 21 | |
| 2 0. | 2026/11/06(金) | 3 時限 | 実習 | 講義室 203 | 12:30-13:40 |
| | タイトル | 行動科学 (6) 行動変容の理論と技法 | | | |
| | 担当者 (所属) | 辻 かをる 井上 敦子 小林 清香 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | C-5-8)①-⑤ | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | 22 | |

| | | | | | |
|---------|------------------------|----------------------------------|----|---------|-------------|
| 2 1. | 2026/11/06(金) | 4時限 | 実習 | 講義室 203 | 13:55-15:05 |
| | タイトル | 行動科学 (6) 行動変容の理論と技法 | | | |
| | 担当者 (所属) | 辻 かをる 井上 敦子 小林 清香 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | C-5-8)①-⑤ | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 23 |
| 2 2. | 2026/11/06(金) | 5時限 | 講義 | 講義室 203 | 15:15-16:25 |
| | タイトル | キャリアを考える (6) 「大学病院における臨床医」 | | | |
| | 担当者 (所属) | 篠崎 和美 遠井 素乃 番場 嘉子 山口 沙耶 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | A-9-1)①-④ | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 17 |
| 2 3. | 2026/11/11(水) | 2時限 | 講義 | 講義室 203 | 10:25-11:35 |
| | タイトル | ハンセン病問題から学ぶこと | | | |
| | 担当者 (所属) | 野原 理子 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | A-1-1) ① | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 18 |

| | |
|-----------|-------|
| 科目名 | 健康管理 |
| 科目責任者(所属) | 横田 仁子 |

| | |
|------|--|
| 到達目標 | <p>医師という職業選択をすでにさせている皆さんは職業上、医師として患者さんの健康管理に携わることになります。そのためには、自身の健康管理を学生中に身につけておくことが大変重要です。また自身の健康管理することは、たとえばいつも机を並べる友人達、実習班の友人、同学年、医学部全体、大学全体、しいては、病院を守ることに繋がります。健康管理の重要性を学ぶと同時に、皆さんのカリキュラムに沿った健康管理についてセグメントごとに講義を行い、皆さんに自身の健康管理について、予定されている健康管理行事の意義を理解し積極的に参加してほしいと考えています。</p> <p>また、昨今では大学生のメンタルヘルスの重要性が社会で問われていますが、医学部では、共用試験が医師国家試験前に在学中に施されるようになり、大変ストレスのかかりやすい状況です。そうであっても、大学に理念にありますように社会に貢献できる女性医師となるためには、在学中に身体のみならず、心の健康についても6年間かけて自身でコントロールできるようになっていくべきと考えています。</p> |
|------|--|

| | |
|---------------------------|--|
| アウトカム・ロードマップに係わる到達目標/項目番号 | <p>人体の臓器・器官系の機能と構造、正常と異常を説明できる。 I-1-A-(3-4)-①</p> <p>全身的疾患、外的要因による異常を説明できる。 I-1-A-(3-4)-②</p> <p>疾病予防・健康維持・公衆衛生の方法を説明できる。 I-1-B-(3-4)-③</p> <p>問題の優先度および重要度を判断できる。 I-2-A-(3-4)-①</p> <p>事例で診療上の心理的・社会的問題を明らかにできる。 I-2-A-(3-4)-②</p> <p>女性のライフサイクルを説明できる。 II-2-C-(3-4)-②</p> <p>自分の特性を活かして学習できる。 II-2-D-(3-4)-①</p> <p>討論・話し合いを促せる。 II-4-B-(3-4)-①</p> <p>自分の方針を説明し同意を得ることができる。 II-4-B-(3-4)-②</p> <p>活動向上のための評価に基づく行動をグループに導入できる。 II-4-B-(3-4)-③</p> |
|---------------------------|--|

| | |
|----------|----------------------|
| 学修(教育)方法 | 講義・健康管理行事・学生健康管理室の受診 |
|----------|----------------------|

| | |
|-----------------|--|
| 評価方法(1)総括的評価の対象 | 講義への出席、学生健康管理行事への参加(定期健康診断、インフルエンザワクチン接種、その他)を形成的に評価する。総括的評価の対象とはしない |
|-----------------|--|

| | |
|-------------|--|
| 評価方法(2)評価項目 | <p>医療従事者の健康管理(予防接種を含む)の重要性を説明できる。 A-06-03-①</p> <p>ライフステージに応じた健康管理と環境・生活習慣改善(環境レベル、知識レベル、行動レベルと行動変容)を説明できる。 B-01-05-⑥</p> <p>各ライフステージの健康問題(母子保健、学校保健、産業保健、成人・高齢者保健)を説明できる。 B-01-06-④</p> |
|-------------|--|

| | |
|---------------|--|
| 評価方法(2)評価項目続き | |
|---------------|--|

| | |
|-------------|--|
| 評価方法(3)評価基準 | 講義・健康管理行事・学生健康管理室の受診において、出席や態度で100%評価する。 |
|-------------|--|

| | |
|---------|---|
| 事前・事後学修 | - |
|---------|---|

| | |
|------|--------------------|
| 伝達事項 | 健康管理行事に理由無く欠席しないこと |
|------|--------------------|

| | |
|------|--|
| 実務経験 | ○ 大学病院の医師としての実務経験を以て、医療現場で生かせるような教育を行う |
|------|--|

| | No | 書籍名 | 著者名 | 上段：出版社 | ISBN |
|----------|----|--------------------------|--------------------------|--------------------|-------------------|
| | | | | 下段：出版年 | |
| 教科書・参考図書 | 1. | 『健康行動と健康教育』 | 【訳】曾根智史ら | 医学書院 2006年 | 978-4-260-00350-6 |
| | 2. | 『近代日本の女性専門職教育』 | 渡邊洋子 | 明石書店 2014年 | 978-4-7503-4097-5 |
| | 3. | 『吉岡弥生 吉岡弥生伝』 | 吉岡弥生女史伝記編集委員会 | 日本図書センター 1998年 | 4-8205-4308-3 |
| | 4. | 『最新 行動科学からみた健康と病気』 | 宗像恒次 | メヂカルフレンド社 1996年 | 978-4-8392-1025-0 |
| | 5. | 『最新 保健学講座(別巻1)健康教育論』 | 宮坂忠夫・川田智恵子・吉田亨 | メヂカルフレンド社 2006年 | 978-4-8392-1282-7 |
| | 6. | 『学生のための健康管理学(改訂2版)』 | 木村康一・熊澤幸子・近藤陽一 | 南山堂 2007年 | 978-4-525-62052-3 |
| | 7. | 『最新 女性心身医学』 | 本庄英雄監修、女性心身医学会編 | ぱーそん書房 2015年 | 978-4907095246 |
| | 8. | 『TEXT BOOK 女性心身医学』 | 玉田太朗・本庄英雄編集責任、日本女性心身医学会編 | 永井書店 2006年 | 978-4-8159-1760-9 |
| | 9. | 『コンサイスガイド 女性のためのメンタルヘルス』 | 【訳】島悟・長谷川恵美子 | 日本評論社 | 4-535-98163-9 |

| | | | | |
|-------------------------------------|-----|----------------------------------|---|------------------------------------|
| | | | 1999年 | |
| | 10. | 『健康格差社会 何が心と健康を蝕むのか』 | 近藤克則 | 医学書院 2005年 978-4-260-00143-4 |
| | 11. | 『格差社会と健康 社会疫学からのアプローチ』 | 川上憲人・小林廉毅・橋本英樹編 | 東京大学出版会 2006年 4-13-060406-6 |
| 関連リンク | 1. | 日本環境感染学会 医療者関係者のためのワクチンガイドライン第2版 | http://www.kankyokansen.org | |
| | 2. | 文部科学省 学校において予防すべき感染症の概説 | http://www.mext.go.jp/a_menu/kenko | |
| 添付ファイル ※3つまで、1ファイルにつき5MBまで、圧縮ファイルOK | | | | |

| | | | | | | |
|-------|----|------------------------|-------------------|------|---------|-------------|
| 授業予定表 | 回数 | 年月日 | 時限 | 授業形式 | 教室 | 開始終了時間 |
| | 1. | 2026/04/07(火) | 2時限 | 講義 | 講義室 203 | 10:25-11:35 |
| | | タイトル | CBT,OSCEに向けての健康管理 | | | |
| | | 担当者(所属) | 横田 仁子 | | | |
| | | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | | | | |
| | | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | |
| | | | | | 1 | |

基礎研究医養成プログラム

(趣旨)

第1条 本規程は、東京女子医科大学（以下「本学」という。）大学院学則第8および9条関係「履修方法に関する内規」に関し、本学の医学部学生（以下「学生」という。）で本学大学院医学研究科の基礎医学系（機能学系、形態学系、社会医学系）または先端生命医科学系専攻の各分野（以下「対象分野」という。）への進学を希望する者に対する仮単位履修制度（以下「本履修制度」という。）の取扱いについて必要な事項を定める。

(名称)

第2条 本履修制度を「基礎研究医養成プログラム」（以下「本プログラム」という。）と称する。
2 本プログラム登録を行った者（以下「登録者」という。）は、医学部在学中より本学大学院医学研究科の単位を仮単位として履修し、初期臨床研修の2年間で大学院医学研究科の1～2年次と兼ねることができる。

(目的)

第3条 本プログラムは、医学部在学中に医学部のカリキュラムと並行して大学院医学研究科の教育を受け、研究マインドを醸成し、基礎医学系の研究者を育成することを目的とする。

(資格)

第4条 本プログラムは、以下の資格条件を満たす者を対象とする。
(1) 本学医学部の3年から6年次に在籍する学生。
(2) 所属を希望する対象分野の指導教授から推薦のあった者。
(3) 原則として初期臨床研修を本学内の病院で行う予定の者。ただし、教務委員会が認めればその限りでない。

(定員)

第5条 対象分野につき若干名（指導教授の判断による）。

(登録)

第6条 本プログラムの履修を希望する者は、次の書類を学務課に提出しなければならない。
(1) 基礎研究医養成プログラム登録申請書
(2) 対象分野の指導教授からの推薦書

(登録許諾)

第7条 教務委員会は、登録の許否につき、書類審査および必要に応じて面接（志望者および対象分野の指導教授）を行った上で個別に審議し、登録を許可する場合は大学院委員会の承諾を得る。

(登録取消し)

第8条 登録者が登録を取り消す場合、理由書を付して教務委員会に提出する。教務委員会は、提出された理由書を個別に審議し、取り消す場合は大学院委員会の承諾を得る。

(履修科目および単位数)

第9条 履修科目および単位数について、登録者は、医学部在籍中（3～6年次）に、本学大学院学則第8および9条関係「履修方法に関する内規」に定める学科目のうち、次のものを履修し、仮単位とすることができる（大学院修了に必要な最低修得単位数30単位のうち、最大24単位まで）。

- ・ 大学院共通カリキュラム：
「実習（機能学系、形態学系、社会医学系、先端生命医科学系専攻の実習）」4単位（2系の実習）
- ・ 大学院共通カリキュラム：
「教授（基幹分野長）による講義」5単位（講義25コマ）
- ・ 主分野：15単位

- 2 履修方法は、本学大学院学則ならびに本学大学院学則第8および9条関係「履修方法に関する内規」による。
- 3 登録者は、医学部在籍中の本プログラム履修に要する費用を負担しない。

(履修学科目、仮単位の認定)

第10条 大学院委員会は、履修学科目および仮単位について、登録者から提出された「仮単位申請書」により個別に審議し、仮単位の認定を行う。

(大学院入学の単位申請)

第11条 登録者は、6年次から後期臨床研修修了までに、本学大学院医学研究科の入学試験を受験する。大学院入学後の所属は原則として医学部在籍中に登録した対象分野とする。入学許可後、第10条において認定した仮単位を既修得単位とする。

(改廃)

第12条 本規程の改廃は、決裁規程に基づき、理事会運営会議または理事会の承認を得るものとする。

| | | | | | |
|-------------------------------------|---|---------------------|-----|------------------|------|
| 科目名 | 臨床推論TBL | | | | |
| 科目責任者(所属) | - | | | | |
| 到達目標 | リンク集または「学修の手引き」参照 | | | | |
| アウトカム・ロードマップに係わる到達目標/項目番号 | リンク集または「学修の手引き」参照 - | | | | |
| 学修(教育)方法 | リンク集または「学修の手引き」参照 | | | | |
| 評価方法(1)総括的評価の対象 | リンク集または「学修の手引き」参照 | | | | |
| 評価方法(2)評価項目 | リンク集または「学修の手引き」参照 - | | | | |
| 評価方法(2)評価項目続き | | | | | |
| 評価方法(3)評価基準 | リンク集または「学修の手引き」参照 | | | | |
| 事前・事後学修 | 講義前にアップロードされている資料で事前学修し、講義でのテストや講義者からの解説をもとに事後学修する。 | | | | |
| 伝達事項 | リンク集または「学修の手引き」参照 | | | | |
| 実務経験 | | | | | |
| 教科書・参考図書 | No | 書籍名 | 著者名 | 上段：出版社 下段：出版年 | ISBN |
| | 1. | 『リンク集または「学修の手引き」参照』 | | | |
| 関連リンク | | | | | |
| 添付ファイル ※3つまで、1ファイルにつき5MBまで、圧縮ファイルOK | | | | | |

| 回数 | 年月日 | 時限 | 授業形式 | 教室 | 開始終了時間 |
|----|------------------------|----------------------------------|---------|-------|-------------|
| 1. | 2026/05/25(月) | 1時限 | テュートリアル | PC室 1 | 09:00-10:10 |
| | タイトル | オリエンテーション | | | |
| | 担当者(所属) | 吉永 健太郎 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | | | | |
| | 講義資料番号/連番(LMS) | | | | 1 |
| 2. | 2026/05/26(火) | 1時限 | テュートリアル | PC室 1 | 10:00-11:40 |
| | タイトル | 第1課題 10:00-11:40(PC室1)※対面のみで配信無し | | | |
| | 担当者(所属) | 吉永 健太郎 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | | | | |
| | 講義資料番号/連番(LMS) | | | | 2 |
| 3. | 2026/05/26(火) | 2時限 | テュートリアル | - | 10:00-11:40 |
| | タイトル | 第1課題 10:00-11:40(PC室1)※対面のみで配信無し | | | |

| | | | | | |
|----|------------------------|----------------------------------|---------|-------|-------------|
| | 担当者（所属） | 吉永 健太郎 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 3 |
| 4. | 2026/05/29(金) | 1 時限 | テュートリアル | PC室 1 | 10:00-11:40 |
| | タイトル | 第2課題 10:00-11:40(PC室1)※対面のみで配信無し | | | |
| | 担当者（所属） | 吉永 健太郎 菊池 賢 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 4 |
| 5. | 2026/05/29(金) | 2 時限 | テュートリアル | - | 10:00-11:40 |
| | タイトル | 第2課題 10:00-11:40(PC室1)※対面のみで配信無し | | | |
| | 担当者（所属） | 吉永 健太郎 菊池 賢 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 5 |
| 6. | 2026/06/02(火) | 1 時限 | テュートリアル | PC室 1 | 10:00-11:40 |
| | タイトル | 第3課題 10:00-11:40(PC室1)※対面のみで配信無し | | | |
| | 担当者（所属） | 吉永 健太郎 川口 鎮司 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 6 |
| 7. | 2026/06/02(火) | 2 時限 | テュートリアル | - | 10:00-11:40 |
| | タイトル | 第3課題 10:00-11:40(PC室1)※対面のみで配信無し | | | |
| | 担当者（所属） | 吉永 健太郎 川口 鎮司 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 7 |
| 8. | 2026/06/05(金) | 1 時限 | テュートリアル | PC室 1 | 10:00-11:40 |
| | タイトル | 第4課題 10:00-11:40(PC室1)※対面のみで配信無し | | | |
| | 担当者（所属） | 田中 栄一 並木 みずほ 樋口 智昭 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | | | | |

授業予定表

| | | | | | |
|-----|------------------------|----------------------------------|---------|-------|-------------|
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 8 |
| 9. | 2026/06/05(金) | 2 時限 | テュートリアル | - | 10:00-11:40 |
| | タイトル | 第4課題 10:00-11:40(PC室1)※対面のみで配信無し | | | |
| | 担当者 (所属) | 田中 榮一 並木 みずほ 樋口 智昭 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 9 |
| 10. | 2026/06/09(火) | 1 時限 | テュートリアル | PC室 1 | 10:00-11:40 |
| | タイトル | 第5課題 10:00-11:40(PC室1)※対面のみで配信無し | | | |
| | 担当者 (所属) | 中村 真一 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 10 |
| 11. | 2026/06/09(火) | 2 時限 | テュートリアル | - | 10:00-11:40 |
| | タイトル | 第5課題 10:00-11:40(PC室1)※対面のみで配信無し | | | |
| | 担当者 (所属) | 中村 真一 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 11 |
| 12. | 2026/06/12(金) | 1 時限 | テュートリアル | PC室 1 | 10:00-11:40 |
| | タイトル | 第6課題 10:00-11:40(PC室1)※対面のみで配信無し | | | |
| | 担当者 (所属) | 並木 みずほ 八岡 利昌 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 12 |
| 13. | 2026/06/12(金) | 2 時限 | テュートリアル | - | 10:00-11:40 |
| | タイトル | 第6課題 10:00-11:40(PC室1)※対面のみで配信無し | | | |
| | 担当者 (所属) | 並木 みずほ 八岡 利昌 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | | 13 |
| 14. | 2026/06/16(火) | 1 時限 | テュートリアル | PC室 1 | 10:00-11:40 |
| | タイトル | 第7課題 10:00-11:40(PC室1)※対面のみで配信無し | | | |

| | | | | | |
|---------|------------------------|----------------------------------|---------|-------|-------------|
| | 担当者（所属） | 吉永 健太郎 藤堂 謙一 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | 14 | | | |
| 1 5. | 2026/06/16(火) | 2 時限 | テュートリアル | - | 10:00-11:40 |
| | タイトル | 第7課題 10:00-11:40(PC室1)※対面のみで配信無し | | | |
| | 担当者（所属） | 吉永 健太郎 藤堂 謙一 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | 15 | | | |
| 1 6. | 2026/06/19(金) | 1 時限 | テュートリアル | PC室 1 | 10:00-11:40 |
| | タイトル | 第8課題 10:00-11:40(PC室1)※対面のみで配信無し | | | |
| | 担当者（所属） | 並木 みずほ 森 周介 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | 16 | | | |
| 1 7. | 2026/06/19(金) | 2 時限 | テュートリアル | - | 10:00-11:40 |
| | タイトル | 第8課題 10:00-11:40(PC室1)※対面のみで配信無し | | | |
| | 担当者（所属） | 並木 みずほ 森 周介 | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | 17 | | | |

Problem based learning (PBL) テュートリアルと Team-based learning (TBL) について

PBL テュートリアル (テュートリアル) と TBL の概略

テュートリアルと TBL はいずれも active learning に含まれる学修法である。本学ではテュートリアルを医師としての考え方を身につけるための学修法として 1990 年度から導入し、TBL を問題解決能力の向上のための学修法として 2008 年度から導入した。

1. PBL テュートリアル (テュートリアル) とこれまでの累進型について

テュートリアルでは、既に学んだあるいはこれから学ぶ知識を、人体内の現象、環境・外界と生体の関連、生体構造・機能の正常と異常、病者の理解と医療の実践、患者・家族・社会と医療・公衆衛生の関わりなどの視点で、どのように使い、医師としてあるいは医学者として考え、判断するために活用するかを修得する。医師は患者の問題を、研究者は科学的真理を自ら見つけ探究する専門職であり、テュートリアルはその方法と姿勢を修得し生涯学び発展できるための力と自信をつけるための学修である。

その全体的な目的は：

- 1) 未知の課題 (専門職として自分がなさなければならないこと) に取り組む力を身につける (能動学修)。
- 2) 実際の流れ (現象や症例) の中で、解決すべき問題を見つける力を身につける。
- 3) 問題を解決するために、自分で方法を考え、情報検索を行い、分析・解釈を行う力を身につける (自己方向付け学修)。
- 4) 自分の問題解決 (学修結果) を互いに教え合うことにより (グループ討論)、学修の確かさと不確かな点を明らかにして自分の学修を振り返り (省察) 次の目標を立て、更に深く学び理解する姿勢を身につける。

これまでの大きな流れとして、1 年生から 4 年生にかけて、自己学修を通じて行った問題解決を学生同士で教え合い振り返り合うテュートリアルの流れと学び方を学ぶ「入門テュートリアル」、課題から学修者が自分で解決すべき問題を考えて学修目標に設定する「学修項目発見型テュートリアル」、自分が必要なことは課題から発展させ、関係する領域全体を見渡して学ぶ「領域を統合して学ぶテュートリアル」、臓器・器官系の構造と機能の正常と異常についての学修をするとともに、医学的な診断治療だけではなく、患者・家族の心理、患者支援・医療費など社会とのつながり、疫学・公衆衛生などを学修する「診療問題解決型テュートリアル」へと累進し、学生が考える力を段階的に高めていけるように「累進型テュートリアル」という形を構築して実施してきた。

2. Team-based learning (TBL) と高学年セグメントでの学修の継続

TBL では教員・学生間および学生・学生間の双方向性授業を通じてお互いの知識を活用した問題解決を行う。具体的には、個人で学修し、関連した問題について個人で解答し、次に小グループ (チーム) に分かれ討論・解答し、専門家 (教員) からの説明を含むクラス全体の学修内容共有を行う学修法である。数回の授業を通じて基礎的学修だけでなく、発展・応用的な内容に進む。

2008年度から4年生前期（セグメント7）で問題解決能力のさらなる向上のために、従来の「診療問題解決型テュートリアル」に代わってTBLを導入し、診療上の問題解決の中で、診療・治療を中心に考え方を学ぶTBLが行われている。臨床実習を行うにあたり、医師の基本能力ともいえる患者に合わせた診断・治療を考えることを臨床推論TBLという学修法で学ぶ。また、2013年度から1年生後期（セグメント2）では「学修項目発見型テュートリアル」の段階でTBLを行っており、ここでは、セグメント1で学んだテュートリアルの方法を発展させ、より高学年で学ぶ医学への橋渡しとなる役割をなしてきた。2020年度から2, 3, 4年生（セグメント3-7）においてもテュートリアルに代わってTBLによる学修が開始された。TBLは4年生で終了するが、医師にとって必要な考え方を学ぶ学修は卒業まで続けられる。4年生1月（セグメント9）以降の「診療参加型臨床実習」はそれまでに学んできた問題解決能力を本格的に臨床で実践しながら学ぶ機会となり、テュートリアルやTBLで体得した考える力は、卒業までに医師として考える力の継続的な向上につながっていく。

Team-based learning (TBL) について

科目責任者：中村 真一（消化器内科学）

※2022年度は新型コロナウイルス感染症の状況により適宜内容の変更を行う。

TBLの特徴

1. 予習（事前学修）を前提としている。
2. 個人で考えた後、チーム内で問題点についての討議を行い、全体セッションでチーム間の討議と教員の解説を行う双方向型の授業。
3. 1人もしくは2人の教員がすべてのチームを管理。
4. 教員は司会者および当該科目の専門家として機能する。

本学での目的

第4学年では、臨床推論入門及び臨床倫理などに関する考え方を修得することを目的とする。

よって、診療上の問題解決の中で、診断治療を中心に考え方を学ぶTBLが行われる。診療参加型臨床実習を行うにあたり、医師の基本能力ともいえる患者に合わせた診断・治療を考えることを臨床推論TBLという学修法で学ぶ。

TBLの概要

予習・事前自己学修

事前に配布された事前学修項目を含む予習シートおよび予習資料に沿って、学生は個々に自己学修を行う。

1. 個人テスト
 - ・ 事前学修の内容に関する問題について、個人テストを施行する。レスポンスアナライザー（もしくは WebClass）で解答する。
2. チーム内討論とチームテスト
 - ・ 出題された問題について、チーム内で検討し、レスポンスアナライザー（もしくは WebClass）で解答する。
3. チーム間討論
 - ・ 解答が修了した後にレスポンスアナライザー（もしくは WebClass）で集計したチームの解答状況を表示する。
 - ・ チーム毎に発表を行い、クラス全体で討論する。
 - ・ なお、チーム間討論は COVID の感染や講義室の状況により実施しないことがある。
4. 教員によるフィードバック
 - ・ 質疑応答を行う。さらに教員が解説講義を行う。

評価

1. TBL の正答の算出方法および評価
 - ・ 正答は 1 問の点数を 1 点とする。正解数 / セグメント総出題数を正答率とする。
 - ・ セグメントの正答率を 5 段階評価とし、評点 3.0 点以上を合格、3.0 点未満を不合格とする。
 - ・ 正答は WebClass もしくはレスポンスアナライザーによる解答を以って判断する。
 - ・ 課題作成教員が不適切問題と判断した場合、削除問題としセグメント総出題数から除外する。
2. TBL に遅刻・早退および欠席した学生の評価について
 - ・ 制限時間内に解答しなかった試験問題は不正解扱い、0 点とする。
 - ・ 解答しなかった試験問題については課題のレポートを提出する。
 - ・ セグメントの 3 分の 2 以上の出席を満たさない（3 分の 2 以上の問題に解答しなかった）場合には、不合格とする。
 - ・ 当該学年教育委員会は、学生が提出した欠席届（診断書等）に基づき、正当な理由によるやむを得ない欠席であるかを判断する。
3. 正当な理由によるやむを得ない欠席であると認めた場合の対応
 - ・ 当該学年教育委員会が正当な理由によるやむを得ない欠席であると判断した場合には、

当該回の解答を免除する。

- ・ 免除による当該セグメントの TBL 評点の算出にあたっては、「正答数/セグメント総出題数から免除回の出題数を除いた総出題数」を正答率とし、当該セグメントの TBL 評点とみなすことができる。

・

4. 不合格となった場合の対応

- ・ セグメントの評点 3.0 未満で不合格となった場合、セグメントの 3 分の 2 以上の出席を満たさない場合は特別指導を行う。特別指導では正答率 60% 未満であった教科の代替学修を課し、合否を判定する。

授業としての一般的遵守事項

1. TBL は授業であるので飲食は行わない。
2. 教科書・資料の持ち込みは許可するが、個人のテスト中の使用は不可とする。
3. 臨床推論を学ぶ授業の一環であるが、個人テスト、チームテストともに個人成績に反映されるものであり、一般の試験と同様に真摯な態度で受けること。

用語解説

司会者：TBL の進行役を担う教員（当該科目の専門家が兼ねることがある）

予習シート：TBL のための予習すべき学修項目が記載されたシート（予習資料に記載されることもある。）

予習資料：初回は症例の簡単な現病歴と症候などの症例背景について記載されたシート。それ以降は次回の授業にあたって必要な症例の臨床経過などについて記載されたシートや症例に関する検査所見、画像など

資料：授業の進行に沿って提示される症例の臨床経過などのシート、検査データ、画像などの資料

個人テスト：個人で解答するテスト。個人テストはノート、教科書、参考書を見ることなく、自分の力で解答する。

チーム内討論、チームテスト：原則としてチームテストとして与えられた問題について、チーム内で検討し、チームとして解答する。

チーム間討論：チームテスト終了後、各チームの解答をもとに、解答の違い、解答の根拠をチーム間で討論する機会。司会者または教員が進行する。

フィードバック：チーム内討論、チーム間討論での学生の問題解決に対して、教員がコメントを述べ、質疑応答を行う。さらに解説講義を行う。

チュートリアル・TBL日程/課題作成者

| 課題番号 | 実施日程年月日 | 曜 | 時間 | 講義室 | 担当科 | 担当教員 (課題作成者) 氏名 | 備考 |
|---------------|-----------|-----|-------------|-----|------------------------|--------------------|----|
| オリエン テーション | 2026/5/25 | (月) | 09:00~10:10 | 203 | 内科学 (血液内科学分野) | 吉永 健太郎 | 対面 |
| 1 | 2026/5/26 | (火) | 10:00~11:40 | PC1 | 内科学 (血液内科学分野) | 吉永 健太郎 | 対面 |
| 2 | 2026/5/29 | (金) | 10:00~11:40 | PC1 | 感染症科、 内科学 (血液内科学分野) | 菊池 賢 吉永 健太郎 | 対面 |
| 3 | 2026/6/2 | (火) | 10:00~11:40 | PC1 | 内科学 (膠原病リウマチ内科学 分野) | 川口 鎮司 | 対面 |
| 4 | 2026/6/5 | (金) | 10:00~11:40 | PC1 | 内科学 (膠原病リウマチ内科学 分野) | 田中 榮一 樋口 智昭 | 対面 |
| 5 | 2026/6/9 | (火) | 10:00~11:40 | PC1 | 内科学 (消化器内科学分野) | 中村 真一 | 対面 |
| 6 | 2026/6/12 | (金) | 10:00~11:40 | PC1 | 内科学 (総合診療・総合内科学 分野) | 八岡 利昌 | 対面 |
| 7 | 2026/6/16 | (火) | 10:00~11:40 | PC1 | 内科学 (脳神経内科学分野) | 藤堂 謙一 | 対面 |
| 8 | 2026/6/19 | (金) | 10:00~11:40 | PC1 | 救急医学 (救急医学分野) | 森 周介 | 対面 |

IV 試験科目表・試験日程表

試験科目表・試験日程表

| 日付 | 曜日 | 時間 | 試験科目 | 場所 |
|------|----|---------------|-----------------------|-----------|
| 5/7 | 木 | 10:00 ~ 12:00 | 血液・リンパ系 | 203 & 202 |
| 5/8 | 金 | 10:00 ~ 12:30 | 免疫・アレルギー疾患・膠原病 | 203 & 202 |
| 5/23 | 土 | 10:00 ~ 12:30 | 免疫・アレルギー疾患・膠原病(追・再試験) | 203 |
| 5/30 | 土 | 10:00 ~ 12:00 | 血液・リンパ系(追・再試験) | 203 |
| 7/1 | 水 | 10:00 ~ 12:00 | 感染症系 | 203 & 202 |
| 7/2 | 木 | 10:00 ~ 12:00 | 環境と健康・疾病・障害 | 203 & 202 |
| 7/3 | 金 | 10:00 ~ 12:00 | 社会制度と保健・医療・福祉 | 203 & 202 |
| 7/7 | 火 | 10:00 ~ 11:30 | 基本的治療法 | 203 & 202 |
| 7/8 | 水 | 10:00 ~ 12:00 | 診療の基礎 | 203 & 202 |
| 7/9 | 木 | 10:00 ~ 11:30 | 麻酔・周術期管理 | 203 & 202 |
| 7/10 | 金 | 10:00 ~ 11:30 | 救命救急医療 | 203 & 202 |
| 7/13 | 月 | 10:00 ~ 13:00 | P-SAT | PC1 |
| 7/27 | 月 | 10:00 ~ 12:00 | 感染症系(追・再試験) | 203 |
| 7/28 | 火 | 10:00 ~ 12:00 | 環境と健康・疾病・障害(追・再試験) | 203 |
| 7/29 | 水 | 10:00 ~ 11:30 | 基本的治療法(追・再試験) | 203 |
| 7/30 | 木 | 10:00 ~ 11:30 | 救命救急医療(追・再試験) | 203 |
| 7/30 | 木 | 13:00 ~ 14:30 | 麻酔・周術期管理(追・再試験) | 203 |
| 7/31 | 金 | 10:00 ~ 12:00 | 診療の基礎(追・再試験) | 203 |
| 7/31 | 金 | 13:00 ~ 15:00 | 社会制度と保健・医療・福祉(追・再試験) | 203 |
| 8/20 | 木 | 10:00 ~ 13:00 | P-SAT(追・再試験) | PC1 |

| | | | | | |
|-------------------------------------|---------------------------|---------------------|-----|------------------|------|
| 科目名 | 総合試験 P - S A T (問題解決能力試験) | | | | |
| 科目責任者(所属) | 西井 明子 | | | | |
| 到達目標 | リンク集または「学修の手引き」参照 | | | | |
| アウトカム・ロードマップに係わる到達目標/項目番号 | リンク集または「学修の手引き」参照 | | | | |
| 学修(教育)方法 | リンク集または「学修の手引き」参照 | | | | |
| 評価方法(1)総括的評価の対象 | リンク集または「学修の手引き」参照 | | | | |
| 評価方法(2)評価項目 | リンク集または「学修の手引き」参照 | | | | |
| 評価方法(2)評価項目続き | | | | | |
| 評価方法(3)評価基準 | リンク集または「学修の手引き」参照 | | | | |
| 事前・事後学修 | | | | | |
| 伝達事項 | リンク集または「学修の手引き」参照 | | | | |
| 実務経験 | | | | | |
| 教科書・参考図書 | No | 書籍名 | 著者名 | 上段：出版社 下段：出版年 | ISBN |
| | 1. | 『リンク集または「学修の手引き」参照』 | | | |
| 関連リンク | | | | | |
| 添付ファイル ※3つまで、1ファイルにつき5MBまで、圧縮ファイルOK | | | | | |

| 回数 | 年月日 | 時限 | 授業形式 | 教室 | 開始終了時間 |
|----|------------------------|-----------------------------|------|----|-------------|
| 1. | 2026/07/13(月) | 1時限 | 試験 | - | 10:00-13:00 |
| | タイトル | P-SAT 試験 10:00-13:00 (PC室1) | | | |
| | 担当者(所属) | -- | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | | | | |
| | 講義資料番号/連番(LMS) | | | | 1 |
| 2. | 2026/07/13(月) | 2時限 | 試験 | - | 10:00-13:00 |
| | タイトル | P-SAT 試験 10:00-13:00 (PC室1) | | | |
| | 担当者(所属) | -- | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | | | | |
| | 講義資料番号/連番(LMS) | | | | 2 |
| 3. | 2026/07/13(月) | 3時限 | 試験 | - | 10:00-13:00 |
| | タイトル | P-SAT 試験 10:00-13:00 (PC室1) | | | |

授業予定表

| | | | | | |
|----|------------------------|------------------------------------|-------|---|-------------|
| | 担当者（所属） | -- | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | 3 | |
| 4. | 2026/08/20(木) | 1 時限 | 追・再試験 | — | 10:00-13:00 |
| | タイトル | P-SAT 追・再試験 10 : 00-13 : 00 (PC室1) | | | |
| | 担当者（所属） | -- | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | 4 | |
| 5. | 2026/08/20(木) | 2 時限 | 追・再試験 | — | 10:00-13:00 |
| | タイトル | P-SAT 追・再試験 10 : 00-13 : 00 (PC室1) | | | |
| | 担当者（所属） | -- | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | 5 | |
| 6. | 2026/08/20(木) | 3 時限 | 追・再試験 | — | 10:00-13:00 |
| | タイトル | P-SAT 追・再試験 10 : 00-13 : 00 (PC室1) | | | |
| | 担当者（所属） | -- | | | |
| | コアカリキュラム/S10 国試出題基準 | | | | |
| | 講義資料番号/連番 (LMS) | | | 6 | |

VI S7,S8 教育委員会・学生アドバイザー・学生委員

S7 教育委員会

| | | | |
|------|------|----------|------------------------|
| 委員長 | 野原理子 | 教授・基幹分野長 | (衛生学公衆衛生学 (公衆衛生学分野)) |
| 副委員長 | 竹村洋典 | 教授・基幹分野長 | (内科学 (総合診療・総合内科学分野)) |
| 委員 | 柳澤直子 | 教授 | (微生物学免疫学分野) |
| | 瀬尾幸子 | 教授・基幹分野長 | (内科学 (血液内科学分野)) |
| | 勝又康弘 | 教授・基幹分野長 | (内科学 (膠原病リウマチ内科学分野)) |
| | 森周介 | 教授・基幹分野長 | (救急医学 (救急医学分野)) |
| | 長坂安子 | 教授・基幹分野長 | (麻酔科学 (麻酔科学分野)) |
| | 種田積子 | 准教授 | (病理診断科学 (病理診断学分野)) |
| | 廣田恵子 | 講師 | (衛生学公衆衛生学 (環境・産業医学部門)) |
| | 鈴木敦 | 講師 | (内科学 (循環器内科学分野)) |
| | 尾身葉子 | 講師 | (外科学 (内分泌外科学分野)) |
| | 西井明子 | 教授 | (統合教育学修センター基礎教育学) |

S8 教育委員会

| | | | |
|------|------|----------|----------------------|
| 委員長 | 竹村洋典 | 教授・基幹分野長 | (内科学 (総合診療・総合内科学分野)) |
| 副委員長 | 野原理子 | 教授・基幹分野長 | (衛生学公衆衛生学 (公衆衛生学分野)) |
| 委員 | 木村容子 | 教授 | (東洋医学研究所) |
| | 小林博人 | 教授 | (輸血・細胞プロセッシング部) |
| | 種田積子 | 准教授 | (病理診断科学 (病理診断学分野)) |
| | 西井明子 | 教授 | (統合教育学修センター基礎教育学) |
| | 大月道夫 | 教授・基幹分野長 | (内科学 (内分泌内科学分野)) |
| | 林基弘 | 教授・部門長 | (脳神経外科学 (脳神経外科学分野)) |
| | 鈴木敦 | 講師 | (内科学 (循環器内科学分野)) |
| | 尾身葉子 | 講師 | (外科学 (内分泌外科学分野)) |

テュートリアル・TBL 委員会

| | | | |
|---------|-------|------|----------------------|
| 委員長 | 中村真一 | 教授 | (内科学 (消化器内科学分野)) |
| 副委員長 | 飯嶋睦 | 教授 | (内科学 (脳神経内科学分野)) |
| | 山村幸江 | 准教授 | (耳鼻咽喉科学 (耳鼻咽喉科学分野)) |
| | 越野一朗 | 講師 | (統合教育学修センター基礎科学) |
| 委員 (S7) | 吉永健太郎 | 講師 | (内科学 (血液内科学分野)) |
| | 川口鎮司 | 臨床教授 | (内科学 (膠原病リウマチ内科学分野)) |
| | 並木みずほ | 講師 | (救急医学 (救急医学分野)) |
| | 尾身葉子 | 講師 | (外科学 (内分泌外科学分野)) |
| | 松村剛毅 | 准教授 | (医療安全科) |
| | 有泉俊一 | 准教授 | (外科学 (肝胆膵外科学分野)) |

「至誠と愛」の実践学修／医療・患者安全学教育委員会

委員長 野原理子教授（衛生学公衆衛生学（公衆衛生学分野））
副委員長 柳澤直子教授・基幹分野長（微生物学免疫学（微生物学免疫学分野））
西井明子教授（統合教育学修センター基礎教育学）
横田仁子准教授（学生健康管理室）

AI・データサイエンスと医療教育委員会

委員長 正宗賢教授（先端生命医科学研究所）
S7担当 大月道夫教授・基幹分野長（内科学（内分泌内科学分野））

国際コミュニケーション教育委員会

委員長 長坂安子教授・基幹分野長（麻酔科学（麻酔科学分野））
副委員長 佐藤明可講師（統合教育学修センター基礎教育学）

基本的・医学的表現技術教育委員会

委員長 木林和彦教授・基幹分野長（法医学（法医学分野））
副委員長 辻村貴子講師（統合教育学修センター基礎教育学）

学生委員

藤堂謙一教授・基幹分野長（内科学（脳神経内科学分野））
木林和彦教授・基幹分野長（法医学（法医学分野））
藤枝弘樹教授・基幹分野長（解剖学（神経分子形態学分野））
西井明子教授（統合教育学修センター基礎教育学）
横田仁子准教授（学生健康管理室）

VI 選 択 科 目

外 国 語
人文科学系
社会科学系
自然科学系
保 健 体 育
他大学オープン科目

※各科目の講義内容、評価に関する事、日程等の詳細については
「令和8（2026）年度学修の手引き＜選択科目＞」を参照すること。

履修要領をよく読んで履修登録を行ってください。

選択科目履修要領（第1～第4学年）

1. 科目名(23科目)

| | | | |
|-----------------------------------|----------|------------|--------------|
| 初級ドイツ語 | 初級中国語 | 心理学 | 物理学 |
| 初級フランス語 | 倫理学 | 医療人のための経済学 | 化学 |
| English for Medical Professionals | 文化人類学 | 医療人のための法学 | 食と栄養の科学 |
| Preparation for Study Abroad | 女性とジェンダー | 医療と社会デザイン | 医学情報学 |
| 医療英語 (Medical English) | 哲学 | 数学 | フィットネスの理論と実技 |
| 初級韓国語 | 歴史学 | 生物学 | |

2. 開講期間・曜日・時限

開講期間は各科目とも半年間です。その時期は前期を4/22から9/30、後期は10/7から翌年2/3までの水曜日5限（15：20～16：30）、6限（16：45～17：55）に開講する。

3. ガイダンスおよび履修登録について

・**ガイダンス** 新入生オリエンテーション時に実施します。学修の手引きを参照の上、履修登録を行うこと。

・履修登録について

1 年生前期：

新入生オリエンテーション時に配布する学修の手引きをよく読み、Google フォームにて出席番号、氏名を入力し、履修希望科目を選び、送信すること。

登録期間は4月10日(金)12:30まで

- ※1. 期間厳守のこと。その後の申請は一切認めない。
- 2. Google フォームにて履修申請し、その科目が登録されなければ、出席しても無効となる。
- 3. 科目によって受講者数を制限することがある。
- 4. 登録結果および各科目の講義室は、開講日までに学生ポータルサイト1年総合掲示板に掲載する。
- 3. により登録されなかった科目があった場合の指示もこの時に掲載する。

1 年生後期、および2～4年(前・後期)：

新学年ポータルサイトからのweb登録のみ受付を行う。

登録方法の詳細は登録期間前に各学年の総合掲示板に掲載する。

登録期間は次のとおり。

前期分…4月1日(水)～4月10日(金)12:30まで (期間を過ぎると登録できない。)

後期分…8月24日(月)～9月3日(木)12:30まで (" ")

- ※1. web登録を行い、その科目が登録されなければ、出席しても無効となる。
- 2. 受講者数の制限、登録結果等の掲載方法は上記と同様

4. 履修認定について

各科目は2単位(半年間)の科目を4年次の前期までにのべ6科目以上(12単位以上)履修しなければならない。

そのうち2科目以上は人文科学系もしくは社会科学系の科目(学生便覧:学則第9条関係別表I)とする。

各科目の講義内容は、前期・後期が同じ場合も異なる場合もある。この場合、同一科目でも内容あるいは段階が異なるものなら2科目と認められる。なお、他大学での既修得単位を認定する場合がある。(以上、**学生便覧参照**)

5. 履修登録完了後は、その取り消しおよび変更は認めない。

6. 選択科目の成績は及落判定の対象となる。ただし、ある学年で選択科目が不合格の場合、上級学年で単位を取得できると認められるときに限って、及落には特別の配慮を行うことがある。

7. なお、第2～第4学年では、上記12単位の他に指定する他大学のオープン科目(自由選択)の中からさらに受講することができる。取得した単位は、東京女子医科大学医学部では増加単位として認められる。(卒業単位へは算入されない)

医学部 選択科目時間割

前 期

【水曜 5限 15:20～16:30】

| 前 期 (4月22日～9月30日) | |
|--|-----------|
| 初級フランス語Ⅰ () | 令和8年度は非開講 |
| English for Medical Professionals Ⅰ (岡野) | |
| Preparation for Study Abroad Ⅰ (大野) | |
| 医療英語 (Medical EnglishⅠ) (遠藤) | (共通) |
| 初級中国語Ⅰ (館) | (共通) |
| 哲学A (山野) | (共通) |
| 医療人のための法学A (中島) | (共通) |
| 医療と社会デザインA (山本) | |
| 医学情報学 (田村) | |
| 心理学A (大塚) | |
| フィットネスの理論と実技A (沢田) | ※ |

【水曜 6限 16:45～17:55】

| 前 期 (4月22日～9月30日) | |
|--------------------|------|
| 初級ドイツ語Ⅰ (伊藤) | (共通) |
| 初級韓国語Ⅰ (朴) | (共通) |
| 倫理学A (磯部) | (共通) |
| 歴史学A (菅原) | (共通) |
| 医療人のための経済学A (大石) | (共通) |
| 数学A (小野木) | |
| フィットネスの理論と実技B (沢田) | ※ |

(共通) は看護学部との共通科目です。

※「フィットネスの理論と実技」の5限と6限は同じ内容です。どちらか1つしか履修できません。

後 期

【水曜 5限 15:20～16:30】

| 後 期 (10月7日～2月3日) | |
|--|-----------|
| 初級フランス語Ⅱ () | 令和8年度は非開講 |
| English for Medical Professionals Ⅱ (岡野) | |
| Preparation for Study Abroad Ⅱ (大野) | |
| 医療英語 (Medical EnglishⅡ) (遠藤) | (共通) |
| 初級中国語Ⅱ (館) | (共通) |
| 哲学B (山野) | (共通) |
| 医療人のための法学B (辻村) | (共通) |
| 医療と社会デザインB (山本) | |
| 生物学 (後期) (石井) | |
| 物理学 (後期) B (辻野) | |
| 化学 (後期) (越野) | |

【水曜 6限 16:45～17:55】

| 後 期 (10月7日～2月3日) | |
|------------------|------|
| 初級ドイツ語Ⅱ (伊藤) | (共通) |
| 初級韓国語Ⅱ (朴) | (共通) |
| 倫理学B (磯部) | (共通) |
| 歴史学B (菅原) | (共通) |
| 医療人のための経済学B (大石) | (共通) |
| 数学B (小野木) | |
| 物理学 (後期) A (辻野) | |
| 心理学B (佐藤) | |
| 食と栄養の科学 (松井) | |

<看護学部の開講科目>

【水曜 5限 15:15～16:25】

【水曜 5限 15:15～16:25】

※授業開始時間が医学部開講科目と異なりますので、ご注意ください。

| 前 期 (4月22日～9月30日) | |
|-------------------|--------|
| 文化人類学A (宍戸) | ※ (共通) |
| 女性とジェンダーA (平川) | ※ (共通) |

| 後 期 (10月7日～2月3日) | |
|------------------|--------|
| 文化人類学B (宍戸) | ※ (共通) |
| 女性とジェンダーB (平川) | ※ (共通) |

※「文化人類学」と「女性とジェンダー」の前期と後期は同じ内容です。どちらか1つしか履修できません。

VIII 講義・実習時間割表

令和8年度 Segment7 講義・実習時間割表

| | I | II | III | IV | V | VI | |
|-------------|-------------------|--|--|---|---|---|---|
| | 09:00 10:10 | 10:25 11:35 | 12:30 13:40 | 13:55 15:05 | 15:15 16:25 | 16:35 17:45 | |
| 第 1 週 | 4 / 6 月 | (講義) オリエンテーション Webclassを使用した出席管理の使用説明(10:00~10:20)※参加必須(203講義室) (統合教育学修センター基礎科学 山口) | (講義) 血液・リンパ系 造血組織、血球形態、血球の産生 (内科学(血液内科学分野) 篠原) | (講義) 血液・リンパ系 造血系・リンパ系組織の微細構造(1) (解剖学(顕微解剖学・形態形成学分野) 石津) | (講義) 血液・リンパ系 造血系・リンパ系組織の微細構造(2) (解剖学(顕微解剖学・形態形成学分野) 石津) | (講義) 血液・リンパ系 血液の機能 (生理学(神経生理学分野) 宮田) | (講義) クラスオリエンテーション/オリエンテーション 学生生活の支援について/実習ガイダンス (第4学年担任 内科学(脳神経内科学分野) 藤堂(衛生学公衆衛生学(公衆衛生学分野 公衆衛生学部門) 野原)(教務委員長 長坂) |
| | 4 / 7 火 | (講義) 臨床講義まとめ演習 学修法の習得について-P-SAT,CBT (統合教育学修センター 基礎教育学 水主川、衛生学公衆衛生学(公衆衛生学分野 公衆衛生学部門) 野原) | (講義) 健康管理 CBT,OSCEに向けての健康管理 (学生健康管理室 横田) | (実習) 血液・リンパ系 Aグループ:造血組織・血球 Bグループ:血液型検査、直接抗グロブリン試験 (内科学(血液内科学分野) 瀬尾、吉永、篠原、石山、田中、糸井、森元、岡村) (輸血・細胞プロセッシング科 菅野、小林、山本、長内、岡本、中林) | | | (講義) 血液・リンパ系 血液の病理(1) (病理診断学(病理診断学分野) 長嶋) |
| | 4 / 8 水 | (実習) 血液・リンパ系 造血・リンパ組織の構造 (解剖学(顕微解剖学・形態形成学分野) 石津、横溝、菊田、矢作、望月、駒井) (統合教育学修センター基礎科学 石井、浦瀬) | (講義) 血液・リンパ系 血液の病理(2) (病理診断学(病理診断学分野) 長嶋) | (講義) 血液・リンパ系 貧血総論、鉄欠乏性貧血、二次性貧血 (内科学(血液内科学分野) 瀬尾) | (講義) 免疫・アレルギー疾患・膠原病 科目の概要、免疫序論、病態、膠原病の症候と検査 (内科学(膠原病リウマチ内科学分野) 田中) | (講義) 免疫・アレルギー疾患・膠原病 強皮症、MCTD、オーバーラップ症候群 (内科学(膠原病リウマチ内科学分野) 川口) | |
| | 4 / 9 木 | (講義) 免疫・アレルギー疾患・膠原病 全身性エリテマトーデスと抗リン脂質抗体症候群 (内科学(膠原病リウマチ内科学分野) 勝又) | (講義) 免疫・アレルギー疾患・膠原病 臓器移植と免疫 (泌尿器科学(泌尿器科学分野) 平井) | (講義) 血液・リンパ系 溶血性貧血 (内科学(血液内科学分野) 長内) | (講義) 血液・リンパ系 巨赤芽球性貧血、骨髓異形成症候群 (内科学(血液内科学分野) 瀬尾) | (講義) 免疫・アレルギー疾患・膠原病 関節リウマチ (内科学(膠原病リウマチ内科学分野) 田中) | |
| | 4 / 10 金 | (講義) 血液・リンパ系 再生不良性貧血、赤芽球癆、PNH (内科学(血液内科学分野) 吉永) | (講義) 血液・リンパ系 白血病各論(1)急性白血病 (内科学(血液内科学分野) 瀬尾) | (講義) 免疫・アレルギー疾患・膠原病 膠原病・類縁疾患の腎病変 (内科学(腎臓内科学分野) 内田) | (講義) 免疫・アレルギー疾患・膠原病 シェーグレン症候群、ベーチェット病、成人発症スティル病、多発軟骨炎 (内科学(膠原病リウマチ内科学分野) 廣瀬) | (講義) 麻酔・周術期管理 科目の概要 麻酔概論 (麻酔科学(麻酔科学分野) 長坂) | (講義) 血液・リンパ系 白血病各論(2)慢性白血病 (内科学(血液内科学分野) 吉永) |
| | 4 / 11 土 | (講義) 臨床講義まとめ演習 まとめ演習 (統合教育学修センター 基礎教育学 水主川) | (講義) 臨床講義まとめ演習 まとめ演習 (統合教育学修センター 基礎教育学 水主川) | | | | |

令和8年度 Segment7 講義・実習時間割表

| | I 09:00 10:10 | II 10:25 11:35 | III 12:30 13:40 | IV 13:55 15:05 | V 15:15 16:25 | VI 16:35 17:45 | |
|-------------|-------------------|--|--|--|--|--|---|
| 第 2 週 | 4 / 13 月 | (講義) 血液・リンパ系 骨髄増殖性疾患、多血症、骨髄線維症、本態性血小板血症 (内科学(血液内科学分野) 吉永) | (講義) 血液・リンパ系 悪性リンパ腫① DLBCL、バーキットリンパ腫、伝染性単核球症 (内科学(血液内科学分野) 吉永) | (講義) 感染症系 感染症の原因微生物の特徴 (微生物学免疫学(微生物学免疫学分野) 柳澤) | (講義) 免疫・アレルギー疾患・膠原病 血管炎症候群 (内科学(膠原病リウマチ内科学分野) 田巻) | (講義) 血液・リンパ系 悪性リンパ腫② ホジキンリンパ腫、濾胞性リンパ腫 (内科学(血液内科学分野) 田中) | (講義) 免疫・アレルギー疾患・膠原病 膠原病問題演習 (内科学(膠原病リウマチ内科学分野) 岡本) |
| | 4 / 14 火 | (実習) 血液・リンパ系 リンパ節の病理 (病理診断学(病理診断学分野) 長嶋、種田、吉澤、井藤、関) | | (講義) 免疫・アレルギー疾患・膠原病 リウマチ性多発筋痛症、線維筋痛症、痛風、偽痛風など (内科学(膠原病リウマチ内科学分野) 樋口) | (講義) 感染症系 免疫不全と感染症 (感染症学 吉田) | (講義) 血液・リンパ系 悪性リンパ腫③成人T細胞白血病、T細胞リンパ腫 (内科学(血液内科学分野) 吉永) | |
| | 4 / 15 水 | (講義) 血液・リンパ系 多発性骨髄腫、マクログロブリン症候群 (内科学(血液内科学分野) 田中) | (講義) 血液・リンパ系 止血機構、凝固の異常 (内科学(血液内科学分野) 篠原) | (実習) 血液・リンパ系 Bグループ: 造血組織・血球 Aグループ: 血液型検査、直接抗グロブリン試験 (内科学(血液内科学分野) 瀬尾、吉永、篠原、石山、田中、糸井、森元) (輸血・細胞プロセッシング科 菅野、小林、山本、長内、岡本、中林) | | | |
| | 4 / 16 木 | (講義) 免疫・アレルギー疾患・膠原病 特発性炎症性ミオパチー (内科学(膠原病リウマチ内科学分野) 勝又) | (講義) 免疫・アレルギー疾患・膠原病 膠原病の病理 (病理診断学(病理診断学分野) 長嶋) | (講義) 感染症系 新興・再興感染症・輸入感染症 (感染症学 菊池) | (講義) 感染症系 抗酸菌感染症 (感染症学 吉田) | (講義) 「至誠と愛」の実践学修 災害医療(1)※収録配信なし、対面のみ (救急医学(救急医学分野) 武田) | |
| | 4 / 17 金 | (講義) 血液・リンパ系 血小板の異常 (内科学(血液内科学分野) 石山) | (講義) 血液・リンパ系 TMA、HUS、TTP (内科学(血液内科学分野) 石山) | (講義) 感染症系 グラム陰性菌感染症① (感染症学 菊池) | (講義) 免疫・アレルギー疾患・膠原病 脊椎関節炎 (内科学(膠原病リウマチ内科学分野) 落合) | (講義) 感染症系 原虫類① (衛生学公衆衛生学(公衆衛生学分野 グローバルヘルス部門) 有末) | |
| | 4 / 18 土 | | | | | | |

令和8年度 Segment7 講義・実習時間割表

| | I 09:00 10:10 | II 10:25 11:35 | III 12:30 13:40 | IV 13:55 15:05 | V 15:15 16:25 | VI 16:35 17:45 | |
|-----------|--|--|--|---|--|---|---|
| 第3週 | 4/20 月 | (講義) 免疫・アレルギー疾患・膠原病 原発性免疫不全症候群 (内科学(膠原病リウマチ内科学分野) 布村) | (講義) 免疫・アレルギー疾患・膠原病 小児リウマチ・膠原病・自己炎症症候群 (内科学(膠原病リウマチ内科学分野) 布村) | (講義) 血液・リンパ系 造血幹細胞移植 (内科学(血液内科学分野) 篠原) | (講義) 血液・リンパ系 血液疾患の放射線診断 (放射線医学(画像診断学・核医学分野) 西井) | (講義) 血液・リンパ系 血液疾患の放射線療法 (放射線医学(放射線腫瘍学分野) 橋本) | (講義) 感染症系 原虫類② (衛生学公衆衛生学(公衆衛生学分野 グローバルヘルス部門) 有末) |
| | 4/21 火 | (講義) 麻酔・周術期管理 麻酔前の患者管理 (麻酔科学(麻酔科学分野) 鈴木) | (実習) 免疫・アレルギー疾患・膠原病 未知検体の細菌同定(1)、嫌気性菌(1)、過敏症 (微生物学免疫学(微生物学免疫学分野) 柳澤、大坂、上芝、飯塚、西田) | | | | |
| | 4/22 水 | (講義) 感染症系 グラム陰性菌感染症② (感染症学 菊池) | (講義) 血液・リンパ系 抗ガン剤の種類と特徴 (薬理学(薬理学分野) 瀧田) | (講義) 免疫・アレルギー疾患・膠原病 膠原病の皮膚病変 (皮膚科学(皮膚科学分野) 竹中) | (講義) 血液・リンパ系 輸血感染症 (輸血・細胞プロセッシング科 山本) | (選択科目) 15:20～16:30 | (選択科目) 16:45～17:55 |
| | 4/23 木 | (講義) 感染症系 グラム陽性菌感染症① (感染症学 菊池) | (実習) 免疫・アレルギー疾患・膠原病 未知検体の細菌同定(2)、嫌気性菌(2)、免疫電気泳動(1)、薬剤耐性検査(緑膿菌、黄色ブドウ球菌)(1) (微生物学免疫学(微生物学免疫学分野) 柳澤、大坂、上芝、飯塚、西田) | | | | |
| | 4/24 金 | (講義) 免疫・アレルギー疾患・膠原病 組織適合性抗原 (泌尿器科学(泌尿器科学分野) 尾本) | (実習) 免疫・アレルギー疾患・膠原病 薬剤耐性検査(緑膿菌、黄色ブドウ球菌)(2)、マイコプラズマ(1)、抗酸菌の染色・観察 (微生物学免疫学(微生物学免疫学分野) 柳澤、大坂、上芝、飯塚、西田) | | | | |
| 4/25 土 | (講義) 臨床講義まとめ演習 まとめ演習 (統合教育学修センター 基礎教育学 水主川) | (講義) 臨床講義まとめ演習 まとめ演習 (統合教育学修センター 基礎教育学 水主川) | | | | | |

令和8年度 Segment7 講義・実習時間割表

| | I | | II | | III | | IV | | V | | VI | | |
|-------------|-------------------|---|--|--|--|--|--|-------|-------|-------|-------|-------|--|
| | 09:00 | 10:10 | 10:25 | 11:35 | 12:30 | 13:40 | 13:55 | 15:05 | 15:15 | 16:25 | 16:35 | 17:45 | |
| 第 4 週 | 4 / 27 月 | (講義) 血液・リンパ系 免疫学的機序による 輸血副作用 (輸血・細胞プロセシン グ科 小林) | (講義) 血液・リンパ系 輸血用血液の適応病 態 (輸血・細胞プロセシン グ科 小林) | (講義) 免疫・アレルギー疾 患・膠原病 アレルギー疾患の病 因・病態・症候・治療 (小児科学(小児科学 分野) 鈴木) | (講義) 環境と健康・疾病・障 害 環境保健(1)科目の 概要、環境と適応 (衛生学公衆衛生学 (公衆衛生学分野 環 境・産業医学部門) 廣田) | (講義) 麻酔・周術期管理 麻酔に関する生理・薬 理学的基礎 (麻酔科学(麻酔科学 分野) 中澤) | (講義) 環境と健康・疾病・障 害 法医学(1)法医学概論 ※収録配信なし、対面の み (法医学(法医学分野) 木林) | | | | | | |
| | 4 / 28 火 | (講義) 環境と健康・疾病・障 害 法医学(2)個人識別 ※収録配信なし、対面の み (法医学(法医学分野) 町田) | (実習) 免疫・アレルギー疾患・膠原病 免疫電気泳動(2)、インフルエンザの検査、マイコプラズマ(2) (微生物学免疫学(微生物学免疫学分野) 柳澤、大坂、上芝、飯塚、西田) | | | | | | | | | | |
| | 4 / 29 水 | 昭和の日 | | | | | | | | | | | |
| | 4 / 30 木 | 休業 | | | | | | | | | | | |
| | 5 / 1 金 | 休業 | | | | | | | | | | | |
| | 5 / 2 土 | 休業 | | | | | | | | | | | |

令和8年度 Segment7 講義・実習時間割表

| | I 09:00 | 10:10 | II 10:25 | 11:35 | III 12:30 | 13:40 | IV 13:55 | 15:05 | V 15:15 | 16:25 | VI 16:35 | 17:45 |
|-------------|----------------------|--|--|-------|--------------|-------|-------------|-------|------------|-------|-------------|-------|
| 第 5 週 | 5 / 4 月 | みどりの日 | | | | | | | | | | |
| | 5 / 5 火 | こどもの日 | | | | | | | | | | |
| | 5 / 6 水 | 振替休日 | | | | | | | | | | |
| | 5 / 7 木 | (試験) 10:00～12:00 血液・リンパ系 | | | | | | | | | | |
| | 5 / 8 金 | (試験) 10:00～12:30 免疫・アレルギー疾患・膠原病 | | | | | | | | | | |
| | 5 / 9 土 | (講義) 臨床講義まとめ演習 まとめ演習 (統合教育学修センター 基礎教育学 水主川) | (講義) 臨床講義まとめ演習 まとめ演習 (統合教育学修センター 基礎教育学 水主川) | | | | | | | | | |

令和8年度 Segment7 講義・実習時間割表

| | I | | II | | III | | IV | | V | | VI | | |
|-----|-------|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
| | 09:00 | 10:10 | 10:25 | 11:35 | 12:30 | 13:40 | 13:55 | 15:05 | 15:15 | 16:25 | 16:35 | 17:45 | |
| 第6週 | 5/11月 | (講義) 感染症系 線虫類① (衛生学公衆衛生学(公衆衛生学分野 グローバルヘルス部門) 有末) | (講義) 環境と健康・疾病・障害 法医学(3)死の判定と診断・死因と死因の種類 ※収録配信なし、対面のみ | (講義) 環境と健康・疾病・障害 法医学(4)死亡時画像診断(Ai) ※収録配信なし、対面のみ | (講義) 感染症系 環境と健康・疾病・障害 社会制度と保健・医療・福祉 科目の概要・公衆衛生の歴史 | (講義) 感染症系 環境と健康・疾病・障害 社会制度と保健・医療・福祉 科目の概要・公衆衛生の歴史 | (講義) 感染症系 環境と健康・疾病・障害 社会制度と保健・医療・福祉 科目の概要・公衆衛生の歴史 | (講義) 感染症系 環境と健康・疾病・障害 社会制度と保健・医療・福祉 科目の概要・公衆衛生の歴史 | (講義) 感染症系 環境と健康・疾病・障害 社会制度と保健・医療・福祉 科目の概要・公衆衛生の歴史 | (講義) 感染症系 環境と健康・疾病・障害 社会制度と保健・医療・福祉 科目の概要・公衆衛生の歴史 | (講義) 感染症系 環境と健康・疾病・障害 社会制度と保健・医療・福祉 科目の概要・公衆衛生の歴史 | (講義) 感染症系 環境と健康・疾病・障害 社会制度と保健・医療・福祉 科目の概要・公衆衛生の歴史 | |
| | 5/12火 | (講義) 環境と健康・疾病・障害 環境保健(2)上水道、下水道、廃棄物 (衛生学公衆衛生学(公衆衛生学分野 環境・産業医学部門) 廣田) | (講義) 感染症系 グラム陽性菌感染症② (感染症学 菊池) | (講義) 社会制度と保健・医療・福祉 科目の概要・公衆衛生の歴史 | (講義) 社会制度と保健・医療・福祉 科目の概要・公衆衛生の歴史 | (講義) 社会制度と保健・医療・福祉 科目の概要・公衆衛生の歴史 | (講義) 社会制度と保健・医療・福祉 科目の概要・公衆衛生の歴史 | (講義) 社会制度と保健・医療・福祉 科目の概要・公衆衛生の歴史 | (講義) 社会制度と保健・医療・福祉 科目の概要・公衆衛生の歴史 | (講義) 社会制度と保健・医療・福祉 科目の概要・公衆衛生の歴史 | (講義) 社会制度と保健・医療・福祉 科目の概要・公衆衛生の歴史 | (講義) 社会制度と保健・医療・福祉 科目の概要・公衆衛生の歴史 | (講義) 社会制度と保健・医療・福祉 科目の概要・公衆衛生の歴史 |
| | 5/13水 | (講義) 社会制度と保健・医療・福祉 人口統計と保健統計(1)人口動態統計・静態統計 (衛生学公衆衛生学(公衆衛生学分野 公衆衛生学部門) 野原) | (講義) 社会制度と保健・医療・福祉 人口統計と保健統計(2)疾病・障害の分類と統計 | (講義) 環境と健康・疾病・障害 環境保健(3)環境汚染物質 | (講義) 環境と健康・疾病・障害 環境保健(3)環境汚染物質 | (講義) 環境と健康・疾病・障害 環境保健(3)環境汚染物質 | (講義) 環境と健康・疾病・障害 環境保健(3)環境汚染物質 | (講義) 環境と健康・疾病・障害 環境保健(3)環境汚染物質 | (講義) 環境と健康・疾病・障害 環境保健(3)環境汚染物質 | (講義) 環境と健康・疾病・障害 環境保健(3)環境汚染物質 | (講義) 環境と健康・疾病・障害 環境保健(3)環境汚染物質 | (講義) 環境と健康・疾病・障害 環境保健(3)環境汚染物質 | (講義) 環境と健康・疾病・障害 環境保健(3)環境汚染物質 |
| | 5/14木 | (講義) 基本的治療法 がん疫学と薬事 (腫瘍内科 山口) | (講義) 診療の基礎 症候と病態・疾患(4)月経異常 (産婦人科学(産婦人科学分野) 中林) | (講義) 感染症系 嫌気性菌感染症とマイコプラズマ・クラミジア・リケッチア・スピロヘータ感染症 (感染症学 菊池) | (講義) 環境と健康・疾病・障害 環境保健(4)地球環境問題 (研究推進センター 蔭池) | (講義) 環境と健康・疾病・障害 環境保健(4)地球環境問題 (研究推進センター 蔭池) | (講義) 環境と健康・疾病・障害 環境保健(4)地球環境問題 (研究推進センター 蔭池) | (講義) 環境と健康・疾病・障害 環境保健(4)地球環境問題 (研究推進センター 蔭池) | (講義) 環境と健康・疾病・障害 環境保健(4)地球環境問題 (研究推進センター 蔭池) | (講義) 環境と健康・疾病・障害 環境保健(4)地球環境問題 (研究推進センター 蔭池) | (講義) 環境と健康・疾病・障害 環境保健(4)地球環境問題 (研究推進センター 蔭池) | (講義) 環境と健康・疾病・障害 環境保健(4)地球環境問題 (研究推進センター 蔭池) | (講義) 環境と健康・疾病・障害 環境保健(4)地球環境問題 (研究推進センター 蔭池) |
| | 5/15金 | (講義) 診療の基礎 症候と病態・疾患(5)浮腫 (内科学(腎臓内科学) 内田) | (講義) 環境と健康・疾病・障害 産業保健(1)産業医と労働安全衛生管理 (衛生学公衆衛生学(公衆衛生学分野 公衆衛生学部門) 武藤) | (講義) 感染症系 感染症総論:症候・診断・治療・予防 (感染症学 菊池) | (講義) 環境と健康・疾病・障害 産業保健(2)過重労働、職業性ストレス、作業様態による障害 (衛生学公衆衛生学(公衆衛生学分野 公衆衛生学部門) 武藤) | (講義) 環境と健康・疾病・障害 産業保健(2)過重労働、職業性ストレス、作業様態による障害 (衛生学公衆衛生学(公衆衛生学分野 公衆衛生学部門) 武藤) | (講義) 環境と健康・疾病・障害 産業保健(2)過重労働、職業性ストレス、作業様態による障害 (衛生学公衆衛生学(公衆衛生学分野 公衆衛生学部門) 武藤) | (講義) 環境と健康・疾病・障害 産業保健(2)過重労働、職業性ストレス、作業様態による障害 (衛生学公衆衛生学(公衆衛生学分野 公衆衛生学部門) 武藤) | (講義) 環境と健康・疾病・障害 産業保健(2)過重労働、職業性ストレス、作業様態による障害 (衛生学公衆衛生学(公衆衛生学分野 公衆衛生学部門) 武藤) | (講義) 環境と健康・疾病・障害 産業保健(2)過重労働、職業性ストレス、作業様態による障害 (衛生学公衆衛生学(公衆衛生学分野 公衆衛生学部門) 武藤) | (講義) 環境と健康・疾病・障害 産業保健(2)過重労働、職業性ストレス、作業様態による障害 (衛生学公衆衛生学(公衆衛生学分野 公衆衛生学部門) 武藤) | (講義) 環境と健康・疾病・障害 産業保健(2)過重労働、職業性ストレス、作業様態による障害 (衛生学公衆衛生学(公衆衛生学分野 公衆衛生学部門) 武藤) | (講義) 環境と健康・疾病・障害 産業保健(2)過重労働、職業性ストレス、作業様態による障害 (衛生学公衆衛生学(公衆衛生学分野 公衆衛生学部門) 武藤) |
| | 5/16土 | (講義) 臨床講義まとめ演習 まとめ演習 (統合教育学修センター 基礎教育学 水主川) | (講義) 臨床講義まとめ演習 まとめ演習 (統合教育学修センター 基礎教育学 水主川) | | | | | | | | | | |

令和8年度 Segment7 講義・実習時間割表

| | I | | II | | III | | IV | | V | | VI | | | |
|-----|-------|--|--|--|---|---|--|---|---|---|--|---|---|---|
| | 09:00 | 10:10 | 10:25 | 11:35 | 12:30 | 13:40 | 13:55 | 15:05 | 15:15 | 16:25 | 16:35 | 17:45 | | |
| 第7週 | 5/18月 | (講義) 社会制度と保健・医療・福祉 社会保険の仕組み(医療保険・介護保険) (衛生学公衆衛生学(公衆衛生学分野 公衆衛生学部門) 中島) | (講義) 社会制度と保健・医療・福祉 保健・医療・福祉・介護関連法規(1) (統合教育学修センター基礎教育学 辻村) | (講義) 感染症系 糸虫類 (衛生学公衆衛生学(公衆衛生学分野 グローバルヘルス部門) 岩下) | (講義) 社会制度と保健・医療・福祉 保健・医療・福祉・介護関連法規(2) (衛生学公衆衛生学(公衆衛生学分野 公衆衛生学部門) 中島) | (講義) 社会制度と保健・医療・福祉 診療報酬制度 (衛生学公衆衛生学(公衆衛生学分野 公衆衛生学部門) 中島) | (講義) 診療の基礎 総合診療とは (内科学(総合診療・総合内科学分野) 竹村) | (講義) 感染症系 真菌感染症 (感染症学 菊池) | (講義) 基本的治療法 放射線療法 (放射線医学(放射線腫瘍学分野) 河野) | (講義) 環境と健康・疾病・障害 法医学(5)アルコールの法医学 (法医学(法医学分野) 中尾) | (講義) 診療の基礎 臨床推論の極意とそれに必要な医療面接 (内科学(総合診療・総合内科学分野) 竹村) | (講義) 環境と健康・疾病・障害 法医学(6)法中毒・薬毒物機器分析 (法医学(法医学分野) 中尾) | (講義) 環境と健康・疾病・障害 法医学(6)法中毒・薬毒物機器分析 (法医学(法医学分野) 中尾) | |
| | 5/19火 | (講義) 社会制度と保健・医療・福祉 生活習慣とリスク(1)栄養と食生活・身体活動と運動 (衛生学公衆衛生学(公衆衛生学分野 公衆衛生学部門) 三木) | (講義) 診療の基礎 症候と病態・疾患(7)発熱 (内科学(血液内科学分野) 篠原) | (講義) 診療の基礎 症候と病態・疾患(8)貧血 (内科学(血液内科学分野) 石山) | (講義) 感染症系 ウイルス感染症 (感染症学 吉田) | (講義) 環境と健康・疾病・障害 15:20~16:30 | (講義) 環境と健康・疾病・障害 法医学(7)外傷と損傷 ※収録配信なし、対面のみ (法医学(法医学分野) 木林) | (講義) 基本的治療法 心理的支持と精神症状への対応 (精神医学(精神医学分野) 押淵) | (講義) 環境と健康・疾病・障害 食品保健 (研究推進センター 蔭池) | (講義) 社会制度と保健・医療・福祉 生活習慣とリスク(2)飲酒・喫煙 (衛生学公衆衛生学(公衆衛生学分野 公衆衛生学部門) 三木) | (講義) 環境と健康・疾病・障害 法医学(7)外傷と損傷 ※収録配信なし、対面のみ (法医学(法医学分野) 木林) | (講義) 環境と健康・疾病・障害 法医学(8)身体各部位の損傷 ※収録配信なし、対面のみ (法医学(法医学分野) 木林) | (講義) 環境と健康・疾病・障害 法医学(6)法中毒・薬毒物機器分析 (法医学(法医学分野) 中尾) | (講義) 環境と健康・疾病・障害 法医学(6)法中毒・薬毒物機器分析 (法医学(法医学分野) 中尾) |
| | 5/20水 | (講義) 社会制度と保健・医療・福祉 生活習慣とリスク(1)栄養と食生活・身体活動と運動 (衛生学公衆衛生学(公衆衛生学分野 公衆衛生学部門) 三木) | (講義) 診療の基礎 症候と病態・疾患(7)発熱 (内科学(血液内科学分野) 篠原) | (講義) 診療の基礎 症候と病態・疾患(8)貧血 (内科学(血液内科学分野) 石山) | (講義) 感染症系 ウイルス感染症 (感染症学 吉田) | (講義) 環境と健康・疾病・障害 15:20~16:30 | (講義) 環境と健康・疾病・障害 法医学(7)外傷と損傷 ※収録配信なし、対面のみ (法医学(法医学分野) 木林) | (講義) 基本的治療法 心理的支持と精神症状への対応 (精神医学(精神医学分野) 押淵) | (講義) 環境と健康・疾病・障害 食品保健 (研究推進センター 蔭池) | (講義) 社会制度と保健・医療・福祉 生活習慣とリスク(2)飲酒・喫煙 (衛生学公衆衛生学(公衆衛生学分野 公衆衛生学部門) 三木) | (講義) 環境と健康・疾病・障害 法医学(7)外傷と損傷 ※収録配信なし、対面のみ (法医学(法医学分野) 木林) | (講義) 環境と健康・疾病・障害 法医学(8)身体各部位の損傷 ※収録配信なし、対面のみ (法医学(法医学分野) 木林) | (講義) 環境と健康・疾病・障害 法医学(6)法中毒・薬毒物機器分析 (法医学(法医学分野) 中尾) | (講義) 環境と健康・疾病・障害 法医学(6)法中毒・薬毒物機器分析 (法医学(法医学分野) 中尾) |
| | 5/21木 | (講義) 環境と健康・疾病・障害 法医学(7)外傷と損傷 ※収録配信なし、対面のみ (法医学(法医学分野) 木林) | (講義) 環境と健康・疾病・障害 法医学(8)身体各部位の損傷 ※収録配信なし、対面のみ (法医学(法医学分野) 木林) | (講義) 基本的治療法 心理的支持と精神症状への対応 (精神医学(精神医学分野) 押淵) | (講義) 環境と健康・疾病・障害 食品保健 (研究推進センター 蔭池) | (講義) 社会制度と保健・医療・福祉 生活習慣とリスク(2)飲酒・喫煙 (衛生学公衆衛生学(公衆衛生学分野 公衆衛生学部門) 三木) | (講義) 環境と健康・疾病・障害 法医学(7)外傷と損傷 ※収録配信なし、対面のみ (法医学(法医学分野) 木林) | (講義) 基本的治療法 心理的支持と精神症状への対応 (精神医学(精神医学分野) 押淵) | (講義) 環境と健康・疾病・障害 食品保健 (研究推進センター 蔭池) | (講義) 社会制度と保健・医療・福祉 生活習慣とリスク(2)飲酒・喫煙 (衛生学公衆衛生学(公衆衛生学分野 公衆衛生学部門) 三木) | (講義) 環境と健康・疾病・障害 法医学(7)外傷と損傷 ※収録配信なし、対面のみ (法医学(法医学分野) 木林) | (講義) 環境と健康・疾病・障害 法医学(8)身体各部位の損傷 ※収録配信なし、対面のみ (法医学(法医学分野) 木林) | (講義) 環境と健康・疾病・障害 法医学(6)法中毒・薬毒物機器分析 (法医学(法医学分野) 中尾) | (講義) 環境と健康・疾病・障害 法医学(6)法中毒・薬毒物機器分析 (法医学(法医学分野) 中尾) |
| | 5/22金 | (講義) 救命救急医療 救急医学(救急医学分野)総論 (救急医学(救急医学分野) 大友) | (講義) 社会制度と保健・医療・福祉 主な公衆衛生学(1)予防接種 (衛生学公衆衛生学(公衆衛生学分野 グローバルヘルス部門) 有末) | (行事) 「至誠と愛」の実践学修 12:30~16:25 吉岡彌生記念講演会 (各自配信動画を視聴) (衛生学公衆衛生学(公衆衛生学分野 公衆衛生学部門)野原) | (講義) 環境と健康・疾病・障害 食品保健 (研究推進センター 蔭池) | (講義) 社会制度と保健・医療・福祉 生活習慣とリスク(2)飲酒・喫煙 (衛生学公衆衛生学(公衆衛生学分野 公衆衛生学部門) 三木) | (講義) 環境と健康・疾病・障害 法医学(7)外傷と損傷 ※収録配信なし、対面のみ (法医学(法医学分野) 木林) | (講義) 基本的治療法 心理的支持と精神症状への対応 (精神医学(精神医学分野) 押淵) | (講義) 環境と健康・疾病・障害 食品保健 (研究推進センター 蔭池) | (講義) 社会制度と保健・医療・福祉 生活習慣とリスク(2)飲酒・喫煙 (衛生学公衆衛生学(公衆衛生学分野 公衆衛生学部門) 三木) | (講義) 環境と健康・疾病・障害 法医学(7)外傷と損傷 ※収録配信なし、対面のみ (法医学(法医学分野) 木林) | (講義) 環境と健康・疾病・障害 法医学(8)身体各部位の損傷 ※収録配信なし、対面のみ (法医学(法医学分野) 木林) | (講義) 環境と健康・疾病・障害 法医学(6)法中毒・薬毒物機器分析 (法医学(法医学分野) 中尾) | (講義) 環境と健康・疾病・障害 法医学(6)法中毒・薬毒物機器分析 (法医学(法医学分野) 中尾) |
| | 5/23土 | (追・再試験) 10:00~12:30 免疫・アレルギー疾患・膠原病 | | | | | | | | | | | | |

令和8年度 Segment7 講義・実習時間割表

| | I 09:00 10:10 | II 10:25 11:35 | III 12:30 13:40 | IV 13:55 15:05 | V 15:15 16:25 | VI 16:35 17:45 | |
|-------------|------------------|--|--|--|--|--|--|
| 第 8 週 | 5 /25 月 | (講義) オリエンテーション TBLオリエンテーション (内科学(血液内科学分野) 吉永) | (講義) 診療の基礎 症候と病態・疾患(9)もの忘れ (精神医学(精神医学分野) 押淵) | (講義) 社会制度と保健・医療・福祉 地域医療と地域医療計画 (衛生学公衆衛生学(環境・産業医学分野) 中島) | (講義) 社会制度と保健・医療・福祉 災害医療 救急医療 離島・へき地医療 (衛生学公衆衛生学(環境・産業医学分野) 中島) | (講義) 環境と健康・疾病・障害 法医学(9)窒息・溺水 ※収録配信なし、対面のみ (法医学(法医学分野) 木林) | (講義) 基本的治療法 癌治療に必要な分子生物学の基本 (薬理学(薬理学分野) 梶) |
| | 5 /26 火 | (TBL) 第1課題 10:00~11:40 (内科学(血液内科学分野) 吉永) | (講義) 社会制度と保健・医療・福祉 母子保健 (衛生学公衆衛生学(公衆衛生学分野 公衆衛生学部門) 野原) | (講義) 診療の基礎 症候と病態・疾患(10)不安・抑うつ (精神医学(精神医学分野) 押淵) | (講義) 診療の基礎 症候と病態・疾患(11)体重減少・体重増加 (足立医療センター 内科 森本) | (講義) 環境と健康・疾病・障害 法医学(10)異常環境による障害 ※収録配信なし、対面のみ (法医学(法医学分野) 木林) | |
| | 5 /27 水 | (講義) 環境と健康・疾病・障害 法医学(11)交通事故・自殺対策・被害者対応 ※収録配信なし、対面のみ (法医学(法医学分野) 木林) | (講義) 社会制度と保健・医療・福祉 衛生行政と地域保健、健康危機管理 (保健所) | (講義) 診療の基礎 症候と病態・疾患(12)リンパ節腫脹 (内科学(血液内科学分野) 田中) | (講義) 麻酔・周術期管理 吸入麻酔法 (麻酔科学(麻酔科学分野) 森脇) | (選択科目) 15:20~16:30 | (選択科目) 16:45~17:55 |
| | 5 /28 木 | (講義) 社会制度と保健・医療・福祉 成人保健・高齢者保健 (衛生学公衆衛生学(公衆衛生学分野 公衆衛生学部門) 新井) | (講義) 社会制度と保健・医療・福祉 主な公衆衛生学(2)感染症対策 (衛生学公衆衛生学(公衆衛生学分野 グローバルヘルス部門) 凧) | (講義) 環境と健康・疾病・障害 法医学(12)労災事故 (法医学(法医学分野) 島田) | (講義) 基本的治療法 RI内用療法 (放射線医学(画像診断学・核医学分野) 坂井) | (講義) 診療の基礎 症候と病態・疾患(13)便秘・下痢 (外科学(炎症性腸疾患外科学分野) 谷) | |
| | 5 /29 金 | (TBL) 第2課題 10:00~11:40 (感染症学 菊池) (内科学(血液内科学分野) 吉永) | | (講義) 環境と健康・疾病・障害 法医学(13)内因性急死と突然死 ※収録配信なし、対面のみ (法医学(法医学分野) 木林) | (講義) 救命救急医療 救急医療の治療手技 (救急医学(救急医学分野) 久保田) | (講義) 社会制度と保健・医療・福祉 生活習慣とリスク(3)休養・心の健康 (精神医学(精神医学分野) 押淵) | (講義) 診療の基礎 二つの頭で考える—患者中心の医療— (内科学(総合診療・総合内科学分野) 竹村) |
| | 5 /30 土 | (追・再試験) 10:00~12:00 血液・リンパ系 | | | | | |

令和8年度 Segment7 講義・実習時間割表

| | I 09:00 10:10 | II 10:25 11:35 | III 12:30 13:40 | IV 13:55 15:05 | V 15:15 16:25 | VI 16:35 17:45 | |
|-------------|----------------------|---|--|---|--|---|--|
| 第 9 週 | 6 / 1 月 | (講義) 社会制度と保健・医療・福祉 医療経済 国家財政と社会保障 (衛生学公衆衛生学(公衆衛生学分野 環境・産業医学部門) 中島) | (講義) 診療の基礎 症候と病態・疾患(14) 全身倦怠感 (内科学(総合診療・総合内科学分野) 関口) | (講義) 環境と健康・疾病・障害 法学(1)医師の法的義務 ※収録配信なし、対面のみ (法医学(法医学分野) 木林) | (講義) 診療の基礎 症候と病態・疾患(15) 腹痛 (外科学(肝胆膵外科学分野) 有泉) | (講義) 基本的治療法 手術療法(免疫療法を含む) (外科学(消化管外科学分野) 前田) | |
| | 6 / 2 火 | (TBL) 第3課題 10:00~11:40 (内科学(膠原病リウマチ内科学分野) 川口) | (講義) 診療の基礎 症候と病態・疾患(16) 悪心・嘔吐 (内科学(消化器内科学分野) 中村) | (講義) 診療の基礎 症候と病態・疾患(17) 黄疸 (外科学(肝胆膵外科学分野) 有泉) | (講義) 環境と健康・疾病・障害 化学的有害因子(1) 金属 (衛生学公衆衛生学(公衆衛生学分野 環境・産業医学部門) 廣田) | | |
| | 6 / 3 水 | (講義) 診療の基礎 症候と病態・疾患(18) けいれん (内科学(脳神経内科学分野) 丸山) | (講義) 環境と健康・疾病・障害 物理的有害因子 (衛生学公衆衛生学(公衆衛生学分野 環境・産業医学部門) 廣田) | (講義) 救命救急医療 中毒(1) (救急医学(救急医学分野) 並木) | (講義) 環境と健康・疾病・障害 化学的有害因子(2) 有機溶剤、農薬 (研究推進センター 蔣池) | (選択科目) 15:20~16:30 | (選択科目) 16:45~17:55 |
| | 6 / 4 木 | (講義) 社会制度と保健・医療・福祉 費用対効果 (衛生学公衆衛生学(公衆衛生学分野 公衆衛生学部門) 新井) | (講義) 麻酔・周術期管理 侵襲医学の中の麻酔科学(麻酔科学分野) (麻酔科学(麻酔科学分野) 土井) | (講義) 社会制度と保健・医療・福祉 精神保健と社会制度 (精神医学(精神医学分野) 辻) | (実習) 感染症系 蠕虫類虫体・感染組織標本の観察、寄生虫卵の同定・観察 (衛生学公衆衛生学(公衆衛生学分野 グローバルヘルス部門) 岩下、凧、有末) | | |
| | 6 / 5 金 | (TBL) 第4課題 10:00~11:40 (内科学(膠原病リウマチ内科学分野) 田中、樋口) | | (講義) 基本的治療法 栄養の基本と病態栄養 (内科学(消化器内科学分野) 小木曾) | (講義) 診療の基礎 家族志向のプライマリ・ケア、地域志向のプライマリ・ケア (内科学(総合診療・総合内科学分野) 竹村) | (講義) 社会制度と保健・医療・福祉 医療リスクマネジメント(1)医療事故 (医療安全科 清水) | (講義) 環境と健康・疾病・障害 化学的有害因子(3) 粉じん、アスベスト (研究推進センター 蔣池) |
| | 6 / 6 土 | 模試 | | | | | |

令和8年度 Segment7 講義・実習時間割表

| | I 09:00 10:10 | II 10:25 11:35 | III 12:30 13:40 | IV 13:55 15:05 | V 15:15 16:25 | VI 16:35 17:45 |
|-------|--|---|--|--|---|-----------------------|
| 6/8月 | (講義) 診療の基礎 症候と病態・疾患(19) 食思(欲)不振 内科学(消化器内科学分野) 鳥居 | (講義) 社会制度と保健・医療・福祉 医療リスクマネジメント(2)医療訴訟 (医療安全科 清水) | (講義) 環境と健康・疾病・障害 法学(2)医療訴訟 (統合教育学修センター基礎教育学 辻村) | (講義) 麻酔・周術期管理 静脈麻酔法 (麻酔科学(麻酔科学分野) 黒川) | (講義) 診療の基礎 症候と病態・疾患(20) 脱水 (内科学(総合診療・総合内科学分野) 小倉) | |
| 6/9火 | (TBL) 第5課題 10:00~11:40 (内科学(消化器内科学分野) 中村) | | (講義) 基本的治療法 リハビリの目的・方法、ADL、装具 (リハビリテーション科 若林) | (実習) 感染症系 臨床症例検討、寄生性原虫標本の作製・観察 (衛生学公衆衛生学(公衆衛生学分野 グローバルヘルス部門) 岩下、凧、有末) | | |
| 6/10水 | (講義) 環境と健康・疾病・障害 化学的有害因子(4) ガス、酸欠 (研究推進センター 蔣池) | (講義) 社会制度と保健・医療・福祉 チーム医療 (医療安全科 清水) | (講義) 診療の基礎 症候と病態・疾患(21) ショック (救急医学(救急医学分野) 並木) | (講義) 救命救急医療 中毒(2) (救急医学(救急医学分野) 並木) | (選択科目) 15:20~16:30 | (選択科目) 16:45~17:55 |
| 6/11木 | (講義) 社会制度と保健・医療・福祉 医療の質 (医療安全科 清水) | | (講義) 麻酔・周術期管理 ペインクリニックでの疼痛管理 (麻酔科学(麻酔科学分野) 古井) | (講義) 診療の基礎 症候と病態・疾患(23) 血痰・咯血 (内科学(呼吸器内科学分野) 八木) | (講義) 社会制度と保健・医療・福祉 女性の職場環境・医師の働き方改革 (衛生学公衆衛生学(公衆衛生学分野 公衆衛生学部門) 野原) | |
| 6/12金 | (TBL) 第6課題 10:00~11:40 (内科学(総合診療・総合内科学分野) 八岡) | | (講義) 救命救急医療 災害医学 (足立医療センター救急医療科 庄古) | (講義) 社会制度と保健・医療・福祉 世界の保健問題 (衛生学公衆衛生学(公衆衛生学分野 グローバルヘルス部門) 岩下) | (講義) 基本的治療法 集学的治療、癌治療の現状 (放射線医学(放射線腫瘍学分野) 河野) | |
| 6/13土 | (行事) 「至誠と愛」の実践学修 9:30~12:30 女性医師・研究者支援シンポジウム2026 ※配信とするか未定 (衛生学公衆衛生学(公衆衛生学分野 公衆衛生学部門) 野原) | | | | | |

令和8年度 Segment7 講義・実習時間割表

| | I 09:00 10:10 | II 10:25 11:35 | III 12:30 13:40 | IV 13:55 15:05 | V 15:15 16:25 | VI 16:35 17:45 | |
|------|------------------|---|---|---|--|--|--|
| 第11週 | 6/15 月 | (講義) 診療の基礎 症候と病態・疾患(24) 呼吸困難 (内科学(呼吸器内科学分野) 八木) | (講義) 基本的治療法 腫瘍の病理・病態と発生要因 (病理診断学(病理診断学分野) 長嶋) | (講義) 診療の基礎 症候と病態・疾患(25) 運動麻痺・筋力低下 (内科学(脳神経内科学分野) 池口) | (講義) 救命救急医療 集中治療医学総論 (救急医学(救急医学分野) 森) | (講義) 診療の基礎 症候と病態・疾患(26) 発疹 (皮膚科学(皮膚科学分野) 福屋) | (講義) 麻酔・周術期管理 筋弛緩薬 (麻酔科学(麻酔科学分野) 笹川) |
| | 6/16 火 | (TBL) 第7課題 10:00~11:40 (内科学(脳神経内科学分野) 藤堂) | (講義) 基本的治療法 分子標的薬・ゲノム医療 (腫瘍内科 近藤) | (講義) 診療の基礎 症候と病態・疾患(27) 外傷・熱傷 (救急医学(救急医学分野) 森) | (講義) 診療の基礎 症候と病態・疾患(28) 意識障害・失神 (内科学(脳神経内科学分野) 藤堂) | (講義) 臨床講義まとめ演習 まとめ演習 (統合教育学修センター 基礎教育学 水主川) | |
| | 6/17 水 | (講義) 基本的治療法 腫瘍の臨床的診断、緩和療法 (外科学(消化管外科分野) 番場) | (講義) 診療の基礎 症候と病態・疾患(29) 胸痛 (内科学(循環器内科学分野) 大槻) | (講義) 診療の基礎 症候と病態・疾患(30) 動悸 (内科学(循環器内科学分野) 柳下) | (講義) 麻酔・周術期管理 麻酔中の呼吸・循環・代謝管理 (麻酔科学(麻酔科学分野) 岡野) | (選択科目) 15:20~16:30 | (選択科目) 16:45~17:55 |
| | 6/18 木 | (講義) 麻酔・周術期管理 ICUでの重症患者管理 (麻酔科学(麻酔科学分野) 武石) | (講義) 基本的治療法 がん免疫療法・治療開発 (腫瘍内科 小野) | (講義) 診療の基礎 症候と病態・疾患(31) 関節痛・関節腫脹 (内科学(膠原病リウマチ内科学分野) 川口) | (講義) 基本的治療法 自己血輸血、成分採血、臓器移植と輸血 (輸血・細胞プロセッシング科 小林) | (講義) 救命救急医療 敗血症と多臓器不全 (未定) | |
| | 6/19 金 | (TBL) 第8課題 10:00~11:40 (救急医学(救急医学分野) 森) | | (講義) 診療の基礎 腰背部痛を含めたプライマリケアで遭遇する疼痛 (内科学(総合診療・総合内科学分野) 竹村) | (講義) 診療の基礎 症候と病態・疾患(32) 心停止 (内科学(循環器内科学分野) 嵐) | (講義) 基本的治療法 血液製剤の取り扱い、適正輸血、輸血副作用 (輸血・細胞プロセッシング科 山本) | (講義) 麻酔・周術期管理 特殊疾患と麻酔 (麻酔科学(麻酔科学分野) 川本) |
| | 6/20 土 | | | | | | |

令和8年度 Segment7 講義・実習時間割表

| | I | | II | | III | | IV | | V | | VI | | |
|--------------|-------------------|---|--|--|---|--|---------------------------|-------|-------|-------|-------|-------|--|
| | 09:00 | 10:10 | 10:25 | 11:35 | 12:30 | 13:40 | 13:55 | 15:05 | 15:15 | 16:25 | 16:35 | 17:45 | |
| 第 12 週 | 6 / 22 月 | (講義) 診療の基礎 症候と病態・疾患(22) 腹部膨隆(腹水を含む)・腫瘍 (外科学(下部消化管 外科学分野) 腰野) | (講義) 基本的治療法 栄養評価と栄養管理 (外科学(炎症性腸疾 患外科学分野) 小 川) | (講義) 救命救急医療 救命医療の診断学と 症候学 (救急医学(救急医学 分野) 久保田) | (講義) 麻酔・周術期管理 小児の麻酔管理 (麻酔科学(麻酔科学 分野) 鈴木) | (講義) 診療の基礎 症候と病態・疾患(33) 咳・痰 (内科学(呼吸器内科 学分野) 八木) | | | | | | | |
| | 6 / 23 火 | (講義) 基本的治療法 緩和ケア・支持療法 (腫瘍内科 近藤) | (講義) 診療の基礎 症候と病態・疾患(34) 血尿・タンパク尿 (内科学(腎臓内科学 分野) 内田) | (講義) 麻酔・周術期管理 麻酔後の患者管理 (麻酔科学(麻酔科学 分野) 石川) | (講義) 診療の基礎 症候と病態・疾患(35) めまい (内科学(脳神経内科 学分野) 飯嶋) | (講義) 救命救急医療 特殊救急 (救急医学(救急医学 分野) 久保田) | | | | | | | |
| | 6 / 24 水 | (講義) 基本的治療法 医療機器の種類と原 理 (臨床工学科 原) | (講義) 基本的治療法 人工臓器の種類と原 理 (臨床工学科 原) | (講義) 救命救急医療 救命医療に関わる法 的問題 (法医学(法医学分野) 木林) | (講義) 救命救急医療 救急・集中治療にお ける体液量を心腎機能 から評価してみよう～ BNPの有用性～ (未定) | (選択科目) 15:20～16:30 | (選択科目) 16:45～17:55 | | | | | | |
| | 6 / 25 木 | (講義) 救命救急医療 心肺蘇生法 (足立医療センター救 急医療科 庄古) | (講義) 麻酔・周術期管理 局所麻酔法 (麻酔科学(麻酔科学 分野) 加賀屋) | (講義) 麻酔・周術期管理 周術期モニター (麻酔科学(麻酔科学 分野) 長坂) | (講義) 救命救急医療 ECMO (救急医学(救急医学 分野) 大城) | (講義) 診療の基礎 症候と病態・疾患(36) 胸水 (内科学(呼吸器内科 学分野) 赤羽) | | | | | | | |
| | 6 / 26 金 | | | | | | | | | | | | |
| | 6 / 27 土 | | | | | | | | | | | | |

令和8年度 Segment7 講義・実習時間割表

| | I | II | III | IV | V | VI |
|------|-----------------------|--------------------------------------|-------------|-------------|-----------------------|-----------------------|
| | 09:00 10:10 | 10:25 11:35 | 12:30 13:40 | 13:55 15:05 | 15:15 16:25 | 16:35 17:45 |
| 第13週 | 6 / 29 月 | | | | | |
| | 6 / 30 火 | | | | | |
| | 7 / 1 水 | (試験) 10:00~12:00 感染症系 | | | (選択科目) 15:20~16:30 | (選択科目) 16:45~17:55 |
| | 7 / 2 木 | (試験) 10:00~12:00 環境と健康・疾病・障害 | | | | |
| | 7 / 3 金 | (試験) 10:00~12:00 社会制度と保健・医療・福祉 | | | | |
| | 7 / 4 土 | | | | | |
| | | | | | | |

令和8年度 Segment7 講義・実習時間割表

| | I | II | III | IV | V | VI |
|--------------|-------------------|--|--|-------------|-----------------------|-----------------------|
| | 09:00 10:10 | 10:25 11:35 | 12:30 13:40 | 13:55 15:05 | 15:15 16:25 | 16:35 17:45 |
| 第 14 週 | 7 / 6 月 | | | | | |
| | 7 / 7 火 | (試験) 10:00～11:30 基本的治療法 | | | | |
| | 7 / 8 水 | (試験) 10:00～12:00 診療の基礎 | | | (選択科目) 15:20～16:30 | (選択科目) 16:45～17:55 |
| | 7 / 9 木 | (試験) 10:00～11:30 麻酔・周術期管理 | | | | |
| | 7 / 10 金 | (試験) 10:00～11:30 救命救急医療 | | | | |
| | 7 / 11 土 | (講義) 臨床講義まとめ演習 まとめ演習 (統合教育学修センター 基礎教育学 水主川) | (講義) 臨床講義まとめ演習 まとめ演習 (統合教育学修センター 基礎教育学 水主川) | | | |
| | | | | | | |

令和8年度 Segment7 講義・実習時間割表

| | I 09:00 10:10 | II 10:25 11:35 | III 12:30 13:40 | IV 13:55 15:05 | V 15:15 16:25 | VI 16:35 17:45 |
|--------------|---|--|--|-------------------|------------------|-------------------|
| 第 15 週 | 7 / 13 月 (試験) 10:00～13:00 P-SAT | | | | | |
| | 7 / 14 火 (学修指導) | (学修指導) | (学修指導) | (学修指導) | (学修指導) | (学修指導) |
| | 7 / 15 水 (講義)(学修指導) 臨床講義まとめ演習 まとめ演習 (統合教育学修センター 基礎教育学 水主川) | (講義)(学修指導) 臨床講義まとめ演習 まとめ演習 (統合教育学修センター 基礎教育学 水主川) | (講義)(学修指導) 臨床講義まとめ演習 まとめ演習 (統合教育学修センター 基礎教育学 水主川) | (学修指導) | (学修指導) | (学修指導) |
| | 7 / 16 木 (講義)(学修指導) 臨床講義まとめ演習 まとめ演習 (統合教育学修センター 基礎教育学 水主川) | (講義)(学修指導) 臨床講義まとめ演習 まとめ演習 (統合教育学修センター 基礎教育学 水主川) | (講義)(学修指導) 臨床講義まとめ演習 まとめ演習 (統合教育学修センター 基礎教育学 水主川) | (学修指導) | (学修指導) | (学修指導) |
| | 7 / 17 金 (学修指導) | (学修指導) | (学修指導) | (学修指導) | (学修指導) | (学修指導) |
| | 7 / 18 土 (講義) 臨床講義まとめ演習 まとめ演習 (統合教育学修センター 基礎教育学 水主川) | (講義) 臨床講義まとめ演習 まとめ演習 (統合教育学修センター 基礎教育学 水主川) | | | | |

令和8年度 Segment7 講義・実習時間割表

| | | I | II | III | IV | V | VI | | | | | | |
|--------------|-----------------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| | | 09:00 | 10:10 | 10:25 | 11:35 | 12:30 | 13:40 | 13:55 | 15:05 | 15:15 | 16:25 | 16:35 | 17:45 |
| 第 16 週 | 7 / 20 月 | 海の日 | | | | | | | | | | | |
| | 7 / 21 火 | (学修指導) | (学修指導) | (学修指導) | (学修指導) | (学修指導) | (学修指導) | (学修指導) | (学修指導) | (学修指導) | (学修指導) | (学修指導) | (学修指導) |
| | 7 / 22 水 | (学修指導) | (学修指導) | (学修指導) | (学修指導) | (学修指導) | (学修指導) | (学修指導) | (学修指導) | (学修指導) | (学修指導) | (学修指導) | (学修指導) |
| | 7 / 23 木 | (学修指導) | (学修指導) | (学修指導) | (学修指導) | (学修指導) | (学修指導) | (学修指導) | (学修指導) | (学修指導) | (学修指導) | (学修指導) | (学修指導) |
| | 7 / 24 金 | (学修指導) | (学修指導) | (学修指導) | (学修指導) | (学修指導) | (学修指導) | (学修指導) | (学修指導) | (学修指導) | (学修指導) | (学修指導) | (学修指導) |
| | 7 / 25 土 | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |

令和8年度 Segment7 講義・実習時間割表

| | I | II | III | IV | V | VI |
|--------------|--|-------------|---|-------------|-------------|-------------|
| | 09:00 10:10 | 10:25 11:35 | 12:30 13:40 | 13:55 15:05 | 15:15 16:25 | 16:35 17:45 |
| 第 17 週 | 7 / 27 月 (追・再試験) 10:00～12:00 感染症系 | | | | | |
| | 7 / 28 火 (追・再試験) 10:00～12:00 環境と健康・疾病・障害 | | | | | |
| | 7 / 29 水 (追・再試験) 10:00～11:30 基本的治療法 | | | | | |
| | 7 / 30 木 (追・再試験) 10:00～11:30 救命救急医療 | | (追・再試験) 13:00～14:30 麻酔・周術期管理 | | | |
| | 7 / 31 金 (追・再試験) 10:00～12:00 診療の基礎 | | (追・再試験) 13:00～15:00 社会制度と保健・医療・福祉 | | | |
| | 8 / 1 土 | | | | | |
| | | | | | | |

令和8年度 Segment7 講義・実習時間割表

| | | I | II | III | IV | V | VI |
|--------------|-----------------------|--|--|-------------|-------------|-------------|-------------|
| | | 09:00 10:10 | 10:25 11:35 | 12:30 13:40 | 13:55 15:05 | 15:15 16:25 | 16:35 17:45 |
| 第 20 週 | 8 / 17 月 | (講義) 臨床講義まとめ演習 まとめ演習 (統合教育学修センター 基礎教育学 水主川) | (講義) 臨床講義まとめ演習 まとめ演習 (統合教育学修センター 基礎教育学 水主川) | | | | |
| | 8 / 18 火 | (講義) 臨床講義まとめ演習 まとめ演習 (統合教育学修センター 基礎教育学 水主川) | (講義) 臨床講義まとめ演習 まとめ演習 (統合教育学修センター 基礎教育学 水主川) | | | | |
| | 8 / 19 水 | | | | | | |
| | 8 / 20 木 | (追・再試験) 10:00～13:00 P-SAT | | | | | |
| | 8 / 21 金 | (講義) 臨床講義まとめ演習 まとめ演習 (統合教育学修センター 基礎教育学 水主川) | (講義) 臨床講義まとめ演習 まとめ演習 (統合教育学修センター 基礎教育学 水主川) | | | | |
| | 8 / 22 土 | (講義) 臨床講義まとめ演習 まとめ演習 (統合教育学修センター 基礎教育学 水主川) | (講義) 臨床講義まとめ演習 まとめ演習 (統合教育学修センター 基礎教育学 水主川) | | | | |